

<<アイルランド>>

リメリック大学

<<アメリカ>>

アーカンソー工科大学

アイオワ大学

ウェスタンカロライナ大学

ウェスタンワシントン大学

オハイオ州立大学ヤングスタウン校

オレゴン大学

カリフォルニア大学アーバイン校

カリフォルニア大学リバーサイド校

カリフォルニア州立大学サンマルコス校

カリフォルニア州立大学スタニスローズ校

カリフォルニア州立工科大学ポモナ校

カンザス州立大学

クレムソン大学

サザンオレゴン大学

ジョージアサザン大学

チャタム大学

ノースアラバマ大学

ノースカロライナ大学シャーロット校

ハンボルト州立大学

ペンシルバニア州立インディアナ大学

<<イギリス>>

オックスフォードブルックス大学

キール大学

ノーサンブリア大学

バーススパー大学

ブルネル大学

ポーツマス大学

<<エストニア>>

タリン大学

<<オーストラリア>>

ウーロンゴン大学

クイーンズランド大学附属集中英語コース

サザンクロス大学

サンシャインコースト大学

セントラルクイーンズランド大学

タスマニア大学

ニューカッスル大学

西オーストラリア大学

西オーストラリア大学附属英語学校

<<カナダ>>

キャピラノ大学

ジョージブラウン大学

セネカカレッジ

ノースアイランドカレッジ

バンクーバーアイランド大学

ビクトリア大学

フレーザーバレー大学

ブロック大学

メディスンハット大学

モントリオール大学

ランガラカレッジ

レスブリッジ大学

<<ドイツ>>

ニュルティンゲン-ゲイスリンゲン大学

マールブルク大学

<<ニュージーランド>>

マッセイ大学

<<フランス>>

アンジェ西部カトリック大学
エクスマルセイユ大学
グルノーブルアルプ大学
ジャンムランリヨン第3大学
ストラスブール大学
トゥールーズカトリック大学
トゥールーズジャンジョレス大学
パリ第4大学(ソルボンヌ)フランス文明コース
パリ第7大学
ボルドーモンテーニュ大学
モンペリエ第3大学
リヨンカトリック大学

<<ベルギー>>

ブリュッセル自由大学
リエージュ大学

<<ロシア>>

ロシア国立高等経済大学

<<中国>>

上海外国語大学
北京外国語大学
天津外国語大学

<<台湾>>

国立台湾大学
文藻外語大学
銘伝大学

<<韓国>>

又松大学校
国民大学校
釜山外国語大学校

留学種別	認定
留学先大学	リメリック大学
留学先国・地域名	アイルランド
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業内容は教師によって形態が異なるが、基本的には教科書に沿って進んでいく。文法、リスニング、ディスカッションなど。

クラス人数は生徒によって滞在期間が異なるためよく変動するが、3~10人程度。国籍は日本、中国、オマーン、チリ、インド、ドイツなど。

月曜~金曜の午前に1時間45分の授業が二回、火曜と木曜の午後に2時間の授業が一回あった。

使用教科書は **Navigate**。

授業形式は教師によって異なる。ディスカッションが主なときもあれば長文読解が主なときもある。

大学のパソコン、コピー機は学生証があれば使えるが、学生証は三ヶ月以上在学しなければ作ることができない。空き教室、図書館等で自習が可能。

II. 生活状況

ホームステイ先はWiFiもあり快適であるが勉強机がないため家では勉強しづらい。

通学方法はバス。大学までの公共交通機関がバス以外ない。

食事は主にホームステイ先で食べている。町にはレストランやスーパー、カフェが充実しているため食事に困ることはない。

休日は観光、友人と買い物等をして過ごしている。

留学種別	TESS II
留学先大学	アーカンソー工科大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

一学期目は **reading**、**foundational composition**、**Germany**、**history to 1500**、**world geography** を受けました。**Reading** の授業は二十人弱のクラスで日本人が自分を含め二人、中国人が一人、インド人が一人、あとはアメリカ人でした。ほとんどの生徒がネイティブなので読むスピードが速く、遅れないようにすることが一番苦勞し、**Foundational composition** も **reading** の授業と同じような授業風景でした。ドイツ語の授業では外国人は自分一人だけでしたが、先生や生徒がとてもやさしく賑やかな授業でした。**History to 1500** と **world geography** は同じような授業形式で 40 人くらいの学生に対し教授がパワーポイントなどを使って授業を行われていました。課題などは自室や寮のロビーでしてました。テスト期間になると図書館が一日中空いているのでそこで勉強していました。

II. 生活状況

寮の設備は寮によりけりで、僕が使っていた **M-street** と **Wilson** は比較的にはこの寮と比べて綺麗でした。僕の寮はキッチンがなかったので、すべての食事は大学内にある食堂か近くにあるファストフード店で食事をとっていました。買い物などは近くにはウォルマートしかなく、インスタント商品、水、雑貨などほとんどすべてウォルマートで揃えていました。大学内の敷地はアメリカの中でもすごく狭く、すべての建物に 10 分以内にはたどり着けたので、通学にはお金は必要ありませんでした。休日の過ごし方は、現地の友達と映画を見に行ったり、大学の周りをドライブングしていました。大きな買い物などはアーカンソー州の一番大きい都市リトルロックやコンウェイなどに行きモールで買っていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	アイオワ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

アイオワ大学の IIEP という語学コースを履修しています。6人から10人ほどの少人数のクラス編成で、クラスメイトのというか IIEP にいるほとんどの学生が中国からの留学生です。彼らの多くは英語が本当に喋れます。この IIEP コースの目的はコース修了後、学部授業を受けるようになった時、語学力はもちろん、アメリカの大学で勉強するにあたって必要な、アカデミックのスキルを長期のスパンで、段階を踏んで、勉強していきます。ほとんどの学生は最短でも1年、平均的に1年半このコースを履修します。授業内容としては、**writing, reading, communication, listening, grammar** など日本と変わらないような内容ですが、ディスカッションが中心なので、どんな時も積極的に発言しなければいけません。語学のコースのレベルが全米の大学の中でも高い評価を实际受けているらしく、アイオワ大学で語学の授業を受けることはとてもお勧めです。

しかし、先ほども述べた通り、このコースは長期スパンでの修了を目的としているので、アイオワ大学の IIEP に送られた時点で、学部授業を後期から履修することは不可能です。僕ともう1人アイオワ大学に留学している子がいますが、2人とも語学学部の留学コースであるのにも関わらず、一年間語学の授業を受けています。僕たちの語学力が足りなかったのかなと思いましたが、IIEP のそもそものカリキュラムによってだと知り、じゃあなぜ語学学部コースの大学の選択肢にアイオワ大学があり、IIEP に送られたのか疑問に思いました。IIEP の他にも語学のコースはあるのでそちらで勉強していたら....と思います。せっかくなら学部授業もうけてみたかったです。他の大学がどのような形式かはわかりませんが、アイオワ大学では交渉の余地もありません。学部授業を受けるために TOEFL と GPA を必死にとったので。

授業は一週間で50分の授業が20コマあります。朝の9時半に始まり3時過ぎごろに終わります。

教科書は日本で使われているものもありますし、アメリカの大学で使用されているものもあります。

図書館や自習するスペースが大学の至る所に設けられており、学習環境は完璧です。

II. 生活状況

僕は学生寮に暮らしています。シングルルームという形式の部屋で個人の部屋があり、キッチン、トイレ、シャワーをルームメイトとシェアします。個人の感想ですが、部屋は無駄に広く、何だか寂しいです。なので僕は寝る時以外部屋にあまりいません。暖房など必要なものはなんでも揃っているのもとても便利です。自分が住んでいる寮はすごく多くの学生が暮らしていて、国際色豊かです。学生寮自体が大学のキャンパス内なのですが、少し離れているので、いつも **CANBUS** というキャンパス内を走っているバスに乗って移動します。もちろん無料です。

食事はミールプランに入っていて、大学内に三箇所ある学食で食べたい時にいつでも食べれます。その他コンビニやキヨスクのような場所で学生証で買い物ができます。アイオワ大学のキャンパスはとても田舎のところにるので、日用品を買い揃えようと思ったら、バス、タクシーなどを使わないといけません。

休日、もしくは放課後は基本的にバスケットをしています。学生や地域の人たちがみんな利用する多目的体育館に行きます。他にも、インターナショナルコミュニティに参加したり、友達と遊んだりします。アイオワには日本人の留学生が少ないので、アメリカ人や国際色豊かな交流ができます。

最後にお金のことについてです。全額支給という名目で留学をしています。アイオワ大学では

名古屋外大から支給されない範囲のものを払わないといけないことが、多くあるのでそこには最初戸惑うかもしれません。僕たちの場合はアメリカに来てすぐ、寮費が支給されている分が足りてなかったり、保険が条件を満たしてないなど、色々大変だったので、留学する前に国際交流部の担当の方にちゃんと確認して、万全の状態での留学をすることをしてください。国際交流課の言う分とアイオワ大学の言い分にはいつもなんらかの違いがあるので、大変ですが、頑張ってください。

留学種別	TESS II
留学先大学	アイオワ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

アイオワ大学の語学コースで学んでいます。授業は英語のスキルを学ぶような授業はもちろん、大学の授業を取るようになって困らないように、ノートの取り方や、レポートの書き方などで授業の内容の中に組み込んだものとなっています。クラスは少人数で 7 人ほどのクラスがいくつかあります。ほとんどが中国人の学生ですが、その他のアジアの国からの学生も多くはいるのですがいます。アイオワ大学で語学コースを取っている日本人、大学の授業を取っている日本人はほとんどいません。

授業は月から金まで毎日あります。授業は 4 つあり、クラスによって違いますが、基本はコミュニケーション、スピーキング、リーディング、ライティングの 4 つの内容の授業をします。1 つずつの授業は 50 分の授業になります。少人数での授業なので、クラスの人とペア活動やグループ活動が多いです。教科書は外大でも使うような、リーディングの教科書や、発音の教科書、ライティングの書き方の教科書などです。

学習環境はとても良いところです。大学の町なので、どこへ行ってもほしい学生が作業しています。図書館も夜中まで空いているので、夜遅くまで学習ができます。

II. 生活状況

アイオワ大学の学生は、基本的にキャンパス何にある寮に住んでいます。今滞在している寮にも多くの学生が暮らしています。部屋には、机、ベッド、タンスなどと生活に最低限のものはあります。キッチンもありますが、ミールプランを取っているので自分で料理することは、ほとんどなく、大学の食堂で食べます。寮には、ジムやコンビニ、自販機、勉強スペース、娯楽スペースまであるので不自由することはほとんどないです。キャンパス内は無料バスが朝から夜中まで走っているので、キャンパス内なら移動は困りません。

休日は、お店などが開き始めるのがお昼前からなので、いつもより遅めに起きて行動し始めます。よく休日にするのは、カフェに行き何か飲みながら課題をしたり、少し離れたところにあるショッピングモールに行き買い物したり、アパートで暮らしている友や達の家へ行き、遊んだりすることがほとんどです。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンカロライナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

わたしがとっていた授業は、TESOL という第 2 言語としての英語の教え方についての学部授業を 3 つと学部授業を取っている留学生がとることのできる英語力を上げるための **Academic English** の授業、そして日本語の授業です。日本語の授業はティーチングアシスタントとして取っていました。TESOL の授業は、**ESL Methods for content teacher** と **language and culture, Grammar, language and discourse** という授業を取っていました。ESL methods の授業は、火曜日と木曜日の 11 時から 75 分間でセミナー型という、グループで意見を出し合うことの多い授業でした。内容は、第 2 言語としての英語の教え方でした。人数は 20 人ほどで国籍は私以外アメリカ人でした。教科書は、**SIOP method** についての教科書と **English learners academic literacy and thinking** の教科書を使いました。language and culture の授業は、火曜日と木曜日の 12 時半から 75 分間、セミナー型でした。内容は移民やバイリンガル教育についてでした。人数は 20 人ほどで、国籍は留学生の中国人 1 人と後は、アメリカ人でした。**New immigrants** という教科書を使い、他にブラックボードに挙げられる、様々な、文章を読みました。**Grammar, language and discourse** の授業は水曜日の 12 時 20 分から 50 分間、ハイブリッド授業で事前に予習としてリーディングの他に、オンラインで担当の先生の動画授業を見て、対面授業中に、生徒の理解を促す授業形式でした。内容は、アメリカの英語の方言、正しい英語の考え方などでした。人数は 10 人で国籍は、他はアメリカ人のみでした。教科書は **English with an accent** と **American English** を使いました。日本語の授業は、月曜日、水曜日、金曜日の 10 時 10 分から 50 分間、先生の講義で話が進むレクチャー型でした。内容は、平仮名、カタカナ、漢字やそれに伴うアクティビティです。ただし、わたしはティーチングアシスタントとして参加したので、15 分授業や学生のサポートを行いました。人数は 20 人ほどで国籍は留学生のドイツ人一人、あとはアメリカ人でした。教科書は、げんきを使いました。**Academic English** の授業は木曜日の 5 時半から 2 時間 50 分間、一般的な英語の 4 技能向上のための授業でした。人数は 16 人ほどです。国籍は、アメリカ人以外で様々でした。教科書は **Great writing, pathway** を使いました。学習環境は整っていて図書館はきれいで学生がよく勉強しています。テスト前は、図書館が 24 時間あいています。今学期お世話になった先生方は、手厚くサポートをしてくださりました。

II. 生活状況

私の寮はロバートソンで、キッチンとトイレが部屋にある 2 人部屋です。キャンパスまで徒歩 15 分程です。私の最初のルームメイトはフランス人でしたが、うまくいかず私が部屋を変わりました。具体的に言えば、私が部屋を変える必要はなく、ルームメイトに部屋を変わってもらったのが筋である状況ではありました。しかし、三か月間わたしが、話し合いを試みたり、本音でぶつかり合っても、理解しあえなかつたので来学期の授業のためにもわたしが部屋を変わることになりました。このような状況の時に、周りの日本人に相談することも大切ですが、フランス人という国民性を日本人よりも知っていると考えられるヨーロッパ人に相談することも大切だと感じました。実際に、ドイツ人 3 人に相談しました。また、私は悪くないから部屋を変わないのではなく、自分のストレスを回避するために行動することも大切だと感じました。スーパーに行くためには毎週 1, 2 回ほど大学からでているバスで、出かける必要があります。ショッピングの際には、アッシュビルまででる必要があるため、アメリカ人の友人をつくっておくと良いです。休日は基本的に宿題をして過ごしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

選択する授業にとって異なり10～150人程度の幅があります。

外大とは違って時間割がクラスによって異なり、また一つ当たりの単位数が大きいのが特徴です。そのため人によっては週2、3回しか授業がないことがあります。教科書は学校のポータルを通してPDFファイルなどで授業内容を送る先生が多いので、必要ない場合が多いです。その代わりに自分のノートパソコンなどがないと厳しい授業もあります。外大と比べるとキャンパスが広くそのため使われていない教室や椅子とテーブルが置いてあるフリースペースがたくさんあります。施錠されていない限りいつでも使うことができるので自習はしやすい環境だと思います。

II. 生活状況

自分が住んでいた寮は二人部屋が2つあるところでシャワーとキッチンが共有でした。日本の家と比べると多少広くできているので4人いても狭さを感じることはなかったです。住み心地はルームメイトによって決まると思います。学費の中に町中を走るバスのバス代が含まれているので学生証をスワイプするだけで乗ることができます。学校にある3つの食堂とカフェやファストフード店で使えるミールプランというのを買うと毎回わざわざ支払いをせずに済みますが、節約したい人や食のこだわりがある人は近くのスーパーで買って自炊することをおすすめします。自然が多い街でこれといった観光地等はありませんが娯楽施設は少しあり飲食店もたくさんあるので楽しみ方は人それぞれだと思います。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

歴史の授業が 1 つと、哲学の授業を 2 つ履修しています。どの科目も一週間に 3 回授業があり、月曜日、水曜日、金曜日にあります。そしていずれの科目も教科書は使用しておらず、また、講義形式の授業です。歴史は、1865 年までのアメリカの歴史を学んでいます。歴史のクラスは 60 人ほどです。朝 8:30 から 9:50 までの時間で行われます。哲学は、論理のクラスと道德問題のクラスを受講していて、先方は 11:00 から 11:50、後方は 15:00 から 15:50 という授業時間です。

大学の学習環境においては、比較的静かで広いスペースの図書室やラウンジで勉強できます。また、チューター制やライティングサポートセンターを活用しての勉強も可能です。また、科目によっては、勉強会が設定され、過去に同じ科目を履修していた先輩から教わることができ、非常に充実した環境です。

II. 生活状況

寮の設備においてはキッチンやバスルームの設備も整っており、不自由ない生活を送っています。ただ、大学からは少し離れた場所にあるため、移動に時間を要するのが欠点です。通学方法は、バスを利用しています。食事は、ミールプランを持っているので、大学の食堂で食べたり、寮の近くにあるレストランやファストフード店で済ませたり、バスを利用してダウンタウンまで足を運んで、日本食を食べたり、ハンバーガーを食べたりしました。また、フェアヘイブンと呼ばれるところにもいくつかレストランがあるので、そこで食べることもありました。休日は、課題をこなしつつ、現地の友達とご飯を食べに行ったり、カフェで話をしたり、クリスチャンの方に教会に誘われたこともあったので、それに出席したこともありました。

留学種別	TESS II
留学先大学	オハイオ州立大学ヤングスタウン校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Fall Semester は ELI(level1~level5)を受講した。module1,module2 (前半後半)に分かれており、module1 は level4 で grammar, reading, writing, listening, speaking (各 60 分) を月曜日から木曜日の週 4 日受講した。最初の授業は 8:30 に始まり、最後の授業は 15:00 に終了した。クラスメイトはサウジアラビア人の女性のみであった。授業では練習問題の答え合わせでの発言や文章を読んだ感想など積極的な発言が求められた。2人で受講していたこともあり、間違えてたり、誤った認識をしている際は丁寧に解説してもらえた。クラスメイトの都合で speaking のみ先生との 1対1 の授業であったため教科書の内容に沿いながらも日常的な会話をするのも多くあり聞く話すの面で大きく成長したように思う。module2 は level5 に進み reading, writing, listening, speaking (各 75 分) を月曜日から木曜日の週 4 日受講した。最初の授業は 9:25 に始まり、最後の授業は 15:15 に終了した。クラスメイトはブラジル人の男性のみであった。module1 と同様に積極的な発言が求められた。level5 の教科書は level4 の教科書の内容と同じところがいくつかあり、練習問題では自身の成長を感じられた。主な学習場所は図書館で、5階建てで学習スペースは十分にあり机も自由に移動させられるので集中することができた。寮にも学習室、パソコン室があり学習スペースは十分にある。

II. 生活状況

8/12 から入寮していたがルームメイトとのトラブルにより 10/12 から寮を変更した。寮の規則で部屋のルールを決めた際に音楽を聴くときや動画を見るときは必ずヘッドフォンを使用することにしていたのだが、10月に入った頃からルームメイトが何度も破るようになった。はじめは 19時、20時頃だったので気にしなかったが、次第に 22時頃、ときには深夜の 2時ごろでもヘッドフォンを使わないようになり、睡眠不足に悩まされていた。ある日私が寝るときにうるさかったので、時間を空けて 2回ヘッドフォンを使ってほしいと言ったが、無視された。部屋の電気をつけたがらない性格のようで私が部屋の電気をつけるといつも嫌な顔をしたり、布団に潜り込んだりするのが辛かったこともあり、RA と寮長に相談し 1週間後には量を変更することができた。変更後は 4人部屋となり、ルームメイトとは何のトラブルもなく過ごせた。

寮はシャワールーム、お手洗いがフロア共用で時々不衛生な印象を受けたがフロアミーティングのたびに改善されていった。寮から教室までは徒歩 10 分だか食堂は徒歩 1,2 分の距離にある。Meal Plan は週 1 2回食堂を使えるものを選択しており、校内のカフェを利用したりしながら基本朝、夕の 2食で済ませた。洗濯機、乾燥機がそれぞれ 10 台ずつあるので、順番待ちをすることはあまりなかった。

毎週金曜日と土曜日に 3本ほど Walmart 行きの無料シャトルバスが出ているのでそれを利用して生活用品やおやつなどを調達した。WRTA というバス(\$0.75)を利用して 30分かけてモールに買い物に行くこともあった。帰りが遅くなる際は Uber や Lyft を利用した。休日は基本部屋で課題に取り組んでいたが、長期休暇は Greyhound というバスを利用してピッツバーグ (1時間) やクリーブランド (2時間) に観光にも行った。また、IPO(International Programs Office)主催のイベントに参加することもあった。

留学種別	TESS II
留学先大学	オレゴン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

半年間は主にジェンダーとセクシュアリティのクラス、留学生向けの英語の授業をとっていました。

ジェンダーの授業は週に 100 ページ程のリーディングが出される為大変でした。

留学生向けの英語の授業は課題も授業についていくのも、簡単でした。留学生向けの英語の授業をとっていたおかげで、他の授業の勉強に時間を割くことができ留学生活に余裕が少し持てました。

大抵の授業は講義形式でした。

II. 生活状況

私の学生寮は高い割には、古くてあまり好きではなかったです。同じフロアの子が吸っているのか、マリファナの臭いが偶にしました。

私の寮はキャンパスの中にあっただので、すごく便利でした。

食事は寮で売っている食べ物を買って食べていました。ミールポイントという制度があって、ポイントを使ってご飯を買っていました。ハンバーガー、サンドウィッチ、メキシカン料理、サラダ等がありました。

休日は寮でゆっくりするか、友達とご飯に行くか、課題をやったりして過ごしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	オレゴン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

語学学校は月-木の週 4 日で **Speaking&listening**、**Reading&writing**、**Grammar** の 3 科目各 80 分と **Student success** 50 分週 2 回でした。また **conversation partner** というチューターと個別で 60 分会話するアクティビティが必須でありました。**Speaking&listening** はリスニング中心で、映画を見る課題などが出ました。週に 1 回チューターが授業に参加して一緒にディスカッションや会話をする機会もありました。教科書とプリントと使用しました。**Reading&writing** は主に長文読解とパラグラフの書き方を習いました。教科書とプリントと使用しました。**Grammar** は文法で、その日習った文法を使って実際に文を作っていく授業で、教科書は課題で使用しました。**Student Success** はアメリカ文化を勉強する授業でした。どの授業もグループワークが多かったです。クラスは始めのプレイスメントテストで 5 段階に分けられました。人数や国籍はクラスによって違いますが、大体 15-20 人程度で圧倒的に日本人が多く、次に中国人、サウジアラビア人が多かったです。課題などが聞きに行けるチューターデスクやパソコン・プリンターなどがあり、教室も綺麗で環境は良かったです。毎日同じサイクルなのでつまらなくなることもあります。

大学の授業は **History**、**International studies**、**Korean** の 3 科目を取っています。最大 16 単位とれて、一科目 4-5 単位なので 3-4 科目取れることになります。時間割は **History** は講義 50 分月水金+ディスカッション 50 分金、**International studies** は講義 80 分火木+ディスカッション 50 分金、**Korean** は講義 50 分月水金+ディスカッション 50 分火木です。基本的にどの授業にもディスカッションか研究室の授業が付いてきます。講義は大人数で聴講する形式で、ディスカッションでは 20 人ぐらいの少人数に分かれて講義内容や教科書の内容を話し合う参加型の授業になります。**Korean** など言語の授業は講義、ディスカッションに関係なく講義とグループワークが合わさった形式です。どの授業も教科書を使用しますが、購入指示があっても結局使用していないクラスもあります。教科書は大きくて分厚くて重いです。学生は白人が多く、アジア圏は中国、ベトナム、日本が多いように感じます。教授もアシスタントも質問などがあればどんどん聞いてほしいというスタンスなので、困ったりわからないことがあったら気軽に話に行けることがありがたいです。アメリカでは自己紹介程度でも教授に話しかけにいており、よくコミュニケーションをとっているのが印象的です。講義は講義中でも生徒が手を挙げて質問しているのが日本にはないものだと思います。ディスカッションは学生と話す機会が多く、内容も授業内容に沿って難しいので、しっかり予習していかないと話し合いにならないこともあり、大変です。図書館やカフェなど勉強できる場所は多いと思います。教室や施設も綺麗ですが、学内が広く、教室移動に時間がかかります。

II. 生活状況

私は寮に住んでいて、今は 2 人部屋を一人で使っています。(秋タームはルームメイトがいました。) トイレ・シャワーは階ごとで共有です。寮に入るときに ID (学生証)、部屋は鍵が付いています。トイレに行くにしても鍵を持たないといけないのが面倒くさいです。私の寮が一番古くて汚いといわれていますが、生活に最低限必要なものはあるし、掃除も週に一回されて綺麗にはされているので満足しています。ランドリーは地下にあり、棟で共有です。タイミングが悪いと待つ時間が長くなるので平日や朝に行くのがいいです。部屋はベッドでマットレス、クローゼット、勉強机、棚があります。暖房も完備されています。私の寮は比較的静かですが、通りに面した部屋なので車の音や人の声が聞こえます。寮の設備や綺麗さは寮ごとに違います。寮費はミー

ルプラン込みですがすごく高いです。寮が学内にあるので通学は徒歩です。(学外にある寮もあります。) 食事は大体寮でとりますが、外食するときもあります。大学の近くにも食事する所があるので食事には困らないと思います。中華料理屋が多いです。スーパーもありますが徒歩で15分ほどかかります。大型マーケットはバスで30分ほどかかります。ダウンタウンまでは歩いて30分ほどですが買い物する場所はそんなにたくさんはないです。移動手段がバスに限られるので移動には苦勞します。車なら数分のところをバスで何十分かけて移動したりします。遊びに行く場所は少ないですが自然が豊かでハイキングなどはできます。休日は課題をしたり、映画を見たり、友達と食事に行くことが多いです。スポーツが強い学校なので、大学のアリーナやスタジアムでスポーツ観戦をすることもあります。大学でアクティビティやイベントが開催されているのでそれに参加するのもいいです。

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア大学アーバイン校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

クォーター制なので授業は 10 週間ごとです。初めにクラス分けテストを受けてテストの結果によりクラスが大体 7 つのレベルに分けられます。1 クラス 15 名前後です。中国人、日本人、サウジアラビア人が多いです。授業は月曜から金曜まで毎日 3 コマあります。1 限目は 13 時から 13 時 50 分までリーディングの授業です。1 冊の小説を 1 ターム (10 週間) かけて読み上げます。2 限目は 14 時から 15 時 20 分までリスニング・スピーキングの授業です。この授業ではプレゼンの課題などもあります。3 限目は 15 時 30 分から 16 時 50 分までライティング・文法の授業です。エッセイの課題などもあります。休み時間は授業の合間に 10 分あります。

II. 生活状況

寮での生活をしています。キャンパス内の寮ではないので一般の家族なども住んでいますが、UCI に通う生徒も多く利用しています。2 人 1 部屋が 2 部屋あります。バス、トイレは 2 人で 1 つを共有しています。部屋にはベッドと机があります。収納スペースは十分な広さです。リビングとキッチンが 4 人で共有しています。基本的なキッチン用品はそろっています。通学はバスです。バス停まで徒歩 10 分、バスに 10 分程乗り、バス停から徒歩 10 分で学校につきます。バスは市営のバスで 1 回 2 ドルです。1 か月分のバス定期を近くのスーパーで購入できます。1 か月 70 ドルですべての路線が乗り放題です。公共交通機関はバスしかありません。本数も路線もたくさんあるわけではないので不便です。土日は走らない路線が多いです。学校と寮の行き来には困りませんが、休みの日などいろいろなところに出かけたい方は車なしでは不便です。Uber や Lift などを利用するか友達の車に乗せてもらっていました。食事は自炊が中心でたまに外食をしていました。スーパーは徒歩圏内にあり、バスで日本食スーパーやアジア系のスーパーに行けるので困ることは特にありません。休みの日は友達と遊んでいました。ロサンゼルス、ディズニールランド、ユニバーサルスタジオ、サンディエゴ、サルベーションマウンテンなどは車で日帰りで行ける範囲にあります。

留学種別	UCR 特別
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業は午前中に **Integrated Skill** (英語力向上のための授業)、午後は選択である **Business English** と **Intercultural Communication** が 1 日おきにあるというサイクルでした。午前中は **Ted Talk** を題材に問題を解いたりディスカッションをし、2 週間ごとに筆記のテスト+プレゼンまたはエッセイというものでした。また、**Idiom** を 1 日 5 個習ったのですが、個人的に実生活で使えたので良かったです。人数は少数でおよそ 15 人ほどだったと思います。教科書は **Keynote** を使用していました。授業形式としては講義+ディスカッションといったものでした。

Business English は教科書を基に、ビジネス業界について学ぶというものでした。人数は 20 人ほどで主に講義形式でしたが、意見が飛び交っていました。教科書は **MARKET LEADER** を使用していました。

Intercultural Communication では生徒がグローバルであることから主にディスカッション形式で異文化交流の問題点などを話し合いました。教科書ではなく配られたプリントを基に授業が進められました。人数は 12 人ほどだったと思います。

生徒の国籍は、日本、中国、サウジアラビア、韓国、クウェートが主でした。

II. 生活状況

ホームステイをしていましたが、私のホストファミリーは特に素敵な人だったと思います。ルールは、楽しく過ごすこと、家にあるものは自由に使ってよく、義務はないのに休日も駅まで送り迎えをしてくれました。休日にはみんなででかけることも多く楽しかったです。

通学はファミリーが送り迎えをしてくれました。

食事はマザーがペルー人だったこともあり、アメリカンというよりはペルー料理が多かったです。

休日は、テスト勉強や課題、ロサンゼルスに買い物にいったりしました。なるべくいろんなところに行こうとサンディエゴやラスベガス、冬休みにはトロントやイエローナイフ、ニューヨークに行きました。

留学種別	UCR 特別
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

午前は英語の 4 技能を鍛えるクラス 14 人 国籍:韓国 中国 サウジアラビア クェート
9:00~12:00 TED Talk に沿って作られた教科書を使用。クラスメイトとディスカッションをしながら進める。

エレクティブ 13:00~15:00 火曜と木曜、水曜と金曜で週に 2 日 2 科目受講

1 IELTS 国籍: 中国 台湾 サウジアラビア クェート スペイン

2 Business English 国籍: 中国 サウジアラビア クェート

ビジネスシーン毎の単語を学ぶ。

II. 生活状況

ホームステイでは家族と過ごす時間が極端に少なかった。ホームステイ生活なので、家族と過ごす時間に期待をしていたが、残念だった。また、事前に UCR から受け取った家族構成と明かに違ったことで、不信感を抱いてしまった。通学に往復 1 時間かかるのと、ホストファミリーの都合で私のスケジュールが左右することもあったので、大学の寮も選択肢にあったら良かったのに、と思うこともしばしばあった。

朝食、昼食は各自で準備。冷蔵庫の食材を使って用意した。土曜日から月曜日が休日になるので、LA に観光に行くことが多かった。

留学種別	UCR 特別
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・コース内容（授業内容）

①Integrated 500...TED TALK を用いた授業。ディスカッション、文法、ライティングの技術向上。

②Business in English... 市場についてマーケティングやマネジメント、金融などの観点からビジネスを学んだ。就職活動の面接を模したテストや、ビジネス用語に関する語彙問題、リスニングなどを行った。

③Intercultural Communication...多様性について学んだ。国籍が違う学生と文化に関するディスカッションをしたり、エッセイを書いた。

※①、②は選択授業

・クラス人数、国籍

①クラス人数 10-12 人、国籍：日本、中国、台湾、クウェート、サウジアラビア、エルサルバドル

②10 人、日本、中国、クウェート、サウジアラビア、韓国

③10 人日本、中国

・一週間の授業時間割

①毎日午前 9-12

②毎週水曜・金曜午後 1-3

③毎週火曜・木曜午後 1-3

・使用教科書

①Key Note

②Market Leader

③プリント

・授業形式（講義形式、ゼミ形式等）

・大学の学習環境、自習室、教室の設備

II. 生活状況

・ホームステイの環境

メキシコ系の 60 代のホストマザーがいた。はじめは 1 人 1 部屋が与えられていた。お昼以外ホストマザーがご飯を用意してくれた。

・通学方法

ホストマザーによる車での送迎

・食事や買い物

ホストマザーが週に 2 回ほど買い物に行ってくれた、時々同行した。

・休日の過ごし方

近所の公園に散歩したり、テーマパークに遊びに行った。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学サンマルコス校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は週に5日授業があり、ライティング、リーディング、リスニング、スピーキング、文法、ボキャブラリー、エンリッチメント、アカデミックブリッジ、メンターシップの9つの授業を取っています。エンリッチメントは、前半は映画を選択し、映画歴史や、映画の中で使われる音が人に与える効果についてなどを学びました。後半は、アクセントを選択し、発音の仕方を学んでいます。アカデミックブリッジでは、ユネスコのプログラムで、リーダーシップについて学んだり、学校のイベントに参加したり、身体障害者の人とボランティアをしています。クラスは約20人で、初日にしたテストによってそれぞれレベル別にクラスが分けられています。サウジアラビア人、フランス人、中国人が居ますが、大半が日本人です。教科書は、紙の教科書とネットを使用しています。

大学の図書館は広く、朝早くから夜遅くまで開いており、学習環境はとても良いです。

II. 生活状況

ホームステイは、ホストマザーが話すことが好きなためたくさん話すことができるため、多くの情報を知ることができ、会話の練習になっています。また、発音の仕方や文法などを教えてくれたり、課題も見ってくれるため自分のミスに気づくことが出来ています。通学は、大学から少し遠く、最寄の駅も遠いため、通学はホストマザーが車で送り迎えをしてくれています。休みの日に出かける場合は、駅までUberを使用しています。食事は、遊びに行く日や外出に行く日以外はホストマザーが作ってくれます。ホストマザーは料理することが好きなため、アメリカ料理やメキシコ料理、中華料理、日本料理などさまざまな国の料理を作ってくれます。買い物は、お菓子や服、お土産などにお金を使っています。休日は、土曜日は学校の友達と観光に出かけています。日曜日は、ホストマザーと過ごしています。買い物にでかけたり、観光をしたり、家で映画をみたりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学サンマルコス校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

英語の 4 技能（リーディング、リスニング、スピーキング、スピーキング）とアメリカの文化についての授業を受けました。英語の授業はそれぞれ一冊教科書がありましたが、プリントを使う授業もありました。スピーキングでは 5 分程度のスピーチをしたり、リスニングでは実際の授業の映像でノートをとる練習をしました。どの授業も 10 人から 15 人で、大半が日本人でした。アメリカ文化に関する授業では映像を見たり、ディスカッションをしたり、料理を食べたりしてカリフォルニアを中心にアメリカの言語や自然、一般常識について学びました。授業は週に二回か三回で、60 分前後でした。授業後は主に寮で宿題をしたり、テスト勉強をしたりしました。図書館はとても広く開館時間も長いので、たまに利用していました。

II. 生活状況

UVA はキャンパス内の寮で、オートロックなので安心です。学校に近いので、夜遅くまたは早朝に授業を受けたり、図書館で自習したりするにも便利です。自習に使える空間や印刷機、休憩スペース、プールなどがありますが、生活していくための必要最低限のものは自分自身で、もしくはルームメイトと買い揃えなければならないので、意外とお金がかかります。キッチンとリビング、バスルームは共有ですが、十分な広さだと思います。洗濯は無料で自由な時間に好きなだけできます。寮（キャンパス）から歩いて約 10 分のところにスーパーとドラックストアがあります。Walmart などと比べると高いですが、歩いて行けるところは一か所のみなのでそこを利用しています。休日はサンディエゴを観光したり、ロサンゼルスまで足を延ばしたりして過ごしました。宿題やエッセイ、プレゼンの練習のために家で過ごすことも多かったです。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学スタニスローズ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・学部授業(スペイン語、マスメディア、女性学、心理学)
- ・国籍多様、比較的少人数(30名ほど)、心理学のみ大規模の講義
- ・スペイン語は週3回、あとは週2回
- ・心理学のみオンライン教材
- ・講義形式
- ・設備は整っており快適

II. 生活状況

- ・自然に囲まれており宿舎は良好
- ・徒歩
- ・食事はミールプランの選択肢が多い
- ・友人と出かける、ジムで運動する、課題に取り組む

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立工科大学ポモナ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

【語学授業】

- ・履修科目：今期：Academic Writing、前期：Writing, Reading、Grammar, Film
- ・クラス人数：各 15 人前後
- ・時間割：今期：月水金に各 2 時間、前期：月から金曜、毎日 4 時間
- ・使用教科書：テキストや英語本、プリント
- ・授業形式：講義形式であるが教師と生徒の距離が近くいつでも質問できる
- ・語学学校の学習環境：自習スペースは設けていないが、空き教室を自由に使える

【学部授業】

- ・履修科目：global Business、Professional Selling、Gender
- ・クラス人数：各およそ 30 人
- ・時間割：ビジネス 2 科目は火曜木曜、各 1.5 時間、Gender は水曜に 2.5 時間
- ・使用教科書：デジタル教科書
- ・授業形式：講義型
- ・学習環境：自習室は特になし

II. 生活状況

- ・宿舎環境：大学内にあるため非常に便利で、危険が少なく安心である。部屋にはバストイレ、冷蔵庫、電子レンジが備えられている。
- ・通学方法：徒歩
- ・食事や買い物：バス、車を所持している友達にさせてもらう、UBER 等
- ・休日の過ごし方：予習復習、課題に取り組む、友達と出かける等

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立工科大学ポモナ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

語学学校

私が履修していたのは、

・ FILM ・ Advanced Grammar ・ Academic Writing ・ Academic Vocabulary ・ Writing Laboratory の5つです。

レベルが Reading/Writing と Listening/Speaking でそれぞれ分けられていて、各自2～6まであります。

私は、そのうち両方とも5でした。レベルによって履修しなければならないクラスが違うので、授業時間もバラバラでした。

私のクラスの人数は、クラスによって違いましたが、だいた15人程度で、7割中国人・2割クウェート人・1割その他（韓国人・日本人・ラオス人）という感じでした。

1週間の時間割は

Mon FILM (8:00～9:50) ・ Academic Writing (10:00～11:50)

Tue Advanced Grammar (8:30～9:50) ・ Writing Laboratory (10:～11:20) ・ Academic Vocabulary (11:30～13:00)

Wed FILM (8:00～9:50) ・ Academic Writing (10:00～11:50)

Thu Advanced Grammar (8:30～9:50) ・ Writing Laboratory (10:～11:20) ・ Academic Vocabulary (11:30～13:00)

Fri FILM (8:00～9:50) ・ Academic Writing (10:00～11:50)

でした。

使用教科書は、

FILM の授業で、JOY LUCK CLUB と THE GIVER の小説を使いました。

Academic Writing の授業でライティングについての教科書をたまに使用していました。

各授業でだいたいプリントが配布されて、そのプリントで授業を進める方針でした。

あまり教科書は使用していません。

授業形式は、だいたい講義形式で Writing Laboratory のみ、質問があれば先生に聞きに行くスタイルでした。

授業というよりは個人の活動の時間のような感じでした。

全ての部屋が綺麗にしてあります。

休憩場があり、そこには冷蔵庫とウォーターサーバーがあるので、水やお湯を飲めたり、冷蔵庫・冷凍庫の中に自分のものを保存したりすることができます。

毎日15時まではフロントデスクが開いていて、事務的なことを相談することができます。(授業変更や語学学校主催のイベントについてなど)

教室は、ホワイトボードと机と椅子が完備してあります。(たまにプロジェクター)

授業が終了した後は、各クラスが使用可能ですが、16時くらいになると人が確認をしにきます。(使用していなければそのタイミングで施錠)

学校の後に自習がしたい場合は、メインキャンパスにあるカフェテリアや図書館に行く生徒が多いです。

II. 生活状況

月に\$963を支払っています。(インターネット、またはフロントオフィスで支払い可能)

大きな1部屋に4つの個人部屋があるスタイルの部屋に住んでいます。

家には共用キッチンと2人ずつで使用するバスルームがあります。

バスルームには、トイレとシャワーが完備されています。

個人部屋には、小さめの2段タンスが2つ、2段の棚が1つ、ベッド（フレームとマットレスのみ）、勉強机、椅子、ハンガーラック（ハンガーなし）があります。

Wi-fi は学校のサイトで登録した後に使用できるロックがかかったものと、誰でも使用できるGUESTのものがあります。（どちらも無料）

洗濯は、University Villageに住んでいる全員の生徒と共同の洗濯場があります。

24時間いつでもできるようになっていて、アプリで洗濯と乾燥の終わる時間を確認できるように最近なりました。

何か構ったことや質問があれば、RAに聞くかフロントオフィスに聞けば解決できます。

シャトルバスを使用したり（5~10分程度）、歩いたり（20分程度）して通学しています。

基本的に自炊をしていますが、外食することも多いです。

車が無いとどこに行くにも不便ですが、車を持っている友達ができると一緒に連れて行ってもらえると思います。

バスで買い物へ出かけることも可能なので、困ってはいません。

休日は、近くのカフェに行き課題をしたり、部屋で動画を見たり、近くの家の子と集まって話したりしています。たまにはロサンゼルスの方まで出かけたりすることもあります。

留学種別	TESS II
留学先大学	カンザス州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

1. Advanced English Listening

- ・コース内容：英語のリスニング、学部授業に向けて、ノートの取り方を重視した授業。
- ・クラス人数、国籍：12 人、中国人、韓国人、サウジアラビア人、パラグアイ人
- ・時間割：月水金の 9：30～10：20
- ・使用教科書：More of the Real Thing
- ・授業形式：Recitation

2. Advanced English Writing

- ・コース内容：English Essay, Research paper, Grammar
- ・クラス人数、国籍：14 人、中国人、サウジアラビア人、パラグアイ人
- ・時間割：月水金の 11:30～12:20、火木の 11:30～12:45
- ・使用教科書：Understanding and Using English Grammar 5th Ed., Final Draft 3
- ・授業形式：Recitation

3. Advanced English Speaking

- ・コース内容：Speaking as much as possible about myself and social problems
- ・クラス人数、国籍：18 人、中国人、サウジアラビア人
- ・時間割：月水金の 14:30～15:20
- ・使用教科書：Focus on Pronunciation 3
- ・授業形式：Recitation

4. Advanced English Reading

- ・コース内容：速読、多読
- ・クラス人数、国籍：13 人、中国人、サウジアラビア人、パラグアイ人
- ・時間割：月水金の 15:30～16:20、火木の 14:30～15:45
- ・使用教科書：Pathways 4、Exercise Your College Reading Skills; Developing MOre Powerful Comprehension, 2nd Ed.

〈大学の学習環境〉

歴史ある大学なので、建物は古めだが、パソコンがたくさん設置されており、図書館も今年から新装されたので自習できるスペースはたくさんあります。

II. 生活状況

- ・宿舎の設備、環境：キャンパス内にある 2 人 1 部屋の寮、トイレとシャワーは共有。寮に入るときは大学の身分証明書のカードをスワイプしないと入れない仕組みになっており、また各部屋に鍵が付いています。エアコンが付いているのですが、かなり乾燥するのと、風の暑さと寒さをうまく調整できないので、服で調整することが多かったです。
- ・通学方法：基本徒歩、学生は無料でバスに乗れるが、路線の関係上使用しなかった。
- ・食事や買い物：食事は、普段寮についているミールプランを使って食事しています。日曜日の夜は空いていないので、Korean Market などで簡単な調理でできるご飯を買ったり、またはご飯を食べに行ったりします。
- ・休日の過ごし方：友達と遊ぶ、カフェで勉強する、教会に行く、など。交通手段は Uber またはバス。

留学種別	TESS II
留学先大学	カンザス州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- Speaking, Writing, Reading, Listening (語学学校)
- 16 人、Korean, Chinese, Paraguayan, Saudi, Japanese, Brazilian
- MWF: Writing, Listening, Speaking, Reading (50min)
TueTh: writing, Reading (80min)
- Writing: Understanding and Using English Grammar,5th Ed, Understanding and Using English Grammar Workbook,5th Ed and Final Draft3
Listening: More of the Real Thing
Speaking: Focus on Pronunciation3
Reading: Exercise Your College Reading Skills: Developing More Powerful Comprehension, 2nd, Ed and Pathways4
- lecture
- 教室は古いところもあるが、自習スペースがたくさんあり充実している。

II. 生活状況

- 寮は 2 人 1 部屋でトイレとシャワールームは共同、綺麗ではない。
- 通学方法は徒歩。
- 寮についてくる食事はおいしくない。外食は高価。近くにコリアンマーケットがあるためそこでカップ麺や白米を購入して週に一度部屋で食べている。買い物は Uber や無料バス、自転車、友達の利用している。
- 休日の過ごし方は友人と遊んだり、カフェに行ったり、ジムに行ったりしている。

留学種別	TESS II
留学先大学	クレムソン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・学部授業を履修しています。秋学期は、Theatre、English、Japanese business、Animal Veterinary、Rifle、Contemporary Dance を履修していました。Animal Veterinary 以外は基本的に少人数授業で 20 人以下のクラスでした。国籍は私以外はアメリカ人の学生です。教科書は English の授業のみ使用しました。私が履修している授業は少人数のため、ディスカッション形式で進むことが多かったです。

図書館は 24 時間空いているので、平日はよく行っています。寮から近くにスタバもあるので、そこで勉強したりもします。新しく建物がどんどん建っていてすごく綺麗な教室で受ける授業もあります。

II. 生活状況

寮は、ベッドルームが二つ、キッチン・バスルームは共用で 4 人で生活しています。アメリカ人・フランス人・カナダ人・私の 4 人です。「綺麗」の基準が大きく異なるのでストレスに感じることもありますが、あまり気にしないようにしています。寮はオンキャンパスなので歩いて登校しています。食事は基本的に自炊をしています。スーパーは徒歩圏内にないため、毎回ルームメイトや友達に頼んで連れっけてもらっています。休日は留学生の友達と出かけたり、アメリカ人の友達と出かけたり、勉強したり、フットボールの試合があるときは観に行ったりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	サザンオレゴン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

主にコミュニケーションのクラスを受講していて、ほとんどのクラスではアクティビティーが中心で学生は受講しているどのクラスも 30 人程度です。どのクラスも週に 2 回、1 回 120 分のクラスです。受講している 4 クラスのうち 3 クラスがアクティビティー中心の授業となっています。教室には主にアメリカ学生がいて、日本人学生はあまりいません。私が受講しているどのクラスも教科書を必要とし、こちらの教材は高いのでお金がかかります。大学の寮に勉強する部屋があり、自分の部屋で集中できなければそこに行けます。私はルームメイト達と部屋でコミュニケーションをとりながら宿題をすることがほとんどです。

II. 生活状況

- ・設備環境良し、時々火災探知機がなる。火災探知機はかなり敏感
- ・大学内に寮があり徒歩で移動、キャンパスは大きいがそれほど移動に困らない
- ・食事は主に食堂利用(meal plan)。時々ミールプランに含まれている大学内で使える **Raider Cash** を利用しお寿司を購入
- ・休日はルームメイトと過ごすかジムへ行く。宿題もあるため休日は宿題をする日でもある。

留学種別	TESS II
留学先大学	サザンオレゴン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Fall term

- Intensive English Program (writing, reading, grammar, communication)
- 5 名日本人、1 名中国人(アメリカンサモア島育ち)
- 月, 水, 金 writing, reading / 火, 木 communion, grammar
- keynote, Focus on Grammar 4, Q: Skills for Success Reading and Writing 2E Level 4 Student Book
- ゼミ形式、パソコン、自習室、プロジェクター完備

Winter term

- nonverbal communication
- 約 30 人のクラスメート、主にアメリカ人 (日本人 3 人を含む)
 月、水曜日 2 時間
 使用教科書、nonverbal communication in everyday life
 グループディスカッション、アクティビティ多

- communication across cultures
- 約 30 人のクラスメート、主にアメリカ人 (日本人 3 人を含む)
 火、木曜日 2 時間

使用教科書、an introduction to intercultural communication, the spirit catches you and you fall down

主に講義、ペアワーク、グループワーク、グループプレゼンテーションあり

- english101
- 留学生 8 人 (日本 4 人 サウジアラビア 1 人 アメリカンサモア 2 人 ポーランド 1 人)
 月、水曜日 2 時間

使用教科書 : prism/主に講義、ペアワーク、グループワーク

II. 生活状況

fall term

- 寝具の貸し出しが終わるまでに購入しておく必要がある、部屋の温度調節可
- 寮から教室へは十分程度
- 食事は主に食堂、多くのジャンルのレストランあり
- 休日は課題や、友人とショッピングやレストランへ

winter term

- tess 指定の寮 Shasta は電子レンジ、冷蔵庫なし
- 寮内学習室あり、テスト前図書館 24 時間営業
- 寮から徒歩 5 分程度に古着屋、映画館、カフェ、レストラン、セブンイレブンあり
- メドフォードへはバスで 20-30 分、ショッピングモール、レストランあり
- 日曜日バスなし

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

<社会学>ジェンダー、教育、経済、人種、文化等の現代社会の事情について学ぶ。人数は 40 人程度でほとんどがアメリカ人。アジア系は自分含めて 2 人。教科書は Conley の YOU MAY ASK YOURSELF を使用。毎週あるクイズに欠かせない。授業はパワーポイントのスライドを中心に進められる講義形式で、時々質問のある生徒が発言する。<人類学>人類の進化過程や環境の変化、それに伴う人々の生活様式の変化等を学ぶ。また現代のジェンダー事情や人種問題、社会の仕組み等も扱い社会学と少々類似する。そのため一緒に取ると理解しやすいと思われる。人数は 70 人程度の大規模クラスで、ほとんどがアメリカ人。アジア系は自分のみ。教科書は Kottak の ANTHROPOLOGY を使用。高価な物だったがほとんど使用しなかった。授業はパワーポイントの講義式。時々発言を求められる。<宗教学>各宗教の調査ではなく、宗教的な観点から物事を考える授業。そのため宗教に関する予備知識が無いと少々難しい。テストには記述問題も含まれるので簡単ではない。人数は 20 人程度と小規模で、講義と生徒による発言で授業が進められていく。教科書は Religion in 5 Minutes を使用。毎回の Reading の課題に必要な教科書。<コンポジション>英語による Writing の授業。文章の書き方や引用の仕方、自分の言葉を伝える手段の種類等を学び、テストの代わりにそれらを実践するかたちで提出物を完成させる。テストはないが課題の量がかなり多い。教科書は EVERYTHING'S A TEXT を使用。毎回の Reading の課題に必要。授業はプレゼンテーションや意見交換などアクティブな内容。大学の学習設備は整っている。図書館は 24 時間で個人学習スペースとグループ学習スペースが分かれているので他人の声を気にせずに落ち着いて学習できる。また席数も十分にあるのでテスト週間も困らない。1 週間の授業スケジュールは以下の通り。

月水 11:15-12:05 社会学 17:30-18:45 宗教学

火木 9:30-10:45 コンポジション 15:30-16:45 人類学

金 11:15-12:05 社会学

II. 生活状況

宿舎は 4 人での共同生活。ひとり一部屋ずつ個室が与えられ、バスルームは 2 人で一つを共有だが洗面台は個人に専用のものである。キッチン設備も整っており、問題無く自炊できる環境。水回りも清潔で生活に支障なし。部屋も十分なスペースがあり快適に過ごせるが、部屋によっては窓が小さめで日中も電気を付けないと少し暗い。空調は部屋全体で管理するので温度に関しては全員で相談する必要あり。掃除機は貸し出しがあるので使いたい時に近くのクラブハウスまで借りに行くことができる。ゴミは近くのゴミ捨て場で処分。臭いは全く気にならない。通学方法は基本的にバスか徒歩。バス停は歩いて 2 分ほどの場所にあり、少し待てば歩いてすぐに乗ることができるが、夕方は本数が減るため注意は必要。キャンパスまでは歩いて 10-15 分程なので天気が良ければ徒歩で通学する留学生は多い。食事はミールプランを付けなかったので毎日自炊。買い物は 1, 2 週間の 1 回のペースで、友達の家か徒歩かのどちらか。1 番近いスーパーは Walmart で徒歩 20-30 分程度。スーパーが遠いのが難点。ただし毎週月曜日の夕方に無料で大学がスーパーまで送迎してくれるサービスがある。(授業時間とかぶると利用できない) 休日は課題や友達やホストファミリーと出かけたりするなど様々。日本の大学よりもはるかに課題の量が多いので割と忙しい。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

経済：20 人程度、アメリカ人、75 分週 2、Essentials of Economic、講義、教室寒い

Art history：40 人程度、アメリカ人、75 分週 2、講義、パワーポイント

Songs and politic in China: 6 人、アメリカ人 75 分週 2、先生は中国人、英語中国語で授業

II. 生活状況

キッチン洗濯機乾燥機電子レンジ冷蔵庫バスタブトイレ Wi-Fi がある。

個室。リビングルーム。

学校の無料バスか徒歩。

歩いてスーパー。食堂。

彼氏とバスケットを見に行ったり映画を見たりパーティーをしたり図書館で勉強する。

留学種別	TESS II
留学先大学	チャタム大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

チャタム大学の ELP では2つコースがあり、オリエンテーションで行うテストの結果で分けられました。私のクラスは、日本人7人、サウジアラビア人5人、中国人1人、タイ人1人で行われています。履修している授業は4つで、月曜日と水曜日にライティングとリーディング、火曜日と木曜日に US カルチャーとスピーキング&リスニングを受けています。1コマ 140 分で途中に 10 分程の休憩があります。午前 (9:00 - 11:20) に 1 コマ、午後 (12:30 - 14:50) に 1 コマです。すべての授業で教科書を使用しており大学内のブックストアで借りる、買うかアマゾンで購入をしました。授業形式はすべてゼミ形式で積極的に発言に参加できる環境です。自習するスペースは学生ラウンジ、図書館などがあります。

II. 生活状況

私は大学の敷地内にある学生寮にアメリカ人のルームメイト 2 人と滞在しています。寮には洗濯機と乾燥機が 1 台ずつありあらかじめ予約して使うシステムです。部屋はリビング、キッチン、バスルーム、1 人部屋、2 人部屋の構成です。テレビや電子レンジ、掃除機、料理器具など生活に必要なものはルームメイトが持ってきてくれており、わたしで用意したものはありません。寮から教室までは歩いて 5 分程です。食事について、朝食は自分で購入したパンやシリアルなどを食べ、昼食と夕飯はミールプランを使いダイニングで食べています。留学生が選択できるミールプランは 1 セメスターで 120 食食べることのできるもののみでした。休日は大学のイベントに参加したり、友達とショッピングに行ったりしています。ピッツバーグ内のバスは学生証を使えばどこまででも無料で乗れるので交通費は気にすることなく出かけることができます。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアラバマ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・ Accounting Concepts I

教科書に沿った PPT のスライドを用いて授業が行われるため、授業中に教科書を持ってきている人はいない。1 回の授業で 1 chapter を終わらせるので、授業のペースは早いと感じる。そしてその授業内に章の練習問題を解き、疑問点があれば質問ができる。宿題はすべてオンラインである。また、3 章分の授業が終わると本格的なペーパーテストが行われる。

クラス人数は 25～30 人程度である。ほとんどはアメリカ人であり、6 人ほど留学生の中国人もいる。

この授業は週 1 回で 18 時から 20 時 45 分までの 165 分授業である。

使用教科書は **Financial & Managerial Accounting, 14th Edition CENGAGE (ISBN 978-1-337-27070-0)** (アマゾンで中古のものを購入 \$ 105.83) である。またオンラインの宿題を行うために、**CENGAGE (\$ 119.99)** を購入しなければならない。

・ American Sign Language-Part 1

耳の聞こえない教授から教わるので、生徒は授業中、声を出さずに手話で会話をしなければならない。はじめの 3 回ほどは教授の父親が補助としていらっしやしたが、それ以降は教授のみで授業が行われている。手話をみて答えるペーパーテストや、実際にクラスの前で手話を披露するテストがある。また手話にまつわる映画を自身で鑑賞し、レポートにまとめて提出する宿題が 2 回ある。そして授業の感想をまとめるカンバセーションペーパーの提出が 11 月中旬にある。

クラス人数は 25 人程度である。ほとんどがアメリカ人であるが、NUFS の生徒 2 人も一緒に授業を取っていた。

週に 75 分を 2 回行う授業である。

使用教科書は **Master ASL Level One (Units 1-10) と Master ASL! Fingerspelling, Numbers, and Glossing by Jason E. Zina (Sign Media, Inc: Press, 2006)** である。2 冊で \$ 195.18 であった。

・ Pre-Calculus Algebra

高校で学んだ数学の内容を行っている。3 回ほど授業を行った後、総まとめのテストがある。クラスの人数は 20～25 人程度である。ほとんどがアメリカ人で、1 人留学生の中国人がいる。

週に 75 分を 2 回行う授業である。

デジタル書と宿題を行うために、**pearson** に登録しなければならない。(\$ 126.75)

・ Introductory Korean-Part 1

韓国人の学生が教師として韓国語を教えるスタイルであった。ハンゲルの読み方から行うのではなく、最初の授業から会話の授業であった。最終の期末考査は、他大学の韓国語教師が UNA に来て行うようである。

クラスの人数は 10 人程度である。アメリカ人 6 人、日本人が 4 人いる。

週に 75 分を 2 回行う授業である。

教科書は **INTEGRATED KOREAN、INTEFRATED KOREAN WORKBOOK** を中古 \$ 32.37 で購入した。

図書館：平日は夜の 1 時まで空いており、よく活用している。日曜日は休館日である。

数学の教室は、閉め切っているような部屋で空気が悪い。

II. 生活状況

留学生用の寮 **Ricehall** に住んでいる。シャワーがフロアに6つあるが、よく故障する。例えば、そもそも水が出なくなったり、冷たい水 or とても浴びられないような熱いお湯しか出なかったりする。また私が住んでいる5階のバスルームは、上の階から水が漏れているのかわからないが、天井の壁が剥がれ落ちた。現在 **fall break** 中であり、そのままの状態である。また停電が度々起こる。そして火災報知器も誤って3度ほど鳴り、その都度外で1時間半ほど待たなくてはならない。そして **Wi-Fi** の調子が悪く、部屋ではオンラインの宿題ができないこともある。また夏は冷房がとても寒い。

他の **NUFS** 生は追加料金を払って **Rivers** に住んでいた。

通学方法は徒歩である。

食事は寮の横にある食堂を主に使っている。 **Dining Dollars** で **Panda Express** や **starbucks** を利用することもある。また自身で料理をすることもある。

買い物は **Hometown market** へ徒歩片道20分であるが、重い荷物を持って帰るには遠いので2度ほどしか利用していない。毎週土曜日は **florence mall** (小さいモール) やウォルマートへのバスが13時から19時まで1時間に1本出ている。しかし時間通りにバスが来なく、30分以上待つことがほとんどである。

休日は友達と買い物に出かけるか、宿題や自己分析を行っている。

留学種別	TⅢ (2か国目)
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度2期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・コース内容 (授業内容)

学部授業

- 社会学入門
- ライティング (ネイティブスピーカー向け)
- 日本語クラスのアシスタント (ボランティアなので単位はもらっていません)
- LGBTQ+入門
- フェミニズムとフィットネス

- ・クラス人数、国籍

- 社会学入門 : 100人ほど登録していると聞きました
- ライティング : 20人ほど
- 日本語クラスのアシスタント : 20人ほど
- LGBTQ+入門 : 2~30人ほど
- フェミニズムとフィットネス : 2~30人ほど

見た目ではどこの出身かわからないので国籍について確認するのが難しいです。社会学は人数が多いこともあり幅広い学生が受講しているように感じます。ライティングのクラスは私以外全員アメリカ人です。LGBTQ+, フェミニズムには私以外の交換留学生もいます。

- ・一週間の授業時間割

月曜日

10:10-11:00 Introduction to Sociology
 12:20-13:10 Elementary Japanese
 17:30-20:15 Introduction to Lesbian and Gay studies

火曜日

10:00-11:15 Writing and Inquiry in Academic Contexts
 11:30-12:20 Elementary Japanese
 17:30-20:15 Feminism and Fitness

水曜日

10:10-11:00 Introduction to Sociology
 12:20-13:10 Elementary Japanese

木曜日

10:00-11:15 Writing and Inquiry in Academic Contexts

金曜日

10:10-11:00 Introduction to Sociology

- ・使用教科書

- 社会学入門

Chambliss, William J. and Daina Eglitis. 2019. Discover Sociology 4th ed. Thousand Oaks, CA: Sage Publication

- ライティング

Newport. C. (2019) Digital Minimalism: Choosing A Focused Life in a Noisy World. New York: Penguin Books.

ISBN: 978-0-525-53651-2

RE:Composing Volume 2: A Journal by Writers for Writers (2019). Charlotte: Fountainhead Press.

ISBN: 978-1-68036-959-5

- フェミニズムとフィットネス
- Women and Fitness in American Culture, Sarah Hentges**
- ・授業形式（講義形式、ゼミ形式等）
 - 社会学入門：講義
 - ライティング：ゼミ、オープンディスカッション
 - LGBTQ+入門：ゼミ
 - フェミニズムとフィットネス：ゼミ

・大学の学習環境、自習室、教室の設備

基本的に図書館で勉強しています。**Quiet room** も図書館内にありますが、友人と勉強することが多いので使ったことはありません。

II. 生活状況

- ・宿舎の設備、環境

Martin Hall

新しく、広さも清潔さも充分です。キッチン、バスルーム、ランドリー共有で、1人用ベッドルームが4つある部屋に住んでいます。ペットを飼えるので、4人のうち2人は1匹ずつ犬を飼っています。

- ・通学方法：徒歩
- ・食事や買い物

DB Straight \$875 を申し込まなければならなかったのですが、大学の飲食店で食べることが多いです。簡単なインスタントラーメン等は寮で作ることもあります。

- ・休日の過ごし方

毎週友人の誰かがパーティーを開くので、金曜日と土曜日の夜はそれに参加します。土日の昼間は課題をやるために図書館にいます。

留学種別	TⅢ (2か国目)
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・アメリカンヒストリー (1865-) 20人 8:00~8:50 月水金 講義形式
教科書 アメリカンドリーム使用
 - ・地理 60人 9:05~9:55 月水金 講義形式
 - ・ドイツ語 15人 10:10~11:00 月水金 講義形式
- Aug gets/Evea learning 使用
- ・インターナショナルスタディーズ 150人 11:15~12:05 月水金 講義形式
 - ・ホラー文学 120人 (2:30-3:45) 火.木 講義形式
- 6-8冊のホラー小説 使用
図書館広く充実

II. 生活状況

- ・寮は広く住みやすい方だと思いました
- キッチンが寮に住んでいる学生と共有なので、多少広いですが人とかぶることがあります
寮から徒歩で移動
教室まで建物にも寄りますが約15分以上
ミールプランを使用していたので特に食材を買いに行くことはなかったです
休日は学校の課題でほとんど図書室で過ごしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・ ELTI 2 コース

このクラスでは、英語が母国語でない人たちが集まって英語の語学力を高めることが目的で集まっています。目的は人それぞれ異なり、アメリカの大学や大学院に進むため、より良い仕事を獲得するためなどです。私は 3 種類の授業があるうち、**Reading Writing** と **Academic Language** の 2 種類の授業を受けています。ネイティブの先生から学ぶ英語は、一つ一つの単語が持っている意味を丁寧に教えてもらえたり、生徒の母国語が英語でないことをわかっている所以我们にわかりやすい表現で説明をしてくれたり、会話の中の間違っている文法を指摘してもらえたりと、とても良い環境であると感じています。

・ 学部 2 コース (講義式)

現地の学生とともに受ける授業であるため、ELTI と比較すると先生の話が速いこと、グループワークなどは大変だと感じる点は多々あります。しかし、自分の関心のある内容であるので、授業を受けていてとても面白いです。

授業後は図書館に行って復習をしています。

教科書の購入に関しては、ELTI では購入するもしくはレンタルすることが求められました。一方、学部授業では生徒に委ねる形でした。私はコミュニケーションの授業のテキストを購入しました。約\$200 でした。

II. 生活状況

Witherspoon という寮に住んでいます。部屋にはキッチン、電子レンジ、冷蔵庫、ダイニング、各自の部屋があります。私は個人部屋が欲しかったので、奨学金でいただいているお金にプラス 3 万円ほど支払いました。個人部屋には、ベッド、勉強机、椅子、クローゼット、チェストがあります。引っ越してきた日に、寮に行く前に **Target**(スーパー)へ寄ってベッドシーツ、かけ布団、枕を買い揃えました。(一緒に数日分の消耗品や食品も購入しました)。寮はキャンパスの中にあり、また私が利用する教室とも比較的近いので、徒歩で通学しています。ミールプランを取っていないため、自炊です。はじめの一週間は **Welcome week** といった感じで毎日 **free food** を受け取って生活していました。その後は週に何回かは友達と外食することがありますが、朝、昼は自炊していました。また、こちらの大学には **NUFS** のようなランチタイムがないので、月、水、金は遅い昼ごはんを夕方に食べたり、昼は抜きで夕食を食べるということもあります。大学内にはファストフード店舗がいくつか入っているので、いつでも簡単に食べ物を買うことができます。

買い物に関しては、(スーパー)車を所有している友達に連れて行ってもらったり、自分の電車を使って買いに行ったりしています。電車は寮の近くに駅があり学生は無料で利用することができます。10-15 分間隔で運行しています。(ショッピング)友達に車を出してもらってモールへ買い物に行きます。休日は友達と季節のイベントへ出かけたり、みんなで料理を一緒に作って食べたり、買い物へ行ったりしています。テストが近い時は一日中図書館に籠もって勉強しています。**Fall Break** や **Thanksgiving** といった数日間授業がない休暇にはフロリダやニューヨークへ旅行に行きました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ハンボルト州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私が受けている授業はネイティブ・アメリカン、世界の宗教、経済、そしてジャズです。クラスの人数は少なく、25人くらいから1番大きい授業では50人くらいで、比較的少人数で授業を受けることができます。教授が生徒たちの名前を覚えていて、私の名前も全ての授業において覚えてもらっています。国籍はアメリカ人が圧倒的に多く、留学生ないし他の国出身の子は1割もいません。他の国から来た人は私1人だけ、という授業がほとんどです。時間割はとる科目によっても変わりますが、私の場合は50分×週3回の授業がほとんどで、授業時間が短いので集中して受けることができます。経済の教科書は分厚くてしかも2冊あります。また、ジャズの授業では電子教科書でした。インターネットがあればどこからでもアクセスできるので気に入っています。授業形式は講義が多いですが、時々周りの人と喋る時間があります。大学の学習環境はとてもいいです。周りが自然に囲まれているので、リラックスしながら勉強ができますし、教室はきれいで何の文句もありません！

II. 生活状況

今留学させてもらっている地域が田舎なので、とにかく自然が多いです。徒歩3分もしないで森に行くと散歩ができます。朝に行くと空気が冷たくて澄んでいるのでとても気持ちがいいです。住民の方々も親切な方が多く、治安がとにかくいいです。日本と何も変わりません。寮からスーパーまでは少し遠いですが、運動がてらにちょうどいいですし、オーガニックの食材が多いので、健康志向の人におすすめです。寮はとても静かで隣人もとてもいい人でいつも仲良くさせてもらっています。会うといつもハグしてくれたり、大好きだよ～と言ってくれます。金曜日の夜になると少しふざける人がいるのも事実です。ですが基本的にうるすぎることは稀です。休日は友達とバスでモールに行ったり、近くの森に行くと自然の雄大さを感じています。都会とはまた違った楽しみ方があります。日本人の友達で今住んでいる土地にすごく詳しい方がいるので、その人にハロウィン用にカボチャをくり抜いたり、美味しいレストランを教えてもらったりしています。土曜日には広場で朝イチが開かれているので、そこでランチを食べるのがオススメです！

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルバニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

前期では、宗教、女性・ジェンダーについて、映画論、作文の四つの授業を履修し、基礎を主に学びました。授業によって、エッセイ、課題、テストもあり、またある程度の知識がある前提で授業が進められるクラスもありました。クラスの人数は 30 人～50 人の授業もあれば、15 人程の授業もありました。国籍はバラバラで様々な国の方と関わりあうことができました。

月曜日：女性・ジェンダーについて 10:10～11:00 / 宗教 11:15～12:05

火曜日：作文 12:30～1:45

水曜日：女性・ジェンダーについて 10:10～11:00 / 宗教 11:15～12:05

木曜日：作文 12:30～1:45 / 映画論 17:00～19:00

金曜日：女性・ジェンダーについて 10:10～11:00 / 宗教 11:15～12:05

宗教、女性・ジェンダーについての授業は教科書や配布プリントを使用し、映画論、作文では配布プリントとパワーポイントを使用しました。

授業は全て講義形式でした。大学内では、自習室が図書館に設備され、静かな環境で勉強ができ、また、ライティングセンターでは文法・スペルミスなどがなかったといった内容をチェックしてもらえる場所、スキルゾーンではチューターの先生を予約し、課題などのわからない所があれば説明してもらえる場所もあります。勉強する場所として最適な環境です。

II. 生活状況

寮での暮らしは、様々な部屋のタイプがあり、私は 2 人部屋のプライベートルームでした。ルームメイトもとても優しく、環境としても、冷蔵庫や電子レンジなどもしっかり完備されています。壁が薄いため、音楽や話し声は聞こえてくるので、勉強の際はどうするかといったルームメイトとのルールはしっかりと決めた方がいいと思います。

通学方法は寮が大学の隣にあるため、歩きです。食事はダイニングホールで一日 2 食、朝はシリアルを食べています。買い物は週一回、バスで近くのスーパーへ行き、買い物をしています。

休日は忙しい時は、課題で 1 日が終わってしまう時があれば、課題が少ない時は友達とトランプをしたり、ショッピングセンターへ行き、買い物をしたりして過ごします。

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルバニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業について、私は **Composition I** と **Accounting Principles I**、**Financial Wellness**、**Hospitality Cost Management** という学部コースの授業を 4 つ受講していて、全て講義形式の授業です。月水金は各 50 分ずつで火木が 75 分ずつの授業で一週間に各授業 150 分あります。**Composition I** はインターナショナルの学生だけのライティングの授業で 20 人ほどの少人数の授業です。この授業には 1 人の先生以外にも 3 人のアシスタントの方がおり、グループワークの時や課題を提出した時にアドバイスをくれるので自分の **writing** について見つめ直すことができるので好きな授業です。この授業は英語コースと学部コースの両方のコースの人が受講できるのでオススメです。**Accounting Principles I** と **Financial Wellness** の授業は 50 人ほどの大人数授業で現地の学生と一緒に受講します。教科書以外にオンラインのサイトがあり、そのサイトで宿題の提出やテスト前のクイズの課題もします。この 2 つの授業は教科書の各チャプターが 40 ページほどあり、約一週間で終わってしまうので予習をすることがとても大変ですが、やりがいのある授業です。**Hospitality Cost Management** の授業は 30 人ほどの現地の学生と一緒に授業を受けています。教科書以外に先生がホスピタリティのゲストスピーカーの方を呼んでくださり、実際に話を聞くことができます。どの方も自分の会社のことや経歴などもお話ししてくださるので、様々なことを聞くことができ面白い授業です。

先生達には **office hour** というものがあり、その時間内であればいつでも直接先生のオフィスに聞きに行くことができるので、授業のわからないところは授業後やその時間に聞きに行き、教えてもらっています。学習環境について、大学の図書館が月曜日から木曜日までは夜の 12 時まで開いているので、基本的にこの 4 日間は友達と一緒に図書館が閉まるまで勉強しています。図書館の中にコーヒーショップや、飲食やお喋り可能なスペースもあるのでよく利用しています。

II. 生活状況

宿舎について、私は **Two-Person Private Semi-Suite** の部屋で生活していて、キッチンとトイレ、シャワーをルームメイトと共同で使っています。キッチンに小さい冷蔵庫と電子レンジはありますが、コンロはないので自分の部屋で料理はできません。しかし寮の中にはキッチンルームがあるので、そこで料理をします。洗濯ルームは寮の各階にあり、前もって学生証にお金をチャージしておく、その学生証で洗濯機や乾燥機を回すことができます。買い物は、**Walmart** などのスーパーが大学の近くにあり、バスで行くことができます。そのバスに乗車する時に学生証を見せると無料でバスに乗ることができるので便利です。食事は、ミールプランを使いダイニングホールで食事をしています。ダイニングホールは平日は 7 時半、休日は 7 時に閉まってしまうので、その時間内に行けなかった時は **POD** と呼ばれるコンビニのようなどころに行くと、ミールプラン 1 回分でサンドイッチなどの食事を買うことができます。**POD** は夜遅い時間までやっている所以利用することをオススメします。休日の過ごし方について、休日は大学やクラブが主催する **trip** やイベントがあるのでそのイベントに参加したり、自分が受講している授業がテストや課題が多いので、勉強したりしています。大学周辺にボウリング場や映画館はありますが大きいショッピングモールなどの大きい施設はないので、友達の手に乗せてもらったり、自分たちでカーを借りて出掛けています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルバニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は現在英語に特化した授業を4つそして学部の授業を2つ取っています。英語の授業ではリスニングであったりレポートの書き方やメールの打ちかたなど基本的なことを勉強しています。学部授業では性差別の授業を取っていてレポートが多いです。もう一つは映画の授業で毎週映画をみてそのあとにディスカッションをしています。英語の授業ではクラスには12人おりサウジアラビアや中国台湾が多いです。4つの授業は週に2回取っており性差別の授業は週3回で映画の授業は週に1回受けています。教科書は指定された教科書を使う授業もあれば毎回プリントを配られるクラスもあります。授業の形式はゼミ形式のものが多く先生の質問に対して積極的に返答することが求められます。学習環境は非常によく図書館は平日であれば12時まで開いていますしコンピュータールームにはチューターの人がいてくれるためわからないことがあれば聞くことができます。教室もとても綺麗で使いやすいです。

II. 生活状況

現在ひとり部屋でトイレなどは共同という部屋に暮らしていますがルームメイトも優しいのでとても快適に過ごしています。ただキッチンが無いので料理はすることができずオープンで温めるものしか食べることができません。学校ないの寮なのですぐ近くに教室があるため移動がとても楽です。食事はミールプランをつけているため毎日2食食堂で食べることができます。美味しいですが毎日同じ料理が続くので少し飽きてしまいます。休日は近くのスーパーに行くことが多いです。月に一回ほどは学校のトリップがあり様々な場所に行くことができます。

留学種別	TⅢ (2か国目)
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019年度2期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

社会学系の授業を中心に履修しています。言語の授業は10人程度の少人数クラスですが、その他の講義は30～50人ほどです。大多数は現地学生で、留学生と授業を取ることはあまりありません。講義の中には、少人数に分かれてプレゼンテーションや課題について詳しく説明されるセミナーの時間が設けられているものもあります。教材は基本オンラインからアクセスできます。図書館は24時間利用可能で、グループワークに適したエリア、私語禁止のエリアなどに分かれていて、自分に適した環境で勉強できます。

II. 生活状況

6人で1つのフラットをシェアします。トイレとシャワーは2つずつあるので混み合うといったことはありません。週に一度清掃が入ります。学校まで徒歩15分ほどの距離ですが、夜間はかなり暗くなるので注意が必要です。徒歩30分ほどの距離にスーパーや、アジアンマーケットがあります。そこで日本のお米なども手に入ります。学校内の売店も便利ですが、少し値段が高めです。学校から出ているバスで10分ほどでシティーセンターへ行くことができます。食料品から衣服まで揃います。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業は週5日で、9時～13時まででありました。

科目は、月曜日が各自が好きなテーマについて調査するリサーチの授業、火曜がスピーキング・リスニング、水曜がライティング、木曜日がリーディング、そして金曜日に、各週異なるテーマについて異なる先生が講義を行うレクチャーという授業がありました。

クラスは計15人で、9人が日本人、という日本人が大半を占める構成でした。先生によると今年には特別日本人が多かったようです。

Oxford Brookes 大学の学習環境は、大変良いものでした。毎日の授業が行われるキャンパスはとても新しく、清潔感がありました。また、電子黒板がほとんどの教室に整備されており、最新の設備がそろっているなという印象を受けました。

また、図書館は24時間開いており、テスト期間中は学生でいっぱい座席が見つからない程でした。

このように快適な学習環境と切り替えがうまい学生に囲まれながら学習できる環境は、自身の学習意欲を向上させる上で大変有効でした。

II. 生活状況

私は、6人の学生がキッチンを共有する寮に住んでいます。当初は部屋に毎日のように侵入してくるテントウムシと格闘することもありましたが、寒くなるにつれ虫の侵入が減り、最近は大変快適に過ごせています。また、想像していたより新しくきれいな部屋に住めているため、居心地もとても良いです。

私の寮から学校までは、歩

いて7分程です。日本にいたころは約2時間、満員電車で揺られながら通学していたため、現在の生活は大変快適です。

買い物はスーパーがいくつもあるので、色々なスーパーに通っています。ブルックス大学は、学生が所有するバスカードを提示することにより無料で「ブルックスバス」という大学が運営するバスに乗れるため、スーパーに行くのには大変便利です。

休日は部屋でのんびりするののもったいないので、テスト期間以外の週末はいろいろな所へ行っていました。ロンドンへもバスで1時間半ほどで行けるので、オックスフォードは大変立地も良いと思います。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・コース内容

アカデミックライティング、スピーキング・リスニング、グラマー・ボキャブラリー、リーディングの授業が月曜から木曜まで各 4 時間。アカデミックなエッセイ、レポートを書く練習やプレゼンテーション、文法、アカデミックレポートを読む練習などを行った。金曜日はオムニバス形式で 2 時間のレクチャーがあった。

・クラス人数、国籍

8 人(4 人中国、3 人日本、1 人タイ)

・使用教科書

それぞれの先生が用意した教科書を使用。

・授業形式

少人数ということもあり、8 人で輪になって授業を受けることが多かった。ペアワークが非常に多く、クラスメイトと作業することが多かった。

・大学の学習環境、自習室、教室の設備

設備は充実していた。各教室にスクリーンがあり、そこに教科書やパワーポイントを写して分かりやすく授業が行われた。自習室として図書館を利用するように勧められたが、大学内のいたるところにたくさんの机とイスがあったのでそこで勉強している学生も多くいた。

II. 生活状況

・宿舎の設備、環境

ゲームルーム(卓球台やビーリヤード台)、ジム、テラス、バスケットボールコートがありアクティビティが充実している。自習室もあり、グループワークができる個室と自主勉強ができるスペースがある。ただ、備え付けられているヒーターの効きが悪い。

・通学方法

バスで通学。晴れている時は 10 分ほどで大学に着くが、雨の日は渋滞したり、バスが来なかったりするので、30 分から 50 分かかることもある。

・食事や買い物

物価が高いので自炊している。普段、歩いて 7.8 分のスーパーで買い物をしているが雨の日はバスに 20 分乗って別のスーパーで買い物をしている。冷蔵庫をシェアしているため多くは買えないので 1 週間に 2 回買い物へ行っている。デリバリーでご飯を頼むこともある。

・休日の過ごし方

宿題が多いため休日は宿題をして過ごすことが多い。友達とショッピングに出かけたり、一緒にご飯を作ることもある。友達とご飯を食べに行くことも多い。フラットメイトと共有スペースで談笑することもある。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース：University English

人数：14人

国籍：日本、中国、台湾、イタリア、ロシア

授業時間割：(月) Research, (火) Academic Listening and Speaking, (水) Academic Writing, (木) Academic Reading, (金) Lecture

使用教科書：大学側から配布されたもの。すべて授業の名前と同じ。

授業形態：グループディスカッション

設備：廊下にあるベンチやコンセントからどこでも勉強可能。自習室や教室の設備も整っている。

II. 生活状況

宿舎：申し分なし。時折、フラットメイトの騒音がうるさい。

ホームステイ：していない

通学方法：徒歩もしくはバス。

食事や買い物：West gate もしくは Tesco

休日の過ごし方：部屋で勉強もしくは現地の友達と交流

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は、**University English** の授業を一期は履修しました。授業は月曜日から金曜日の平日 9 時から 1 時まで 30 分くらいの休憩をお昼に挟みながら 3 時間半ほど通して毎週授業がありました。クラスの人数は 20 人くらいで、国籍は私のクラスはアジア人がとても多く、特に日本人はクラスの 3 分の 1 以上を占めていました。他の国籍は、中国、台湾、イタリアの 3 カ国でした。教科書は購入する必要はなく、毎回 1 番最初の授業で配られたテキストを持ってきて、授業を受講していました。なので教科書にかかる経費はありませんでした。

University English(UE)は3つのレベルに分かれています。私の受講した **level3** は、授業内容がリサーチ、リスニング、ライティング、リーディング、そしてスピーキングに分かれており。最も手を焼いたのがリサーチとライティングでした。リサーチの授業は全く日本では経験したことのない方法でリサーチペーパーというものを最終的に提出しなければならない、その過程に置いて少々戸惑いが生まれました。ライティングも書いたことのない形式で1つの話題に対して、自分の意見とそれに対する反論を1つのエッセイにしたりと、色々と経験したことのない形式を学ぶことができました。

授業は主に電子黒板で進められます。そして、常に参加型。これは日本人には慣れないかもしれませんが、積極的に学べる良い機会だと思いました。

II. 生活状況

私は大学付属の宿舎に泊まっています。壁が薄いので、音が丸聞こえと聞いていたのですが、私の泊まっている **clive booth postgraduate** という寮はそうでもなく、隣の部屋の音は話し声と主な大きな音くらいしか聞こえません。(おもいきり扉を閉める音、引き出しを勢いよく閉める音など)キッチンが共同です。そして、私のフラットは男女混合です。キッチンは、私の目から見ると、汚れていますが週に一回ハウスキーパーの方が来てくれているようです。物は自分がきちんと管理しないと割と使われます。洗い物が終わったら自分の棚に素早くしまうか、わかりやすく名前を大きく書いて置くといいと思います。

通学は大学にとっても近い寮にしたので、徒歩で 15 分もかからずに到着します。学校まで授業のたびに歩くので、いい運動になります。

食料は近くのスーパーで買って、主に私は自炊をしています。近くのスーパーまでは徒歩で片道 20 分のところまで歩くか、バスを使って市内の方まで行くかで食料を揃えています。市の中心部まではバスで 10 分程度なので、アクセスも問題ありません。町の中心部には週に 3 回程度は訪れます。服や、食料や、雑貨など大体のものは揃います。

休日は主に友人と市内に行ったり、美術館を訪れたり、ロンドンまで行ったりと充実しています。しかし、こちらに来て思ったことは、友人がいないと本当に孤独です。日本人でも、外国の方でもとりあえず友人をたくさん作って色々な場所に行ってみるといいと思います。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

前期から学部だったので、現地学生と授業を受けました。**Academic Writing** と **Tandem**、**Chinese** と **Social Differences and Division** を取りました。時間割は、月曜日 9時から 11時までが **Chinese**、13時から 16時までの 3時間で **Academic Writing**、水曜日の 11時から 12時で **Social Differences and Division** のレクチャーがあり、午後の 13時から 14時でそのセミナーがありました。**Tandem** は木曜日の 14時から 16時頃までレコーディングでした。

加えて **International Development** の授業を許可を得て聴講しており、木曜日の 13時から 14時でした。

Chinese は英語で行われ、教科書とスライドを使っています。人数は 20 人ほどで、小さめの教室が埋まるくらいでした。生徒は皆現地の学生でしたが、もちろんイギリス人のみならず中東の人も何人かいました。また、日本語学科に所属する低学年の生徒もいました。筆記よりもリスニングや会話練習が多く、ペアで会話練習をしたあと発表するというアクティビティをよくしました。通年の授業なので前期のテストは簡単でした。また、宿題で作文や問題を出されることもありました。

Academic Writing は、IELTS の **Writing** のスコアが足りないためとった授業です。少人数の授業で、私のクラスは約 6 人でした。日本人は私を含めて 2 人、その他はイタリア人やフランス人、アフリカから来た生徒などでした。

とてもアクティビティの多い授業で、大学で使う論文の書き方の説明に加えて、10 分ほどで簡単なエッセイや評論文を書いたり、ペアやグループでトピックについての議論をしたり、お互いのエッセイを批評しあったりしました。課題は 2 つあり、それぞれ 1000-1500 文字でひとつの課題につき 2 回提出機会がありました。教材はいつもプリントを渡されました。

Social Differences and Division は、社会学を専攻する 1 年生の必須科目のようで、とても人数の多い授業でした。大きいレクチャーシアターで行われ、約 2-300 人だったと思います。

事前に課されたリーディングに関連する授業がスライドを使って行われました。内容は主に社会学理論やジェンダー、教育、エスニシティなど、毎週異なるトピックを学びました。

セミナーは少人数で行い、時間や場所もグループによって異なっていました。セミナーでは毎週生徒が授業(プレゼン)を行いました。3 人グループで 1 人 15 分程+アクティビティの合計 1 時間弱のプレゼンでした。参考文献は 1 人 5 冊以上で、授業外で打ち合わせをしたりプレゼンの練習をしました。

もうひとつの課題は質問をひとつ選んで答えるエッセイでした。教材は教科書 1 冊です。

Tandem は、アドバイザーの先生が紹介してくださった授業で、日本語学科の上級生とペアになり、毎週互いの都合を合わせて 2 時間ほどのレコーディングをしました。英語のみ、日本語のみ、というように 2 回ずつレコーディングをしました。そしてそのレコーディングについてのレポートや自分達の会話を書き起こして分析する課題、またプレゼンがありました。プレゼンもそれぞれの学んでいる言語で行いました。

International Development はレベルが高くて取れなかったため聴講しました。上級生のための授業で、人数は 20 人弱でした。形式は講義形式で、先生が随時生徒に質問したり生徒が自主的に質問したりしていました。

II. 生活状況

私はベーシックタイプの **clive booth undergraduate Village** という寮ではなく、そのの

Postgraduate Centre に住んでいます。学院生または 21 歳以上なら入寮可能です。とても綺麗で快適です。**Postgraduate Centre** は基本 6 人ずつ(4 人ずつのフラットの建物もあります)のフラットになっており、私のフラットは 4 人のみでした。入寮希望のフォームには性別問わずと書きましたが、私以外の 3 人も女性でした。部屋は十分な広さで、ベッドが少し硬いですが問題はなく、水回りも綺麗でシャワーは珍しく取っ手が動く(日本のシャワーのような)ものです。キッチンのみ 4 人で共同ですがとても広く、冷蔵庫と冷凍庫もそれぞれ 2 つずつありますし、IHコンロやオーブンも新しいです。洗濯をする場所も中にあります。(有料)

真ん中に池(と鴨)があり、誰でも使えるパソコンや自習用の部屋、テレビやソファもあります。学校までは徒歩で約 10-15 分です。**Google** マップなどには載っていない近道をみんな使っています(**Google** マップの道で行くと 30 分ほどかかるそうです)。また、**Postgraduate Centre** の隣にバス停があるので、**City Centre** までや学校までもバスで行くことは出来ます。

食事は外食と自炊それぞれ半々くらいです。食材の物価も高いので自炊をしても高いです。たまに、アジアンスーパーへ行ってレンジのお米や日本の調味料、豚肉などを買いますが、基本的には **Tesco** や **Sainsbury's**、**Waitrose** で買い物をします。

授業のある日は学校のカフェやレストランでお昼ご飯を食べることが多いですが、そこも少し高いです。

その他の買い物は休日や授業のない日にします。主に行くのは **City Centre** と **Cowley Road**、そして **Headington shop** です。**City Centre** が 1 番大きな場所だと思います。**Westgate** というモールなどもあり、大体何でも揃うので多くの人買い物をしています。**Cowley Road** はアジアンスーパーやカフェの通りで、**City Centre** へ行く途中にあります。夜は治安があまり良くないです(事件をたまに耳にします)。**Headington shop** は **City Centre** や **Cowley Road** とは逆の方向にあり、学校から近いです。チャリティーショップや **Waitrose** などのスーパー、ファーマシーやカフェがあります。

どこも学校からのバスで無料で行くことができます。

休日は主に買い物や課題をしています。月に 1 回は旅行もします。国外へも直ぐに旅行へ行けるので金曜日から日曜日までの 3 日で出かけたりしました

また、**Society** というサークルのようなものに入ると活動があります。例えば、**Japanese Society** はカラオケをしたり、**Anime Society** はアニメを見たりコスプレサミットに参加したりクリスチャンユニオンはパブへ行ったりキャンプをしたりしています。

International student のための "**Global buddies**" というものもあります。現地学生数人とグループになり、どこかへ遊びに行ったりするというものです。

また、留学生支援チームによるツアー(**Bath** や **Brighton**、パブツアーなど)もあり、休日はそれに参加することもありました。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

University English という語学コースはレベルが3つに分かれており、私はレベル2で、7人のクラスメイトと授業を受けている。中国人が4人、日本人が2人、タイ人が1人というアジアのクラスだが、皆気さくで優しく、授業外でご飯を一緒に食べたりする子もいる。授業は①ライティング②リスニング&スピーキング③文法④リーディングが9時から1時まで毎週ある。その他に毎週金曜はいろいろな分野の先生が10時から12時までレクチャーをしてくれ、これも強制参加なので実質月曜から金曜まで授業はある。

教科書の購入は必要なく、授業ごとに冊子が配られる。プリントや提出エッセイをまとめるファイルの購入を勧められる。

授業は少人数のため、ペアワークで意見交換したり全体でレクチャーを受けることが多い。大学には24時間使用できる図書館があるため、施設は整っている。

II. 生活状況

Clivebooth という寮はメインキャンパスまで徒歩6,7分で一番大規模な寮だ。**Ensuite** であれば自由にお風呂とトイレが使えるので不自由はない。キッチンも週に一回掃除のスタッフがきれいにしてくれる。ごみは当番制でフラットメイトと協力している。

メインキャンパスから無料で中心街までのバスが出ており、10分ほどで到着する。そこには大きなショッピングモールやカフェ、レストラン、スーパーがたくさんあるので買い物に困ることはない。また、大学近くの商店街にアジア系のスーパーもあるので、お米やアジア系食品が手に入る。休日は、バスや電車で少し離れた町まで行って旅行するのが楽しみになっている。飛行機に乗って安くヨーロッパに行く事も可能なので現在検討中だ。

留学種別	TESS II
留学先大学	キール大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業はレクチャーだけでなく、チュートリアルやセミナーなどレクチャーで習ったことについてディスカッションをしたり、もっと掘り下げた事もします。基本的には、レクチャーの時間は一時間ほどで短いため、レクチャーで学ぶとよりは、個人学習が中心になるような傾向にあります。

どの授業にも基本的には、小論文や感想文などの課題があり、特に小論文は学術論文読んで調べものをして文章を書くので、終わらせるのに結構な時間がかかるため、かなり早め（遅くとも提出日の3週間前くらい）に始めておかないと、かなりきつい状態になると思いました。とる科目によっては次々に課題が出されることもあるので、他の科目と両立させるには、本当に早めに終わらせないと、後から痛い目を見るとわかりました。

ほとんどのクラスでは、人数はさほど多くなく、10～30人のクラスです。国籍について、留学生の中では中国人が多く、日本人はほんの数人しかいません。

使用教科書は、学内にある書店であるものや、図書館においてある物を使うことができます。図書館は24時間空いているので、何時でも自習スペースで勉強できるので、便利だと思いました。自由に使えるパソコンも大量に置いてあります。

II. 生活状況

寮のキッチンが狭く、テーブルが置いていないことが多いですが、一つのキッチンにコンロが二台がついているので、あまり他の人とかぶることがありません。共用のシャワー室はいくつもありますが、両腕を伸ばしきれないくらい狭いです。個人部屋は広くはないが、一人用だと十分な広さです。寮は個人部屋やキッチンを含めてすべて清掃員によって定期的に掃除してもらえるので楽です。しかし、キッチンはすぐに汚されたり、洗っていない食器類が積み重なっていることもあるので、共有する人とルールを決めて使用したほうがいいと思いました。

寮は学内にあるので、通学に全く時間がかかりません。

買い物は学内にある小さなスーパーで済ませられることが多いですが、バスで15分の距離に町もあるので、そこで生活に必要なものはほとんど揃えられると思います。また、学内にバーやカフェなどもいくつかあるので、そこで食事を済ませられます。

休日は、近くの町や出かけたり、寮の友達と過ごしたりします。また、電車に乗ると1～2時間でマンチェスターやバーミンガムなど大きな市街に行くことができるので、退屈することはありません。

留学種別	TESS II
留学先大学	キール大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

【語学コース】3つの授業を受講し、それぞれ学生3名、4名、15名で行われ、生徒は中国、香港、中東出身者が多かった。それぞれの授業は週1回2時間、週2回1時間ずつのどちらかであった。使用教科書は無くプリント授業。どの授業も生徒に意見をよく聞く授業であった。

【学部授業】中世の歴史、起業学、国際政治社会学の授業。クラス人数はレクチャーが30-40名、チュートリアルが10名以下で行われた。週1回1時間のレクチャーと1時間のチュートリアルがあり、教科書は歴史の授業では Farmer (2018) "Nineteenth-Century European History 1815-1914"を使用した。他の授業でも基本的にはパワーポイントが用いられた。

【大学の学習環境】図書館は24時間利用可能で、学内のカフェや自習スペースが多い。また、各教室にはプロジェクターと音響機器が整備されており、パワーポイントやYouTubeの動画も利用しながら講義が行われた。PlayBackという授業が録音されて後日ポータル上に掲載されるシステムがあるが、それを利用する教授はいなかったため、録音したい場合は個人的に行う必要があった。

II. 生活状況

【寮】女子23名でキッチンとバスルームを共有する寮。部屋の大きさは5畳半程度で、洗面台が各部屋に備わっている。すべての寮は大学の敷地内にあり、教室がある建物までは徒歩5-10分程度。

【日常生活】学内にはカフェ、本屋、ポスト、小さなスーパー、バー等があり、大抵のものは学外に出なくても揃えることができる。最寄りの街まではバスで15分で行くことができる。

【休日の過ごし方】受講する授業の課題量や難易度にかかなりのばらつきがあるため、ほぼ毎週末に旅行に出かけられる学生もいれば、週末も授業の予習復習や課題に追われる学生もいる。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノーサンブリア大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は **Combined Business Credits** のコースで **Hospitality and Tourism Management** というモジュールセットを取りました。その中には 3 つ (**Innovation and Creativity in Tourism, Hospitality and Events, Tourism, Events and Society** と **Understanding Tourism**) の科目があり、それぞれ週に講義 2 時間とセミナー 1 時間あります。セミナーではクラスメイトとのディスカッションやグループでのプレゼンテーションがあります。また留学生必修科目の **Academic Language Skills for Business** の 2 時間の講義もあります。この授業ではライティングスキル (エッセイやレポートの書き方) やプレゼンテーションスキルについて学習しました。1 週間で合計 11 時間の授業があり、クラスは約 20 人でその中で留学生は私を含め 8 人です。アメリカ、ドイツ、チリ、フランスから来た留学生でした。その他全員は現地の大学生です。授業では主にパワーポイントを使っており、いつでも大学のポータルからダウンロード出来るようになっています。大学の学習環境としてはとても充実しています。パソコンが至る所に置いてあり、自由に使用でき、自習室としてパソコン室や図書館を利用出来ます。また図書館は広く静かで集中して勉強できる環境でした。また 24 時間開いているのでテスト前の学生にはとても最適だと思いました。

II. 生活状況

Trinity Square Student Accommodation では比較的新しく、自習室があり、課題の多い時はたまにここを使用し、集中して勉強に取り組みました。またジム、ビリヤード、卓球、ホームシアターなど娯楽設備も整っています。私は台所を 5 人でシェアするバスルーム付き (トイレ、シャワー) 部屋でしたが、留学生と毎日交流ができ、食事を一緒に作ったりしてとても楽しく有意義に過ごせました。キッチンにはドラム洗濯機、乾燥機などすべて整っていました。健康面では週に 2 回このジムに通うことで体調管理ができ、私にとってとても最適な環境でした。通学方法では、地下鉄を利用して寮から大学まで約 20 分でした。寮から駅までは徒歩 3 分で比較的近く便利でした。朝食と夕食は主に寮で作っていましたが、昼食はよく大学のカフェテリアへ友人と食べに行きました。買い物については寮から徒歩 1 分のところに **Tesco** という 24 時間営業の大きいスーパーがあり、買い物を済ませた後、そのままカートで寮の部屋まで運ぶことが出来てとても便利でした。また大学の近くに大きなショッピングモールやデパートがあり、そこで衣類など買っていました。休日では、留学生の友人のグループで買い物に出かけたり、外食したり、時々旅行も行きました。

留学種別	認定
留学先大学	バーススパ大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

バース・スパ大学の **History course** で半年間在籍しました。クラス人数は講義で 50-60 名、セミナーで 20 名前後でした。歴史コースはアメリカ人留学生が 3 人ほどいましたが、アジア系留学生は私のみでした。毎日授業が行われますが、一日 1-3 時間のみの授業時間です。教科書は購入せず、主にオンラインで配布された資料を読みます。授業の形式は講義、セミナー、ワークショップの三種類で行われました。学習環境は充実していて、図書館は平日では深夜 0 時まで、土日も夕方 5 時まで開いていました。生徒が自由に使用できるパソコン室もありました。

II. 生活状況

学生寮はバースの中心地に近く、バース・スパ大学の学生のみが居住する **Green Park House Accommodation** でした。留学生の多い学生寮で 24 時間セキュリティ完備の学生寮なので安心して半年間暮らすことができました。通学方法としては、往復 40 分程度でバス通学をしていました。学生寮から徒歩 5 分程度の場所にスーパーマーケットがあったので買い物はそこで済ませていました。周りにアジアスーパーマーケットも 3 つほどあったため、日本食も比較的手に入れやすかったです。休日はフラットメイトとともに過ごし、また遠方の観光地を訪問しました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ブルネル大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コースの内容としては月曜日から金曜日まであり、月曜日から木曜日は 9:00～11:00/ 13:00～15:00

金曜日は 9:00～11:00/ 12:00～13:00 までの授業でした。

授業を担当する先生は 2 人いて、月曜日から水曜日は女性の先生でこの人がメインの先生でした。週に 1 度チュートリアルと言う一対 1 で先生と話す機会があってこの際に授業中でわからないことや学校生活で困ったことなどを相談します。また、テストが近くなればプレゼンテーションやエッセイなどの採点や相談もすることができます。

クラスの人気は正確には分かりませんが全体で 120 人以上おりそのうちの 70%が中国人でその他はタイやインドなどアジア系から来る人が多かった印象です。日本人は私と甲山さん以外はいませんでした。

月曜日 grammar&vocabulary/ writing

火曜日. Researching skills / Writing

水曜日. Writing / reading& vocabulary

木曜日. Listening / researching skills

金曜日. Listening/ 金曜日の午後は 1 時間しかないので、金曜日の午前中に終わらなかったリスニングなどをやったりテスト期間が近ければプレゼンテーションやエッセイの内容の授業を行ったりしました。

教科書はなく授業のたびに毎回プリントが配られそのプリントで授業を行っていました。

授業形式は講義形式に近かったです。しかしセットと先生との距離が近かったので気軽に質問ができ積極的に発言ができる環境でした。

私は実習がしたい時は主に図書館で行っていました。その理由として図書館は 4 階あり、1 階から話し合いをしながら勉強ができるスペース。4 階では日本の大学のように個人で勉強できるスペースがありもしそこで迷惑な人がいれば図書館のスタッフに報告でき直接注意されることがあります。なので、静かな環境で勉強することができます。

II. 生活状況

私が住んでいる寮(Clifton Hall) は初めの方は、お風呂の水圧が不安定であったり冷たいお水しか出なかった時もありましたが最近の問題なく生活できています。

私の寮は大学内にあったので、通学には時間はかかりませんでした。

食事は基本的には自炊をしていました。もちろん大学内にカフェ、サブウェイ、飲食店などもありましたが、毎回外食だと体にもお財布にも悪いと思い、徒歩 15 分にスーパーがあったのでそこで野菜やお肉を買って自炊することで食費を抑えていました。

買い物は歩いて 20 分のところに uxbridge という街があり、大きなショッピングモールもあったのでそこで買い物する事が多かったです。そこになかったものはロンドンの中心部に行き、買い物に行きました。

休日の過ごし方はテストが近くなければロンドンの中心部に行ったりブルネル大学が主催しているバドミントンに参加したりしました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ブルネル大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・コース内容（授業内容）

Reading, Listening, Writing, speaking の四技能に徹した授業。特に学部授業に向けての準備ととらえたほうが良い。課題も出されるが基本的には自主学習に重点を置く。Weekly Essay は採点あり。学期末には Extended Essay の課題があり、参考文献から本文まですべて英語という重い課題がある。

- ・クラス人数、国籍

大半は中国を中心とするアジア系。中にはパキスタン。インド、エジプトからの人が多い。既に UG の学位を母国で取得しており、Master の学位取得のために Brunel にきている。

- ・一週間の授業時間割

月曜～金曜

9時～11時（1コマ）

昼休憩 11時～13時

13時～15時（1コマ）

- ・使用教科書

不明。

- ・授業形式（講義形式、ゼミ形式等）

講義形式。プリント中心。

- ・大学の学習環境、自習室、教室の設備

基本的に教員の PPT 使用

音声機器の不具合多発

II. 生活状況

- ・宿舎の設備、環境

キッチン、トイレ、シャワー共同の寮

お湯が出ないトラブル頻発。修理の依頼はできるが、基本出来に平日のみ受け付けているため、金曜の夜にお湯が出ないトラブルがあると、月曜日の夕方までシャワーを浴びれないという最悪な状況に。

お湯が出ないときは自動的に室内の暖房器具も停止するため寒い（お湯が循環することで建物全体を温める構造になっているため）

一時、温水だけでなく冷水すら出ない時があり、本当に困った。

洗濯は一階のコインランドリー（有料）

- ・通学方法

徒歩

- ・食事や買い物

近くのスーパーマーケット。基本的に朝昼晩三食自炊。（物価が高いため）

水道水は飲めるようだが、抵抗があるため購入している。

日本食レストランはあるが、現地の人のために味が変わっている場合が多い。

スーパーマーケットで日本食を探すのは難しい。しかし中国系統の物はたくさんある。

日本食を見つけても、日本では知られていない会社の商品であることが多い。

近所のスーパーマーケットで見つけたものの中で、一番信頼できた日本食は、日清食品の出前一丁と日清焼きそばカップラーメン。

しかし、ロンドン中心部まで電車で行けば **Japan Center** という日本食専用のスーパーマーケットがある。(商品価格は日本の 1.5 倍ー2 倍以上)

パンやパスタの値段はかなり手頃。米もあるが、日本のようなものではなくジャスミンライスやロンググレインライスといったもの。パラパラ系。

しかし、**Sushi rice** として日本米に近いものも販売はしている。(割高)

葉物系の野菜は少ない

基本的に買い物袋は有料

・休日の過ごし方

ロンドン中心部まで観光及び日本食の調達

バス、オクスフォードやケンブリッジへの観光

ミュージカル鑑賞

在宅課題

YouTube やInstagramなどで日本の情報収集 (テレビなどが無いためロンドンのニュースは、自分で検索しない限りあまり入らない)

留学種別	TESS II
留学先大学	ポーツマス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

1 期には“Gender and sexuality”, “Global Journalism and human rights”, “NGOs and social movements”を受講しました。“Gender and sexuality”という授業では、LGBTQ+ について、フェミニズム、性に縛られた固定概念などについて学習しました。クラスには、70 人ほどの学生がおり、そのほとんどがイギリス人でその中に留学生在がちらほらといました。“Global journalism and human rights”という授業では、ジャーナリズムが直面する問題点、またそれに関連した人権問題について学びました。クラスには 20 人ほどのイギリス出身の学生、アメリカ出身の留学生在しかおらず少人数授業でした。“NGOs and human rights”では、前半に非政府組織である NGO の活動、また後半にアラブの春や、e-activism について学びました。クラスの三割ほどが様々な国から来た留學生でした。全ての授業は 1 週間に、lecture と seminar が一時間ずつありました。Lecture では主に教授が授業の内容の解説をし、seminar では学生同士がディスカッションをします。また、教科書は使用せずパワーポイントを使って授業は進められます。大学や図書館では多くのパソコンが備わっており、いつでも学習することが可能です。また、大学の教室や図書館では定期的に掃除がされるため、快適に過ごせました。

II. 生活状況

Margaret rule hall という学生寮に滞在しました。男女混合で二人はイギリス出身、一人はアイルランド出身、もう一人はベトナム出身の学生でした。キッチンのみ共有でしたが、キッチンが少し小さく他のフラットメイトが使用中の時は使えなかったのが不便でした。部屋にはシャワー、トイレ、ヒーターが備え付けられていました。通学は主に徒歩でした。授業によって建物が異なるので、近い場合は 3 分ほどで着きますが、遠い建物の場合は 20 分ほどかかることもありました。食事は毎食自分で準備する必要があったので、朝はパンやシリアル、昼はスーパーで買ったサンドイッチ、夜は日本食などを作りました。ポーツマスは比較的アジアスーパーが多くあるので日本食は作りやすいと思います。市内にはアウトレット、ショッピング街があり、生活必需品は主にそこで手に入ります。特に Margaret rule hall はショッピング街から近い為、買い物をする際に便利だと感じました。休日は softball 部に入っていたのでその練習、または友達とカフェや海、映画館などに行きました。

留学種別	認定
留学先大学	タリン大学
留学先国・地域名	エストニア
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業は、**Basic Course in Political Philosophy** と **International Organizations, International Security, State Politics and Government** の 4 つをとった。 **Basic Course in Political Philosophy** では、権力や自由、民主主義、平等について、有機的に学んでいく。 **International Organizations** は名前の通りで、 **International Security** は毎回違う講師により安全保障化の概念やサイバーセキュリティなど多岐に渡って学ぶ。 **State Politics and Government** では、政治学全般を学習する。

クラス人数は **60-80** 人くらい。国籍は、ヨーロッパ人が **5** 割、アフリカ人が **4** 割、その他 **1** 割くらいで構成されている。タリン大学は、各授業にエストニア語コースと英語コースがあり、エストニア人は基本的にエストニア語コースを取るため、英語コースであまり見かけない。

タリン大学では、一学期が中間休みを挟み、前期と後期に分かれている。前期は週 **9** 時間で、後期は週 **6** 時間であった。授業は途中に **30** 分の休憩を挟み、**3** 時間である。

使用教科書は全てインターネット上で見ることができる。教科書を活用しない授業もあれば、三冊指定する授業もある。

タリン大学では、講義型とセミナー型に授業があり、講義型の授業は学則によって自由参加となっている。セミナー型の授業では、積極的な発言が求められ、大きく成績に関わる。

大学の学習環境については、メインの図書館が大学の敷地から離れていることだけが気になった。

II. 生活状況

宿先はアパートメントで一人暮らしをしている。一人暮らしのため、割高ではあるが、光熱費と **wi-fi** 込みで **1** カ月 **469€** である。寮などで暮らせば、**250€** で収まるらしい。一人暮らしをすると帰宅後に話し相手がない。英語を話す機会を得るべく、カポエイラ教室に通い始めたが、当然エストニア語で行われていた。英語コミュニケーション能力を伸ばしたい人には、一人暮らしはおすすめできない。因みに、カポエイラは続けている。

通学はバスとトラムを乗り継ぎ、**25** 分くらい。エストニアでは、キオスクや大きめのスーパーの受付などで買える緑色の **IC** 乗車カードを使うことで、月 **23€** で **30** 間乗り放題である。タリン空港内にキオスクがあるので、そこで購入するとよい。

食事や買い物で困ることは、当たり前だが、英語表記ないことや英語が通じないことが稀にあることだ。スパゲッティソースだと思って買ったものが、ただのケチャップであったり、サバのケチャップ煮であったりした。また、スープの素を買ったが、エストニア語記載のため、翻訳が必要であったこともある。 **Google** 翻訳が必須である。

休日は、基本的には、通学路の途中にある旧市街をひたすら巡っている。旧市街地は、世界文化遺産にも登録されており、綺麗に中世の街並みが保存されている。または、国立図書館で自習をしている。タリンからはタルトゥやラトビアのリーガなどへの列車やバスがあるので、時々弾丸旅行もしている。

留学種別	認定
留学先大学	ウーロンゴン大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース内容：**General English**

スピーキング、リスニング、グループワーク、プレゼン
(レベルごとのクラス分けのためクラスにより授業内容が異なる)

クラス構成：1クラス14人ほど

(日本人多数、サウジアラビア人、韓国人、レバノン人、インド人、ネパール人)

授業割：月一金 8.30-12.30 (間 20 分休憩あり)

使用教科書：特になし

授業形式：ゼミ形式、グループワークや個人でプレゼン準備など

環境：大学内の図書館で飲食可能かつディスカッションができるスペースや、完全自習のスペースがある。教室は college のため 15 人ほどの人数が入れるほどの広さ。

II. 生活状況

ホームステイ：ホストマザーとホストシスターとの生活。

それぞれが忙しいため夕食のときに会話をすることが多い。

部屋は一人用で浴室・お手洗いはホストシスターと共有。

通学方法：徒歩 15 分

食事：ホームステイ費に平日朝・夜、休日毎食分含まれているため平日は大学内のスーパーや食堂で購入することが多い。大学からフリーバスで 15 分ほど離れたところにモールがあり、そこで買い物ができる。

休日：土曜日はモールに友人と買い物や食事に外出

日曜日は交通費が一定で 2.8 ドルのためシドニーに 1 時間半ほど電車で行かせることが多い

ほかにもホストファミリーと車で遠くの街に出かけることもある。

留学種別	認定
留学先大学	クイーンズランド大学附属集中英語コース
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース内容： **General English**

クラス人数： 1クラスだいたい15～20人

国籍： 時期、クラスによって割合が変わる。8月から12月は日本人5割～6割、中国・台湾人2～3割、サウジアラビア2割、その他はコロンビアやブラジル人

1週間の授業時間割： 月～金の8時15分から12時45分(途中30分休憩アリ) **All English**

使用教科書： **CUTTING EDGE**

授業形式： 席は3グループに分かれる、授業参加型

学習環境： 語学学校の学生専用の自習室があり、大学の学生がテスト期間で図書館が満席になる時期はとても有効活用できる。教室の環境設備は基本は整っているが、室温調整が極端で夏でも上着は必要。

II. 生活状況

ホームステイの環境： 基本は自由に生活することができた。家のルールは「夕飯がいない場合はホストに 15 時までに伝える」「外出の際はドアを必ず閉める」くらいで他の家のルールより少なかった。

オーストラリアは虫が多いため、ハエやゴキブリ、蜘蛛はよく見る。

通学方法： バス通学(家から最寄りのバス停まで徒歩2分・トータル25分)

食事や買い物： 平日の朝と夜・休日3食はホストファミリーの費用に含まれている。買い物は家から徒歩8分で着く大きなショッピングモールやシティで買い物をしてきた。

休日の過ごし方： 学校の友人とショッピングしたり、違う地域へ行って旅行したりしていた。語学学校内は日本人が多いため、他国の友人とも遊ぶように意識している。

留学種別	TESS II
留学先大学	サザンクロス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業内容、クラス人数国籍、時間割、授業形式、大学の学習環境、自習室、教室の設備については他のアンケートにて回答済みですので割愛します。

使用教科書について

教科書は購入することもできますが、ほとんどのオンラインで確認できます。またウェブサイト上で **prescribed** となっても、先生によっては必要ないという場合もあるので授業に実際に行くまでは買わない方がいいです。

II. 生活状況

宿舎の設備、環境、ホームステイの環境、休日の過ごし方については他のアンケートにて回答済みですので割愛します。

通学方法

バスで通います。concession があるので片道 1.2AUS\$ほど、10分ぐらいで着きます。

食事や買い物

とにかく物価が高いです。coles が最も安いのでいつもそこで買い物をしています。woolworths, IGA などは品質は良いですが比べると高めです。

留学種別	認定
留学先大学	サザンクロス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・コース内容（授業内容）ビジネス
- ・クラス人数、国籍 最小のクラスで約 10 人、最大で 40 人ほど
- ・一週間の授業時間割 月曜：学部授業でのレポートの書き方などのアカデミックな授業 3 時間
火曜：月曜のワークショップ 1 時間 水曜：経営 2 時間、経済数学 3 時間 金曜：経営 2 時間
- ・使用教科書 どの教科書も 100 ドルくらいする。Ebook は 20 ドルくらい安い。驚くほど分厚くて重い。友達にもらうと節約できる。
- ・授業形式（講義形式、ゼミ形式等）NUFS と一緒に少人数での講義が多く、生徒は積極的に発言しまくるので日本人は最初は縮こまりがち。
- ・大学の学習環境、自習室、教室の設備 サポートしてくれる学生チームが存在するため、講義でわからなかったところを質問できるし課題なども手伝ってくれる。図書館の設備が充実しており個人の空間で学習できる部屋もある。教室は冷房とスクリーンが完備されており、真夏でも基本的に寒い。

II. 生活状況

- ・宿舎の設備、環境 Southern Cross University Gold Coast campus には寮がないためシェアハウスかホームステイかの選択しかない
- ・ホームステイの環境 5 日間だけ 41 歳の Aussie mom, 16 歳、8 歳の息子とホームステイした。夕食のみ作ってもらうプランなのだが、スープだけだった。私の部屋は Wi-Fi どころか携帯会社のインターネットすら届かずスマホもパソコンも使えなかった。また、私の部屋のコンセントが全て使えなかったためマザーに言ったところ、あなたの持ち物が悪いと非難された。しかし、明らかにコンセントがおかしいと思ったため強く二度主張したらやっと動いてくれた。ブレーカーが落ちていたのと、一つのコンセントが壊れていて使えなかったのが原因だった。また、Southern Cross Uni で男性教授がコロナ陽性になったためある一日だけ閉校になったとの情報を聞いたマザーがリビングでくつろいでいた私に向かって「you're coronavirus because coronavirus appeared in your school. We have asthma. Go to your room right now and you know look for new house and move out as soon as possible.」と冷たく言い放ってきた。その場にいた 8 歳息子が「We don't have asthma~!」と発言したのをマザーが叱りつけていた。私を日本人と知ってて受け入れたのはあちら側だが、完全なアジア人差別だった。Gold Coast のホストファミリーはビジネス感覚が強く、仲介会社の AHN はホストファミリー側に立ち利用者に冷たく評判が悪いため Southern Cross Uni で勉強するならシェアハウスを強く勧める。
- ・通学方法 自転車
- ・食事や買い物 全て自炊
- ・休日の過ごし方 土曜は友達と遊び日曜は課題をする

留学種別	TESS II
留学先大学	サンシャインコースト大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

EAP2 (語学学校) でのコース内容 : 来期の学部授業に役立つアカデミックイングリッシュと **IELTS** (リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング) の2つがメインで学習していました。特にリーディングとライティングに力を入れて指導していた印象があります。そして、週に2-3回 **300** 文字エッセイの課題があったのをよく覚えています。クラスの人数は少数で **13** 人ほどだと思います。国籍は日本、中国、香港、フィリピン、ネパール、フランス、ロシアと様々ですが、人数的に言うと、アジア圏の人たちが大半を占めていました。時間割は、月・水・金では主にアカデミックイングリッシュについての授業そして、火・木では **IELTS** についての授業が行われていました。

8:40-10:40 授業

10:40-11:00 休憩

11:00-12:00 授業

12:00-13:00 昼食

13:00-15:00 授業

使用教科書 : アカデミックイングリッシュについての授業のときは『**Cambridge Academic English**』、**IELTS** についての授業のときは主に『**Ready for IELTS**』を使っていました。

授業形式 : ゼミ型

大学学習環境、自習室、教室の設備 : 割と新しくできた大学ということもあると思うが、学習環境はどこも綺麗で完備されている印象があり、満足しています。

II. 生活状況

The Village (大学の宿舎)の場合

調理道具や冷蔵庫などの生活に最低限必要なモノ (食品は除く) はありました。そして、リビングとキッチンが1階にあり、寝室は2階にある状況でした。自分の他にも2人のシェアメイトがおり、空間を共有しなければなりません。なので、自分がキッチンを使いたいときに使えなかったり、自分の食糧を食べられるかもしれません。自分次第でスピーキング能力を向上させられるのでお勧めします。特に静かな場所が好きな人には **The Village** をお勧めしますが、より楽しみたい人は体感的に **Uni Central** の方が良いかもしれません。ちなみに **The Village** の最も良い点は他の大学の宿舎と違って **Wi-Fi** (追加料金なし) が使い放題のところ。通学は徒歩 **5** 分程度で、食事に関して自由で基本的に自炊していました。買い物は近くの **Coles** というスーパーマーケットで済ましていました。自分が住んでいた宿舎は天井に扇風機がついてあるだけで非常に暑かったので、基本的に課題や勉強をするために休日のどちらかは大学の図書館に行きました。勉強終わりには友達を誘ってテニスをしていました。

留学種別	認定
留学先大学	セントラルクイーンズランド大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Speaking, Writing, Listening and Reading

14 人、中国、ベトナム、インド、パキスタン

II. 生活状況

ホームステイはいいです。バスで通っています。休日は友達と遊んでいます。

留学種別	TESS II
留学先大学	タスマニア大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース内容は、4 技能であるリスニング (note-taking)、リーディング、ライティング (リスニングやリーディングで扱った題材をもとに書く short essay や research essay)、スピーキング (個人でのプレゼンやグループでのプレゼン) を 1 週間の授業の中で数時間ずつ勉強するようなスタイルです。1 つのレベルにつき 5 週間のプログラム内容で、5 週目に次のレベルに上がれるかどうかのテストがあります。5 週間のプログラムを 3 回受けることになると思います。クラスの人数はレベルによっても異なりますが、10 人~15 人が基本です。国籍は半数以上が中国人で、残りは日本人、ベトナム人、台湾人、韓国人、パキスタン人でした。日本人は同じ大学から 6 くらいのグループで来ている場合が多かったです。1 週間の時間割は、月曜日から金曜日までそれぞれ 9:00-11:00 と 11:25-13:25 の 2 部に分かれており、どの時間に何をやるかは毎週違うので週ごとのタイムテーブルに従います。月火と水木金で先生が異なり、月火はスピーキング、リーディング、リスニングがメインで、水木金はライティングがメインなような気がします。授業と授業の間が一応ランチタイムとなっていますが、人それぞれ過ごし方は違っていました。使用教科書は、レベルごとに指定されているものを学校近くの本屋で購入する必要がありました。1 つのレベルで一冊使い終わります。授業形式は、ゼミ形式に近いと思います。与えられたものを使って意見を交流したりすることが多かったです。特に、ペアディスカッションやグループディスカッションが多かったです。ライティングに関しては先生からの個別のフィードバックの時間もあり、とても良い機会でした。また授業で使用する教材はオンライン上ですべて確認できるので、予習や復習にとっても役立ちました。学習鑑賞に関しては、授業はペアかグループワークが多いので、何人かで机を近づけて勉強してまいりました。図書館に行けば 24 時間自由にパソコンが使えたり、グループプレゼンの練習をするために使えるスペースなどもあるのでとても便利でした。また、飲食可能スペースもあるので長時間滞在も可能でした。

II. 生活状況

私は大学近くの寮に住んでいました。一人部屋だったので、キッチンと洗濯機、乾燥機は共同で使っていました。部屋に設備されていたものは、ベッド、勉強机、いす、テレビ、収納棚、冷蔵庫 (小さい冷凍室付き)、トイレ、シャワールームでした。Wi-Fi は、学校のパスワードで制限なく使えたのでとても便利でした。寮の敷地内にカフェがあり、安く食べられるのでたまに行きました。ご飯もの、麺類、お肉、魚類、野菜など品数も多く飽きなかったです。また、寮主催のパーティーがたまにあり、他の留学生と交流したり、用意された食べ物を楽しんだりできました。通学は学校まで徒歩 10 分ほどでした。食事は基本的には自炊をして、たまに友達と食べに行ったり、さきほどのカフェで済ませてました。歩いていける距離にスーパーが 3 つあったので、買い物はそこで済ませていました。ほとんどのものがそろっているので、日本から色々持っていく必要はなかったと思っています。休日は、1 週間分の食事を準備したり、宿題をしたり、友達と遊びに行ったりしてました。毎週宿題があり、とくに Essay の宿題は時間がかかるものが多かったので休日を使うことも多かったです。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Upper intermediate と EAP コースで勉強しました。upper intermediate コースではクラスメイトが 15 人ぐらいおり、3 番の 1 ずつ中国人とサウジアラビア人がおり、他は日本人とスイス人でした。月曜日から金曜日まで、1 日 4 つ授業があります。9:00-10:00,10:00-11:00,13:00-14:00,14:00-15:00.授業形式は、nufs で行なっている英語の授業と同じ感じです。

II. 生活状況

とてもフレンドリーで、いつも私のことを気にかけてくれています。門限が 22:30 なのが 1 番つらいところです。たまにレポートやプレゼンで遅くまで学校で過ごしていますが、ホストマザーはいつも心配しています。一緒にテレビを見たり、夜ご飯を作ったりしています。家から徒歩 15 分ぐらいの所に学校があるので毎日徒歩で通学したり、たまに車を持っている友達に連れてってもらっています。私が家にいる時はホストマザーと一緒にご飯を作って一緒に食べていますが、私が友達と外食することも多いです。休日はほとんど出かけています。土曜日は何もなければ教会行っています。他は友達と遊んだりしています。

留学種別	認定
留学先大学	西オーストラリア大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私の授業ではスピーキング、リスニング、文法、ライティング全ての技能を勉強します。得に、自分の考えを学生同士でシェアする機会が多いので、メインはスピーキングです。また、毎週金曜日には **weekly review** があり、一週間で新たに学んだ文法や単語を中心とした小テストを行います。

タームが終わるごとにクラスも変わります。クラスの人数は約 15 人で、国籍も様々です。(日本、中国、カザフスタン、トルコ、コロンビア、ペルー、韓国、タイなど)

授業は毎回 8:30~12:45 までで、週に 5 日あります。(15 分の休憩あり)

使用教科書は **OUTCOMES** です。他にも、先生から配布されたプリントを授業内で使用することも多いです。

メインの大学のキャンパスから少し離れているので、私たちのキャンパス自体はとてもコンパクトです。しかし、図書館や休憩スペース、カフェなどがあり、校舎が狭い分教室を探すのに迷うこともなく、移動がしやすいです。

II. 生活状況

ホームステイ先の環境はとてもいいです。私の家にはホストマザーと彼女の息子と同じ学校に通うフランス人の学生がいます。彼らはとても親切です。家も綺麗で自分の部屋には専用のバスルームもあります。家の近くにはスーパーや図書館、ビーチがあり駅やバス停も近いです。都市部からは少しだけ離れていますが、静かで落ち着きがあり、とても生活しやすいです。

学校へはバスで通学しています。約 20 分ほどです。

朝ごはんは夜ご飯はマザーが提供してくれますが、昼は自分で用意します。スーパーで買ったり、外食をしたり様々です。

休日は家で勉強したり、海外ドラマを見て過ごすことが多いですが、買い物やビーチに行ったり、最近ではサーフィンにも挑戦しています。

留学種別	認定
留学先大学	西オーストラリア大学附属英語学校
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業は **Reading Writing Listening Speaking** を重視した英語コースです。クラスにはアジア、南アメリカ、ヨーロッパ出身の生徒が多く、20 人前後のクラスで授業を進めています。1 日 4 時間の授業で週に 21 時間授業をしています。

II. 生活状況

ホームステイ先は、ホストマザーとの二人暮らしで、朝は自分でシリアルやトーストなどを用意し、朝ごはんを済ませ、学校にいきます。通学は、徒歩 20 分、電車 10 分で合計 30 分ほどかけて通学しています。帰宅したら、ホストマザーと一緒に夕食を済ませ、テレビを 21:00 頃まで見て、シャワーを済ませ、自分の部屋に戻ります。オーストラリアは水不足のため、シャワー時間を短くしなければいけないので、いつも時間を意識してシャワーを浴びていました。休日は、主に友達とショッピングをしたり、ビーチに行ったりするなどして過ごしています。平日、学校が終わったら週に 2 日ほど学校の近くの私立高校で、日本語教師のアシスタントのボランティアをしています。

留学種別	認定
留学先大学	キャピラノ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

English Academic Purposes

20 人ほど:イラン、中国、モンゴル、台湾

月曜:Reading,writing

火曜:Listening

水曜:Reading,Writing

木曜:Reading,Writing

金曜:Listening

Reading:Interactions2

Writing:Great writing 2

Listening:Contemporary topics2

ゼミ形式

教室の設備良い、図書館は騒がしい

II. 生活状況

ホームステイ:比較的過ごしやすい

通学方法:バス、50 分

夜ご飯がでる、朝は自由に家のものを食べて良い、昼は自分で購入

土曜日は友達と外出、日曜日は図書館で勉強

留学種別	認定
留学先大学	ジョージブラウン大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

まずプレイスメントテストのあと午前組と午後組にクラスが振り分けられます。私は 1 ターム目は午後に振り分けられたので 13:00~17:00 でした。月曜日はリスニングの授業、火曜日から金曜日はリーディング、スピーキング、グラマー、ライティングの授業です。リスニングの授業では新しい単語を覚えたり発音の勉強をしたりリスニング問題をします。火曜日から金曜日の授業では文法を勉強して、その文法を使った例文を使ってクラスの人と質問し合ったり、その文法を使って自分自身の体験などを書きます。リーディングはクラスが決まった時に指定された小説を買って、毎週 4 チャプターごと読み進め、4 人で 1 グループ作って金曜日の授業内でそのグループメンバーと分担して 1 人 1 チャプターを要約し合います。そのあとその本の内容についての質問が先生からランダムに聞かれるのでそれに答えます。授業形式は基本先生がランダムで答える人を当てます。ただ聞いているだけの授業ではなく 1 日必ず何回も発言します。リスニングとその他の授業で 2 週間に 1 度ずつ中間テストのようなものがあります。今回のレベルでは 1 ターム中に 2 回プレゼンテーションがありました。クラスで出される宿題とは別に毎週インターネット上での宿題もあります(Writing, vocabulary, listening)。クラスは約 20 人で私のクラスには私以外日本人はいません。クラスメイトの国籍は中国、ベトナム、タイ、イラン、ヨルダン、ロシア、トルコ、エルサルバドルなどとても多様です。大きな大学で、図書館にパソコンが使える場所も自習するスペースもあります。電子黒板が全教室にあるので授業もとても効率がいいです。

II. 生活状況

ホームステイ先は綺麗で、ご飯も美味しく、家族もとても優しいです。学校が午後からなのでお昼ご飯を学校に持っていきます。自分でサンドイッチを作ったりホストマザーが何か持たせてくれたりします。必要な食材はホストマザーが定期的に来てくれるので自分で食材を買う必要は無いです。大学へはバス、地下鉄、路面電車を使って行きます。大体 1 時間かからないくらいです。休日は課題をしたり、友達と遊んだり夕ご飯を食べに行ったり、ホストファミリーと出かけたりしています。

留学種別	TESSIV
留学先大学	セネカカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

英語コースは週 5 で主にアジア系で構成される 20 人弱のクラス 毎日同じメンバーと同じ先生で行う

航空コースは決められた授業を取る クラスによって先生も教室にいるメンバーも違う 私は週 4 で 1 コマ 2 時間弱の授業を 5 個受けた

II. 生活状況

寮のいいところな学校へのアクセスの良さとセキュリティ面 イベントに参加する以外に学校の後に人と話す機会がないことが多かった点でホームステイにしたら良かったと後悔したこともあったが、自分の時間を確保できるという意味では良かった 入寮時に生活用品 1 式全て揃える必要があること、自炊をしなければいけないことがホームステイとの違いだと思った

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアイランドカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

ESL の Reading & Writing のクラスはクラスメイトが自分を含める 3 人しかおらず、中国人 1 人、日本人 1 人でとても小規模のクラスでした。授業では、教科書 (Pathways Reading, Writing, and Critical Thinking 2) の Reading の解読や Paragraph の基本的な書き方、Transactional letter の書き方、知らない語彙が Reading の中で出てきた時の推測方法などを学習しました。月曜日から木曜日、毎日 2 時間半の授業がありました。火曜日の 1 時間半だけコンピューター室に途中で移り、先生に呼ばれて一人一人 Writing の評価を受け、その間は個人でパソコンに向かいボキャブラリークイズを解いていました。その他の時間は、教室で参加型の講義授業でした。

ESL の Listening & Speaking のクラスはクラスメイトは自分を含める、中国人 2 人、日本人 4 人、ベトナム人 2 人の 8 人クラスでした。授業では教科書 (Pathways Listening, Speaking, and Critical Thinking 2) の Listening の問題や Discussion questions での Speaking 練習を行ったり、idioms の使い方などを学習したりしました。月曜日から木曜日、毎日 2 時間半の授業があり、その内の 1 時間半はパソコン教室に移り、自分の Speaking を録音して、Pronunciation の上達を図りました。その他の時間は教室で参加型の講義授業でした。教室の設備は十分にあり、図書館の中に自習室があるため、勉強できる環境はきちんとありました。

II. 生活状況

ホームステイの環境は良いです。鍵付きの 1 人部屋があり、広さも十分にあります。食事は自分で準備しているため特に問題はありません。毎週日曜日にホストファミリーが 1 番お得なスーパーに買い物に車で連れて行ってくれます。学校には徒歩 20 分で着きます。特に不便はありません。学校の近くにはスーパーとマクドナルド、スターバックス、ティムホートンなどがあります。休日は宿題をしているか、暇をしています。正直、退屈だなど思うことは多いです。大学生が友達と遊びに行くような場所がありません。ハイキングやサイクリング、釣りなど自然の中でのアクティビティは多いですが、案外値段が高いのと、最近は雨ばかり降っているのでアクティビティに適している天気ではなく、頻繁に行くことはありません。名古屋では、こんなにリラックスした時間を取れる時間はないと思うので、それも楽しむようにしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアイランドカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

ESL

6 から 8 人、4 人日本人、2 人中国人、2 人ベトナム人

週に 20 時間

講義形式、パソコンを使った形式。ディスカッション形式

ESL は週に 20 時間、同じ教室で同じ先生、同じクラスメートと過ごすので、だんだん不真面目になる生徒が多い気がした。図書館や食堂などに自習できるスペースはある。

II. 生活状況

ホストファミリーが自分とは合わない人たちだったので少し辛い部分が多かった。(後期に変えてもらうことができた。) 通学に使えるバス停は、家から歩いて 40 分離れたバス停を主に使っていた。その道のりで街灯が一つもない道も長くあり、安全を感じながら通学することはできなかった。家では WIFI を使わせてもらうことができたが、動画を見ることは許されていなかった。食事はいつも新鮮でおいしい食事を用意してくれていた。休日は友達とプールへ行ったり、家に遊びに行ったりしていた。

留学種別	認定
留学先大学	バンクーバーアイランド大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私は大学付属の語学コースに在籍している為、基本的に英語を学ぶ授業です。termA と termB に分かれており、listening/speaking と reading/writing を termA, termB の各 6 週の間それぞれ学びます。クラス人数は 15 人で、国籍は日本・韓国・中国のアジアからの学生が多く見られます。授業は月曜日から金曜日の 8:30~12:20 の約 4 時間、そして 20 分の休憩があります。使用教科書は **grammar explore, North star, Discussion strategy, Pathway** を使用しました。授業形式は講義形式ですが、授業内でのグループワークはたくさんあります。大学には 24/7 の図書館があります。また、**learning center** という英語を学ぶ学生に向けた施設もあり、そこでも様々なアクティビティが行われています。教室には冷暖房はありません。

II. 生活状況

ホームステイで生活しています。自分の部屋がありますが、トイレとお風呂はルームメイトと共有です。朝食と昼食は、家の冷蔵庫から食材を取り出して自分で作っています。火を使うことは禁止されているので、簡単なサンドウィッチを作って昼食として学校に持っていくことが多いです。夕食はホストマザーが作りますが、金曜日は作らないので友達やルームメイトと外食をするか、冷蔵庫にある残りの食べ物を食べて済ませます。洗濯や部屋の掃除は全てホストマザーが行なってくれますが、自分たちのトイレとお風呂は週に 1 度ルームメイトと交代で掃除をします。通学方法についてですが、私の家は大学から徒歩圏内なので、毎日徒歩で通学しています。休日は友達のお家で過ごしたり、ルームメイトとお出かけをしたり、ホストファミリーとお出かけをして過ごしています。

留学種別	認定
留学先大学	ビクトリア大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

ELPI のコースでレベル別にクラスが分かれています。学期の初めにテストを受けてレベル分けされますが、1 週間程度様子を見て上に上がる人もいれば下がる人もいます。330 レベルでは基本的な文法(**articles**、三人称、過去形など)や表現(ディスカッションでの表現、感情表現など)をグループでの会話やワークシートで練習しています。リーディングはペンギンリーダーズのレベル 3 の本を読んでいます。クラスは 17 人で日本がほとんどで、韓国人 1 人、中国人 2 人、メキシコ人 1 人で構成されています。授業は 1 日 120 分 2 コマで授業の後は追加授業をうけたり、ボランティアと話して会話練習することもできます。週に一度だけ選択科目があり、私は **idiom** と **discussion skills** を受講しています。これは違うレベルのクラスの人が混ざっているので自分より上のクラスの人と授業を受ける場合もあります。

II. 生活状況

私のステイ先はルームメイトはなく私 1 人ですが、部屋に洗面、トイレ、シャワーがついていてとても快適です。洗濯は週に一度でシャワーやトイレの掃除も週に一度自分でやります。

学校まではバスを 2 つ乗り継いで行きます。最寄りのバス停までは徒歩 7 分です。

UVic に通う学生は電車がないのでほとんどがバスを使って通学しています。そのため学生証にバスパスが付いています。バスはほとんど定刻に来ますが、交通状況で 30 分程待つ時もあります。

夕食は 5 時半～6 時の間でほぼ毎日ホストファミリーと一緒に食べています。朝食は主にシリアルで昼食は前日の夕食の残りか、自分でサンドウィッチを作って持って行くこともあります。

休日は友達とショッピングに出かけたりホストファミリーと過ごしたりします。日曜日の朝は教会へ行くので予定がなければ私も連れて行ってもらいます。

留学種別	認定
留学先大学	ビクトリア大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業内容は、英語の文法、アクセント、語彙など英語の基本的なことを学んでいます。グループワークやペアワークが多く、会話をする機会がたくさんあります。クラスは全部で 14 人で、半分が日本人です。日本人以外には台湾人、韓国人、中国人、ブラジル人がいます。授業は一回 2 時間で 1 日に 2 クラスあり、週 4 日あります。週一で選択授業があり、一回 110 分で 1 日に 2 クラスあります。授業は午前中で終わるので放課後は勉強する時間、買い物する時間がたくさんあります。授業は基本ゼミ形式です。学内には自習できる場所、現地の人と会話できる場所があり、英語を勉強するための環境が整っています。

II. 生活状況

1 人部屋で、部屋にはベッド、机、椅子、ドレッサー、タンス、クローゼットがあります。同じホームステイ先には中国人が 1 人います。ホームステイの家はとても綺麗で気持ちよく過ごせています。ホストファミリーは優しくたくさんコミュニケーションをとっています。食事は、朝昼晩ついていて、朝は自分でパンを焼いて食べています。昼は前日の夕飯をタッパに詰めて持って行ったり、大学内のカフェテリアで食べたりしています。夕飯は基本的に家で食べますが、時々友達とレストランに行っておきます。通学時間は約 20 分でバスを使っています。休日は友達とランチをしたり、買い物をしたり、大学のジムへ行ったりしています。バスは学生証を使って無料で乗れるので、色々なところへ遊びに行っています。

留学種別	TESS II
留学先大学	フレージャーバレー大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業は月曜から木曜日の週 4 日です。ライティング、スピーキング、リーディングの授業が週に二回ずつあります。ライティングは 20 人程度、アジア、アフリカ、中東など出身はバラバラです。スピーキングは 25 人程度で、こちらも出身は様々です。リーディングは 10 人程度で、こちらも出身は様々です。リーディングとライティングは先生が同じです。クラスのメンバーはすべての授業が同じ人もいれば、1 つしか同じじゃない人もいます。基本的には講義形式ですが、リーディングは少人数なので、ゼミ形式に近いです。

II. 生活状況

ホームステイ先はフィリピン人宅です。料理がまずく、とても米がまずいです。でもスプリングロールがとてもおいしいです。洗濯機を使った後、ホストが乾燥機をかけ、たたんでおいてくれるのでとても助かっています。火曜日の夜はバトミントン、水曜日はバレーボールをみんなとしています。休日はカナダ人の友達がたまにどこかへ連れて行ってしてくれます。通学は基本バスです。でも、帰りはたまにカナダ人の友達が家まで送ってくれるので助かっています。最近はとても寒くて風邪をひかないか、心配です。手洗いうがいを頑張ります。

留学種別	TESS II
留学先大学	ブロック大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

ESL の授業は **Listening** と **Reading** のどちらも生徒の発言に重きを置いている。グループでのディスカッションやペアで協力して課題をすることが多かった。

クラスは割と人数の多い 24 人で、内訳は半分の 12 人が日本人で韓国人が 6 人、中国人が 3 人にタイ、ベトナム、ブルンディがそれぞれ一人ずつであった。

授業時間はクラスによってバラバラだが、自分のクラスは月・水曜が 10 時から 13 時が **speaking&Listening**、14 時から 17 時が **Reading&Writing** の授業。火曜と木曜は **speaking** のクラスが 11 時スタートだった。金曜は **project**(主にグループ発表やレポートがメインの授業) が 11 時から 14 時までであった。

教科書は **speaking** と **reading** 共に **Oxford** から出ている **Q:skills for Success, second edition** を使用した。**project** のクラスでは授業のたびに必要なプリントが配られたため教科書は使わなかった。

授業は講義形式とゼミ形式の中間に位置していると思われる。間違っても発言することが重要視されていた。

大学では、図書館や **computer** 室が授業後の夜遅くまでと休日も利用可能であるためよく利用した。**ESL** の建物自体も休日も開いていて使えるため、テスト前にはよく訪れた。

II. 生活状況

ホームステイの環境は人によってバラバラ。周りと比べて昼食の内容が良くなかったり、シャワーやシンクを常に綺麗に保つルール、トイレトペーパーの使用量に厳格であったため変更を依頼した。変更後は、学校から 40 分ほどの場所にあり、ショッピングセンターがバスで 10 分で行ける距離の家になった。食事毎日マザーの手作りの料理が振舞われた。間食なども多くあり自由に食べることができた。シャワーは 1 日一回までならいつ浴びてもよかった。通学は家からバス停まで 7 分ほど徒歩で行き、バスに乗ってショッピングセンターで大学行きのバスに乗り換えて行っていた。所要時間は約 40 分ほどで、帰りに家の方向に向かうバスが出てしまって 30 分待たなければいけないこともしばしばあった。

食事は基本夕食が多めに出されるので十分である。ジュースや紅茶、コーヒーなども基本勝手に飲んでよかった。たまに少しスナックを買う程度だった。

買い物は近くのショッピングセンターでなんでも揃ったのでそこでしていた。

休日は、前半に学校のアクティビティが多めに用意されていたのでそれに参加した。後半は課題とテストに追われたので大学に行って勉強をすることが多かった。

留学種別	TESS II
留学先大学	ブロック大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

ESL の授業をとって、授業は **Reading&Writing**、**Listening&Speaking**、**Project** の 3 つに分かれている。クラスによって授業の開始と終了時間が異なるが、私のクラスは、月・水曜日は 8 時～15 時 (R&W 3 時間、P 1 時間、L&S 2 時間)、火・木曜日は 8 時～14 時 (L&S 3 時間、R&W 2 時間)、金曜日は 8 時～11 時 (P 3 時間) という時間割が組まれている。クラスの構成もクラスによって全く異なるが、私のクラスには日本人が 17 人、中国人が 2 人、韓国人が 5 人いる。クラスは同じレベルの中の同じ学校同士で固められている印象がある。授業ではグループで話し合いながら進めることが多く、特に **Listening&Speaking** の授業ではディベートを多くしている。自習をする時は留学生用の建物のロビーか少し離れたところにあるメインキャンパスの図書館を利用している。

II. 生活状況

私のホームステイ先にはフィリピン人のマザーとファザー、7 歳の息子、もうすぐ 1 歳になる娘と日本人の留学生が 1 人いる。家は学校から少し離れたところにあり、学校から家までバスを 1 回乗り継いで約 45 分かかる。食事は基本的に三食ホストが用意してくれ、予定がない時は家でごはんを食べるようにしている。夕食と休日の朝食は毎回お米を出してくれ、フィリピン料理やカナダ料理を出してくれることもある。ティッシュやシャンプー、コンディショナーなどの日用品やスナック菓子は自分で近くのスーパーで買っている。休日は土日のどちらかは友達と遊びに行き、もう 1 日は家か図書館で宿題をしている。周りにショッピングセンターやアウトレットがあるのでそこで買い物をしたりダウンタウンの近くにあるカフェやレストランに行ったりしている。

留学種別	認定
留学先大学	ブロック大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

IELP の授業は reading&writing、speaking&listening、project の 3 科目構成です。

クラス人数は 24 人で日本人 17 人、韓国人 5 人、中国人 2 人です。

時間割は月曜と水曜は writing&reading3 時間+project1 時間+speaking&listening2 時間

火曜と木曜は speaking&listening3 時間+reading&writing2 時間

金曜日は project3 時間 です。

使用教材は「skills for success 4」

授業は講義形式ではなくゼミ形式

私たちは international center という別の建物で学習しますが、main campus 内の図書館やカフェ、パソコン室などを利用することもできます。

II. 生活状況

私のホームステイはホストマザー 1 人と韓国人のルームメイト 1 人です。11 月に中国人の新しいルームメイトを迎える予定です。部屋も綺麗で過ごしやすく、ホストファミリーは親切で、コミュニケーションを積極的に行うことができているので楽しく生活出来ています。

通学には市内バスを利用しています。ダウンタウンのバスターミナルで一回乗り継ぎをしています。学校のバスパスを利用しているので、無制限に市内バスを使うことができます。

基本の食事はホームステイ先での三食になりますが、友達と外食に出かけることも多いです。大学からバスを使えば、ショッピングモールや家の近くにもスーパーがあるので、買い物へのアクセスは良いと思います。

休日は基本友達と遊びに出かけることが多いです。ダウンタウンに食事をしに行ったり、学校や地域のイベントに参加したりして過ごしています。

留学種別	認定
留学先大学	ブロック大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コース内容はライティング、リーディング、リスニング、スピーキング、文法を学習している。時々プレゼンテーションがあったり、課題も多いため少し大変であるが、その分以前より英語のスピーキング能力やライティング能力は上がっていると思う。

クラス人数、国籍は10人程度で中国人、韓国人、日本人がほとんどである。クラスによってはほとんどが日本人であったりするため、クラスによって人数や国籍が異なる。

一週間の授業時間は1コマ50分の授業が1日5コマ、毎日ある（土曜、日曜を除いて）。

使用教科書は大学指定教科書で様々なトピックについて書かれている。

授業形式は講義形式であるが積極的に発言をしなければならない。またディスカッションも多いので自分の意見を持って授業に参加することが大事であると思う。

大学の学習環境はとても良いと思う。図書館が休日に利用できる。教室は少人数の授業のためそこまで広くないがちょうど良いと思う。

II. 生活状況

ステイ先は人により異なるが大学から離れた場所にステイする人はバスを乗り継いで大学に行かなければならない。ステイ先にハウスメイトがいる場合が多く時々うるさいこともある。

大学へはバスを利用できる。場所によっては大学からバスで1時間かかることもある。

ホームステイ先の環境は私の場合私の他に4人のハウスメイトがいる。私以外中国人なので異文化を学ぶ良い経験になっている。

食事はホームステイ先の方がお昼ご飯を用意してくれるためステイ先によって異なると思う。

朝ご飯は毎日自分で用意しなければいけない。大学からバスで10分くらいの場所にショッピングモールがあるので買い物に不自由することは無いと思う。

休日は周りに特に何も無いので家で過ごすか大学で自習することが多い。

留学種別	認定
留学先大学	メディスンハット大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・ English as an Academic Purpose コース

英語力、事前テストや TOEIC スコアでレベル分けされており、現在最上レベルに所属

- ・ 人数はひとクラスあたり 20 人ほど。日本人が 4 分の 3 を占め、そのほかアジア系が多い
- ・ 月曜日は 5 限、火曜と水曜と金曜は 4 限、木曜は 2 限。月、水、金は 50 分授業で火、木は 75 分。二週間に一回、金曜日にてすとがある。水曜のみ 4 限は 110 分。リスニング、ライティング、グラマー、単語、リーディング、そして水曜限定の映画鑑賞の授業を受けている。
- ・ 文法のテキストは専用のもので「English Grammar」を使用。それ以外はハンドアウト。
- ・ 授業はほぼ全て講義形式。
- ・ 基本的にどこでも自習ができる。研究室に行けば教授に質問することができるほか、メールでも受け付けている。
- ・ 単位取得の合格ラインは、すべてのテストの平均スコアが 76%以上であること。現在二回分のテストが返ってきて、それぞれ 80%と 59%。テストは全 6 回だが、スコアが高い 5 回分の結果を採用して平均するため、一回分カウントしなくてもよい。

II. 生活状況

- ・ 学生寮に宿泊。空調が効いているため快適。
- ・ 寮には個室が四つあり、自分以外に韓国、インド、カナダの人が暮らしている。
- ・ 徒歩での通学。毎朝 6 時半ごろに起き、朝ごはんを作って食べてから登校。
- ・ 食事は朝や夕は家で自炊し、あとは学食や外食で済ませる。たまに朝ごはんも学食で済ませる。
- ・ 休日は課題やテスト勉強、買い物をして過ごす。買い物へは行きつけのスーパーマーケットに行く。

留学種別	TⅢ (2か国目)
留学先大学	モントリオール大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019年度2期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

FLE

- ・授業内容：文法、会話、表現を総合的に学ぶ
- ・クラス人数：30人弱（国籍：日本、中国、韓国、アメリカ、オーストラリア、コロンビア、シリア）

・授業時間割

月から金 9:00~12:00

火、木 12:30~15:00

- ・使用教科書：先生がプリントアウトしてくださったプリント

Theatre in Montreal

・授業内容：一つの演劇について2, 3週間かけて内容やバックグラウンドについて学び、実際に授業の一環で観劇しに行く。

- ・クラス人数：20人程度（国籍：日本、中国、韓国、カナダ）

・授業時間割

木 16:00~19:00

- ・使用教科書：特に使用しているものはなく、先生の講義をノートする。
- ・学習環境：大学に図書館が併設されており、自習机もある。教室の設備もある程度整っている。

II. 生活状況

私の寮は、部屋に備え付けられているものは勉強机、洗面台、冷蔵庫、たんす、ベッドで、シャワー室、トイレ、洗濯機、キッチンが共有でした。通学方法は寮から大学のキャンパスまで徒歩15分程度で、食事は基本的に食事は自炊をしています。寮からバスで10分程度のところにスーパーや市場があるのでそこで定期的に材料を購入しています。またショッピングをしたい場合は寮の最寄りの駅から30分弱でダウンタウンに行くことができるので便利です。休日は、モントリオールには美術館や商業施設、植物園、プラネタリウムなど休日を過ごすのに最適な施設が多くあります。また、長期休暇を利用して電車で3時間かけてケベックシティまで行ってきました。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	モントリオール大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

最初に受けた **web** テストでレベル別にクラスが分けられました。語学学校は1セメスターの中でも前期がブロック1、後期がブロック2と分かれていて、ブロック1のクラスのレベルは **niveau3** でした。ブロック2は自動的にレベルが上がり **niveau4** になります。ブロック1の授業ではおもに文法を総復習しました。宿題の量は先生によってまちまちです。クラスメートの人数は各クラス20人弱ぐらいです。国籍は中国の方と、イラン、シリアなどの中東系の方が多いです。ですが様々な国からきている移民の方が多いので、いろんな国の方がいます。ブロック1のクラスでは学生は私一人で、大人の方ばかりでした。授業は月曜から金曜の9時から12時まであり、週二回12時半から15時まであります。教科書は先生がプリントを印刷してくれていたもので購入しませんでした。授業で使う小説は購入しました。

ここからは授業と関係ないのですが大学の制度で **jumelage** というものがあります。簡単にいうとフランス語を学びたい日本人と日本語を学びたいフランス語話者の人を繋げてくれるペア制度です。週に一回2時間その人と、お話したり、一緒に出掛けたり、何をしてもいいというものです。最初に15ドル払わなければいけないのですが、フランス語を教えてもらえるのでとてもためになっています。あと毎週水曜日の19時から21時までには日本語とフランス語のランゲージエクステンジがあります。モントリオールは日本語を学んでいる人が多いので、ランゲージエクステンジで日本語を教えてあげたり、宿題でわからないところを教えてもらっています。あと毎週木曜日にもモントリオールの日本人青年団が開催しているランゲージエクステンジがあります。こちらのエクステンジは毎回2ドルかかります。

II. 生活状況

大学の寮は語学学校まで徒歩で20分ぐらいです。冬場はとても寒いので地下通で学校に通っています。トイレとシャワーは共同です。きれいとは言えませんが汚くありません。毎日掃除もされているので普通に利用できます。キッチンも共同なのですがわたしはコンロを購入して、部屋でご飯を作っています。ですが時々友達と一緒にキッチンで一緒に料理を作っています。食材の買い物は学校から歩いて15分ぐらいのところにある、スーパーとマルシェに行っていました。しかし寮から行くとなると少し遠いのでバスを利用しています。マルシェはスーパーより野菜が安いのですが、11月の中旬で閉まってしまいます。あと寮の共用スペースには **Wi-Fi** があるのですが部屋には **Wi-Fi** がなく電気屋さんでルーターを購入しました。カナダは携帯代が高いので **SIM** は購入していません。カフェやレストランにはだいたい **Wi-Fi** がありますし、ダウンタウンでは町自体に **Wi-Fi** があるので **SIM** がなくても困ることなく生活しています。公共交通機関の利用は **OPUS** という **IC** カードの4か月定期券を購入しました。定期は日本のようにこの区間だけ乗り放題というのではなく、モントリオールの地下鉄とバスすべてが乗り放題です。休日は寮から地下鉄で30分で行けるダウンタウンにショッピングしに行ったり、カフェに行ったりしています。アジアスーパーや日本食のレストランもたくさんあります。ダウンタウンに行けばなんでもそろるので困ることはありません。物価は日本より高いです。外食はチップもあるので特に高くなります。

留学種別	認定
留学先大学	ランガラカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- ・週毎に違うトピックについて学んでいて、週の最後にリスニング、リーディング、ライティングのテストを受けている
- ・クラスは 14 人 中国 7 人 日本 4 人 韓国 1 人 台湾 1 人 イラン 1 人
- ・20 時間
- ・教科書ではなくてプリント（コースパック）を使っている
- ・ゼミ形式、ディスカッションが多い
- ・学習環境は整っていると思います

II. 生活状況

ホームステイでは私以外に 4 人の留学生がおり、家でも英語を使う機会があって良いと思います。

通学ではバスを使っています。

食事は昼夜、ホストマザーが用意してくれて、朝は各自で置いてあるシリアル、パン、牛乳などを食べています。

休日は同じホームステイ先の子とお出かけしたり、バンクーバーの自然を感じています。雨の日はショッピングモールに行ったりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Reading/Writing と Communication の 2 種類の授業が週 4 日あります。Reading/Writing のクラスでは Summary&Respose や Reading Facilitation をしています。Communication のクラスでは Group Discussion や生徒が主導する Student Lead Discussion に加えて、プレゼンテーションが主な内容です。クラスの人数は 13 人ですが、女子大から団体にプログラムに参加していることもあり、日本人が 9 人、外国人は 4 人です。火、木曜日は 8 時から 13 時半で、水、金曜は 8 時から 11 時 50 分です。EAP は平日に一日休みがあります。私は午前授業がありますが、午後から始まるクラスに振り分けられることもあります。教科書はどちらのクラスも一冊ずつ購入しましたが、Reading/Writing のクラスでは授業中は教科書を使用していません。Communication のクラスでは TED talk の教科書使っています。授業形式はペアやグループでディスカッションしたり、発表やプレゼンテーションも多く、日本に比べて参加型で生徒主導で進められています。図書館や 24 時間開いているパソコン室で、課題をすることができ、学習環境はきちんと整っていると思います。

II. 生活状況

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私の時間割は週四日の授業で組まれていて、週休が三日間ありました。授業日はライティング&リーディングの授業の後コミュニケーションの教室に移動して授業を受けていました。火曜木曜は 8 時から 13 時半まで、水曜金曜は 8 時から 11 時までの授業でした。朝は早かったですが、授業が昼頃には終わるので、午後はとても時間に余裕がありました。私が所属した ESL のクラスには日本人 10 人、韓国、ウクライナ、エクアドルから来た生徒が各 1 人ずつの全 13 人いました。W&R の授業と C の授業には先生がそれぞれ 1 人ずついらっしゃいました。W&R は、ペアワークやグループワークで議論し理解を深めたトピックについてエッセイを完成させるという流れで進み、先生が丁寧に学習をサポートしてくださいました。教科書は主に課題用に使用しました。C では三度のプレゼンテーションと、二度のリーディングディスカッション (ペアでクラスメイトに対して問題提起したいニュースについて説明し、それについて議論をさせる、また議論が円滑に回るように手助けする)、経営者へのインタビューや、議論態度をクラスメイトに評価してもらうなどなどいろいろなことに挑戦できる授業スケジュールでした。教科書に沿って授業は進み、課題で使用することもありました。24 時間使える学習室やコピー機、施設の隅々まで行き渡っている暖房など大学の設備、学習環境共に整っています。

II. 生活状況

私は大学の寮に住んでいます。一番近い大学の教室まで 5 分で行くことのできる近さです。寮は 1 人部屋のベツルームと 3 人で共用のバスルーム二つ、キッチン、居間があります。必要な家具は備え着きで、私のような留学生には寝具も用意してありました。洗濯機室はそれぞれの棟で共用になっており、一回の洗濯機の使用に 2 ドル、乾燥機に 2 ドルかかります。私は日本人とブルガリア人の女子 3 人でそのユニットに暮らしています。食事はミールプラン (入寮 1 年目必須) を平日の朝、昼に使用し、夜と休日は自炊しています。日本食は安価ではありませんが、レストラン、食材店共に困らないくらいはあります。市バスが毎日町中を走っているので中心地に出たり、近くのスーパーに行ったりするには困りませんが、郊外の大きなスーパーに行くには乗り継ぎが必要なので時間がかかります。バスは学生証 (学期始めに定期分を払う) で乗れるので好きなだけ利用できます。映画のチケットが 3 ドルから 10 ドルととても安いので、授業後や週末によく行っています。また、ボランティアやクラブの集まりなども活発に開かれています。

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Reading, Writing クラスでは、先生の出すテーマについてクラス全体でディスカッションをし、そのテーマについての読み物をした。また、合計で 5 回エッセイを提出し、参考文献の正しい書き方やエッセイの基本を教わった。

クラスの人数としては 10 人ほどで、9 割が日本人、あとの 1 割は台湾からとインドからの生徒だった。

1 週間の時間割としては、週に 4 回、月水が約 3 時間の授業、火木が約 5 時間の授業だった。

使用教科書は、**Academic Inquiry** と **21Century Commnucation** だった。

大学の環境としては、設備がとても良く自習室もとても落ち着いていて勉強する環境が整っていた。

II. 生活状況

寮の部屋はとても暖かくカナダの寒さにも耐えられるような造りになっていてとても過ごしやすい。

大学内の寮なので徒歩 5 分ほどで大学に着く。

食事は昼は大学内にあるお店で学生証を利用して食べ、夜は自分で作るようにしている。

買い物はほぼ食品だけである。

休日は授業の課題や復習をしたり、現地の友達と映画を見たり買い物に行ったりした。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニュルティンゲン-ゲイスリンゲン大学
留学先国・地域名	ドイツ
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私の留学している **Nürtingen-Geislingen** 大学 (NGU) は経済と環境を専門に学ぶ学生が通う専門大学です。ドイツ人学生もちろんいますが、インターナショナル生へのプログラムが充実しているので交換留学生だけでなく、**MBA** などのマスタープログラムで学んでいる学生も多くいます。私が履修している科目は交換留学生のために開講されているものなのでクラスメイトは世界各国からの交換留学生です。**EU** 圏内からの学生はもちろん、アメリカ、南アフリカ、トルコ、ヨルダン、ロシア、中国、そして韓国からの学生が一番多いです。

一学期目は8科目履修し、そのうち3科目は英語を学ぶ科目で、1科目はドイツ語の授業、残りの4科目は学部授業でした。私が履修した科目は全て講義形式のもので、教科書を購入しなければならなかったのは、ドイツ語の授業だけでした。

自習室スペースや、図書館などの勉強スペースも充実しており、グループワークや試験勉強の際に利用しました。

II. 生活状況

大学の寮で生活しています。個々の部屋は比較的綺麗ですが、トイレやシャワー、キッチンなど他の学生と一緒に使うスペースはあまり綺麗ではありません。寮での生活で特に気になったのはキッチンです。**15~20** 人で使うには狭すぎるのと、何より設備が古くて清潔ではありません。水回りにキノコが生えたり、私が住んでいるのは寮の**5**階にもかかわらずネズミがでたりなど、衛生的に良い環境ではありません。また、**200** 室以上の部屋があるにもかかわらず、洗濯機が**3**台しかないのも気になりました。約**5**ヵ月生活しているので既に慣れましたが、寮に到着した初日はかなりショックを受けました。留学生にはこの寮しか選択肢がなく、また、個人でアパートを借りることは難しいです。**NGU** の留学プログラムや学習環境はおすすめしますが、宿舎の設備はできません。

寮の隣に環境系の学部のキャンパスがあり、私が学んでいるビジネス系の学部はバスで**15**分ほどの **Nürtingen** 市の中心地にあります。なので、セメスターごとのチケットを買いました。

寮の隣と、市内のキャンパスには食堂があるので、月~金の昼食はそこで摂ることができます。寮から歩いて**10**分の所にスーパーマーケットがあるので、食事に困ることはありません。

休日は **Stuttgart** へショッピングに行ったり、部屋の掃除や洗濯をしたり、寮は自然に囲まれているので散歩をしたりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	マールブルク大学
留学先国・地域名	ドイツ
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

最初の2ヶ月はドイツ語の文法をメインにした授業でした。イメージとしては語学学校にいる感じでした。授業開始日の1週間前ほどにクラス分けテストを受けたい6~10人ぐらいの6クラスほどに分かれ授業を受けました。全ての先生がフレンドリーでとても接しやすかったです。あとの2ヶ月は実際に大学の学生たちが受ける授業を共に受けました。講義式もゼミ式もありましたが、どちらも教授が、誰々答えてというわけではなく自ら積極的に発言しなきゃいけないという感じだったのでそこが大きく外大と違うところだなと感じました。

II. 生活状況

寮の部屋は思ったよりも広く机が2つあり勉強できる環境はありますが、部屋全体の電気はないため少し薄暗い感じではあります。食事は自分で作らないといけないためスーパーへの買い出しは必須です。ですが寮の周りには何もないので最低でも10分~20分程度バスに乗って出かける必要があります。スーパー自体はたくさんの格安商品が並んでいるためとても安心です。あと、必ずマイバッグを持っていかなくてはなりません。たくさんの人々が毎回、紙袋やプラスチックの袋を買っている姿を見ますが、2€ほどでしっかりとしたエコバッグを買うことができるので私はそちらをお勧めします。休日は友達と遊びに行ったりしていました。 Semesterチケットという定期券のようなものを学校から配布されるのでそれを持っていると無料で **Hessen** の地域に行き放題なのでとても便利です。格安バスなども運行しているため遠くの地域にもとても安く行くことができます。

留学種別	TESS II
留学先大学	マールブルク大学
留学先国・地域名	ドイツ
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

大学の通常の学期が始まるまでの8月から10月までは、同じ留学プログラム（IUSP プログラム）の留学生とドイツ語のクラスと文化のクラスを受講した。ドイツ語のクラスは、クラス分けのテストを受けた。その結果からクラスが決められたが、授業開始2日目では、先生と相談しながらクラスのレベルを変更することが可能だった。1クラスの人数は10人前後。私のクラスは、8人だった。少人数のため、話す機会が多く、先生は基本ドイツ語で授業を進めていくため、リスニングの向上に役立った。IUSP プログラムの留学生は、ほとんどがアメリカ人だったため始めはうまく馴染めるか不安だったがドイツ語のクラスを通してお互いを知り打ち解けることができた。文化のクラスはIUSPの生徒全員で受ける。アメリカ人の先生による講義形式の授業でステレオタイプや宗教、政党について学んだ。街のガイドや教会、モスクを訪れるなど課外授業も多く、10月にはベルリン旅行があった。通常の学期では、IUSP以外の生徒と一緒に受講する。講義形式とゼミ形式の授業がある。大学の図書館は新しくなったばかりで自習スペースも様々な施設があり充実している。

II. 生活状況

寮の部屋には、洗面台、一人掛けソファ、クローゼット、窓際に暖房、Wi-Fiがある。共同のキッチンには、トースター、電気ポット、オーブンがあるが、電子レンジはない。1階に洗濯機が3台、乾燥機が1台ある。ハウスキーパーさんが平日は毎日清掃をしてくれる。建物自体は古い。寮の周りは住宅街で静か。大学のある街の中心まではバスで約20分。2本のバスが平日は15分間隔で走っている。大学からのセメスターチケットで乗車できる。セメスターチケットは大学のある州内の鉄道、バスで利用できるため、休日はフランクフルトなど近隣の都市へ行くことができ便利だ。街には、スーパー、薬局、パン屋、飲食店も多くあり生活に必要なものは買うことができる。大学のキャンパスは学部ごと街の異なる場所にあるため、選択する授業によっては移動が大変な場合がある。学食は2店舗あり、メニューのレパートリーも多く充実している。休日はバスの本数が減り、30分間隔になる。日曜日は、レストランなど飲食店のみが営業している。

留学種別	TESS II
留学先大学	マッセイ大学
留学先国・地域名	ニュージーランド
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

前半 5 ヶ月間は語学コースに通いました。平日は毎日リーディング&ライティング、スピーキング&リスニングの授業を各 2 時間受けました。エッセイの書き方や講義のノートの取り方、プレゼンテーションの仕方など学部の授業で必要になるスキルを主に学びました。クラスは私を含め 17 人で私以外は中国人の学生でした。冊子の形状の教科書はありませんでしたが授業の初日に配布されたプリントをバインダーに保管したものを教科書として使いました。授業はゼミ形式でペアワークが多い印象です。基本的にトピックについてのディスカッションに始まり、先生の説明、問題演習、アウトプットとして週末にパラグラフやエッセイ課題が課されました。平日は授業の復習の問題演習など軽めなものが基本でしたが週末は時間を要する課題も多く、エッセイ課題は少し大変でした。自習には図書館を利用しました。1 つ毎に間仕切りが設けられたテーブルやグループで使える大きなテーブルがあり用途に応じて使い分けることができました。暖房は建物すべて完備されていました。冷房は教室内に扇風機が 1 つと物足りなく思われましたが、気候上問題なく過ごせました。

II. 生活状況

大学から車で 10 分ほどの場所でホームステイをしました。私が滞在した家庭には私以外に学生はいませんでした。自室には暖房器具、クローゼットとベッドがあり広さは十分あったと感じます。専用のシャワールームとトイレがあり洗濯も自己判断に任せてもらっていたので不満に感じるところはありませんでした。昼食、夕食はホストが用意してくれたものを、朝食は自分で用意して食べました。日用品、嗜好品等は自分で購入しましたが朝食分の食料品はホストが用意してくれました。移動には無料ということもあり専らバスを利用しました。家からバス停まで徒歩 1 分弱、市の中心部までも徒歩 20 分弱でバスが時刻表を大幅に遅れたり、早かったりすることを除けば移動手段には困りませんでした。1 歳の子供のいる家庭だったので日中は一緒に遊びました。遊ぶ中で新しい単語を覚えることができいい経験だったと感じます。夜はホストファミリーと映画を見たりしました。休日は友人と買い物をしたり昼食を食べたりしました。ホストファミリーが外交的な人だったので友人の家に招待してもらったり、ドライブに出かけたりしました。

留学種別	TESS II
留学先大学	マッセイ大学
留学先国・地域名	ニュージーランド
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

9 月から 12 月までは **Certificate in Intensive English** で英語を勉強していました。事前に受けたテストの結果次第でレベルが 4 つに分けられていましたが、クラスは 2 つでした。授業は **Listening and Speaking** ・ **Reading and Writing** の 2 つ、毎朝 9 時から午後 1 時まででありました。また、1 時 30 分からは先生たちのご厚意で IELTS 対策が 1 時間ありました。水曜日だけは正午には終わり、午後の補講もありませんでした。自由な時間を過ごしてほしいと多くの先生たちから繰り返し言われたことが印象的でした。8 週間区切りのコースで、最終週にアセスメントがありました。それを私は 2 回分受講したので、2019 年は 16 週間そのコースで勉強していました。毎週パソコンで提出する課題（基本、**Reading and Writing 250 words** と **Listening** と **Speaking** 自身で 3 分以上動画を撮って、与えられた題材について語り、アップロードする）があり、そのサイトは 1 週間の授業のテーマを通知し、授業で使用する教材や音源、補足の動画なども掲載されていました。また、1 週間以内に先生たちから **Writing** と **Speaking** の訂正とコメントが返ってきました。英語コースなので、生徒の行き来が多く、週によってクラスの人数は違いました。最高で多かったのは 15 人程度、最低で 5 人でした。国籍は中国・韓国・ベトナム・サウジアラビア・日本・タイ（隣のクラス）。英語を学びつつ、日本で深く知る機会のない文化を持った人たちとの交流を持てたことが英語コースに所属する最高のメリットだと思います。その分、現地の生徒との交流を作るとはかなり大変でした。幸いにも、自分が所属していた期間に日本から団体は来なかったので、英語を自然と使える機会は多かったです。新年からは大幅に英語コースのシステムが変わり、5 週間区切りの **Certificate of Proficiency** という名前が変わり、IELTS の補講はなくなりました。その代わり月・火・木は全員受講必須で午後の授業がありました。毎朝 9 時開始の 12 時に終わり、1 時間の昼休憩後、2 時間授業がありました。水・金の午後は丸々自由な時間でした。半年を通して、授業に使用する教材はプリントを配布されていました。授業形式としては、ゼミ形式のような感じだったとように思います。グループでのディスカッションも多く組み込まれ、授業中に質問しやすい環境でした。

II. 生活状況

ホームステイ先は町の中心に位置しているので、基本どこに行くにも 20 分ほど歩けばバスを取るよりも簡単です。大学までは近所のバス停から 15 分くらいで着きます。町のバスは学生証を提示すると無料で利用できます。時々、50 分ほど徒歩で通学することもあります。ホストファミリーは 10 年前ネパールから移住してきた、10 歳の息子と両親の 3 人家族です。今までも多くの留学生を受け入れた経験があり、明るく賑やかな家族です。私よりも先にステイしている中国人のホストシスターがいます。現在は韓国の大学で勉強しているカザフスタン出身の子も 4 週間滞在しています。ホストシスターの友達や、家族のコミュニティのお陰で、本当に多くの貴重な経験や話をする事ができています。現地の人と話す機会は正直あまりないです。ですが、それもニュージーランド留学の魅力だと思います。部屋は留学生それぞれに個人の部屋が与えられています。朝ごはんは起床時間が異なるので各々ですが、夜は基本集まって食べます。お昼は弁当を持っていきますが、晩飯の残りや、夜のうちに一緒に作ることもあります。キッチンや食材は自由に使えるので、たまに料理をすることもあります。個人の生活用品やお菓子などは週 2 のペースで買いに行きますが、多くのものは必要ないです。洗濯は基本、週末に家族分まとめてします。お風呂は、毎日入ることに深い理解を示してくれていますが、ホストファミリーは、毎日シャワーはしていません。週末は個人の予定がある日もあれば、家で映画鑑賞、少し遠出をする、パーティーに参加するなど、家族と過ごすほうが多いです。他人と暮らすことは、すべてが

楽しいことばかりではないので疲れることもあります。楽しく過ごしています。ホストファミリーも自由にさせてくれています。

留学種別	TESS II
留学先大学	アンジェ西部カトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

アンジェ西部カトリック大学では、セメスターが始まる前にクラス分けテストがあり、そのクラス分けの結果によって変わる選択授業と、どのクラスも必修の **Langue** の授業があります。**Langue** の授業は 16 人程度の少人数クラスで行われ、わからないことがあっても聞きやすい環境です。授業内容は、**Compréhension orale** , **Compétences écrites** , **Grammaire** , **Expression orale** などがまとめられた授業です。その他に私は **Compréhension orale** , **France au quotidien** , **Phonétique** を選択していました。**Compréhension orale** と **Phonétique** の授業も 16 人程度の少人数で行われていました。**Phonétique** の授業ではフランス語の発音について学ぶことができます。**France au quotidien** では、フランスの祝日、フランス料理、ワイン、教育課程や働き方について学ぶことができます。国籍は中国、ベトナム、アメリカ、韓国、カナダなど様々な国籍の人と出会うことができます。

私の場合、月曜日と火曜日は午前から午後まで授業があり、水曜日、木曜日、金曜日は午前のみ授業がありました。(金曜日は、授業が無いためみんな半休です。)

教科書は **Langue** と **Phonétique** で使用し、**Compréhension oral** , **France au quotidien** は配布プリントを使用していました。

アンジェ西部カトリック大学は落ちついた環境なので、学習するには最適な環境だと思います。私はテスト勉強をする際によく図書館を利用していました。

II. 生活状況

私は寮で生活をしており、寮には日本人フランス人のほかにもアメリカ人、中国人など様々な国籍の人がいます。平日は夜ご飯が出るので一緒に食べながら話をしたりテレビの部屋で話をすることができます。またクリスマスパーティーなどのイベントもたまにあるので、いろいろな人と仲良くなることができます。部屋には、トイレ、シャワーがついており、大きい机や棚もついているので生活には困らないと思います。**Wi-fi** はありますが、部屋によっては接続が悪いです。学校までは、寮から徒歩 20 分程です。冒頭にも記述しましたが、平日は朝ごはんと夜ご飯が準備されるので、あまりご飯には困らないと思います。休日は共同キッチンで料理をしています。アンジェは大きな街ではないですが、生活に必要なものは十分に揃えることができます。休日はマルシェなどに足を運んでいます。

留学種別	TESS II
留学先大学	エクスマルセイユ大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

La langue française

文法の復習

20人ぐらい ほぼヨーロッパ人

週に90分2コマ

traduction Japonais-Français

小説「神々の乱心」の翻訳

40人ぐらい 半分フランス人、半分日本人

週1 90分

histoire de l'Islam

イスラム帝国の誕生、イスラム教の拡散など

50人ぐらい 留学生は自分だけ

週1 180分

texte fondateur (islam)

コーラン学 イスラム教の聖書の誕生など

40人ぐらい 留学生は自分だけ

週1 150分

II. 生活状況

学生寮

大学まで徒歩10分

ほぼ自炊で野菜はマルシェで購入、肉などはスーパー

食費は月2万円ぐらい

休日は近くの街へ遊びに行ったり、友達とクレープを作ったりしている。

留学種別	TESS II
留学先大学	グルノーブルアルプ大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

留学先大学では学部開講科目を履修することになっており、主に言語学についての授業を履修しました。授業の内容は専門的な内容のため、大変難しい授業でした。また、学部開講なので、現地の学生と授業を受ける必要があり、周りの理解力の高さに驚く場面が多く、刺激的な授業でした。私は5つの授業を履修しました。統語論の授業では、教員が作成した教材を使用しました。講義形式の授業でしたが、発言する機会が多く、予習、復習をしていかなければついていくのが大変だったと思います。主にフランス語の文章にある各品詞を分析し、それらの文の中での役割（どの部分を修飾しているか、イディオムの成り立ちなど）を明確にしていくなど、文法に焦点を当てた授業でした。わからないところがあると、同じ授業を履修している現地の学生や教員に質問するなどの積極性が必要でした。質問があれば、快く教えていただけるので、発言力が非常に重要だと思いました。他にも地域言語学（フランスにある方言についての授業）や言語学概論（音声や言語の伝達法など幅広い内容）を履修しました。これらの授業は教員との距離が遠く、教員がひたすら開設をしていく形式であったので、すべて理解することが大変難しく録音することも許可されていなかったため、復習を十分にすることができませんでした。この大学に留学するには B2 レベルのフランス力が必要だと感じました。また、留学生向けの授業を2つ履修しました。1つ目は、**Initiation aux méthodes d'analyse littéraire**（文学解析法入門）という授業で、フランスの文学作品を取り上げ、その中で使用されている表現方法や著者の読者に対して求めている解釈について学習しました。留学生向けの授業でしたが、非常に難解な文が多く、この授業で読解力が向上したと思います。2つ目に、**Textes et Images**（文章と絵）という授業で、主にフランスの漫画のコマやせりふ、宗教画に付随している解説文を理解する授業でした。こちらはほかの授業と比べて易しい内容だったので、気楽に授業を受けることができました。そして、この大学では履修登録の前に1週間のフランス語の集中授業が留学生にはあるのでそれも履修しました。出願手続きを済ませた後に、ウェブテストがあり、その結果に応じてクラス分けされました。私は B1 のクラスに振り分けられましたが、すでに名古屋外国語大学の授業で習ったことを学習していたので、良い復習になりました。様々な国籍の人と同じ授業を受けるので、のびのびとした雰囲気を楽しかったです。

II. 生活状況

学生寮は、大学までトラムで 20 分程と少し遠いところではありましたが、旧市街まで歩いて 10 分ほどで生活に不便さを感じることはありませんでした。ワンルームタイプを選択しましたが、電子レンジや洗濯機がないので注意が必要です。大学の敷地内にある寮はほとんどの場合っていると友人から聞きました。寮の受付が信号を渡ったところの建物内にあり、24 時間対応なので何かあればすぐに相談しに行くことができます。トラムに関しては、一か月の定期券が 15 ユーロで買えるので、必需品だと思います。食事に関しては、基本自炊をしていました。食材は近くのスーパーでほぼ日本と変わらない値段で購入することができます。旧市街に行くと電気屋さんや衣料品店が立ち並んでいるので、生活用品についても不自由することはないと思います。しかし、娯楽施設がほとんどないのでお休みの日は、友人と買い物に出かけたり、お酒を飲んだりして過ごしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジャンムランリヨン第3大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

リヨン第3大学は、留学生用の科目 **FLE・Culture Française** は必須授業で、他は自由に授業を履修できます。私は日本語学科の授業を履修しました。授業は少人数制の **TD** と大人数の **CM** の授業があります。私は日本語学科の **version・thème・presse et medias・approfondissement langue, littérature et culture・approfondissement méthodologie et compétences en langue・littérature moderne** と英語を履修しました。主に3年生の授業をとりました。履修登録は早い者勝ちなので早めの履修をお勧めします。**TD** の授業はメールで留学生担当の人にメールを書き、授業の変更などはアジア圏留学生担当者のオフィスに行き頼まないといけないので面倒です。授業は日本語学科の授業なので日本人の先生や日本人留学生に理解のある方がほとんどなので、ついていけないということはあまりないです。日本語学科の生徒の人もみんな優しいので、友達も作りやすく一緒に勉強できる環境です。私は留学生向けの授業の方が難しかったです。文法は日本にいるときからしっかり復習しておけばと後悔しました。接続法や関係代名詞を特にやっておけばと思いました。**Culture Française** は1時間の授業なのに先生が話切れずに毎回延長します。1年生の時のフランスの歴史も復習していくと少し役に立つと思います。

II. 生活状況

STUDIOS LUMIERE に住んでいます。家賃は€600 くらいです。大学まで徒歩5分くらいです。大家さんはあまり優しくありません。入寮の日の手続き時フランス語ができず馬鹿にされました。これもいい経験です。大学から近い寮もたくさんあるので他の寮を選んでもいいかもしれません。大学からの家賃支給額より高いので **La CAF** に申請しますがサイトでやりましたがうまくいかないで直接アポイントメントをとって行く方がいいと思います。留学生の友達についてきてもらいました。スタッフの人は優しかったので、一人で行っても心配ないと思います。**La CAF** に書類全部無くされたので何かあった時のために早めに手続きをすることをお勧めします。買い物は近場に **Carrefour** や **Casino** があるので困りません。トラムに乗って2駅で **La Part Dieu** というショッピングセンターもあるのでそこで何でも買えます。休日は友達と遊んだり、**Parc de la Tête d'Or** という大きい公園にいったのんびりしたりします。友達の家で一緒にご飯を食べたり、自分の家で日本食を作って食べたりしています。もちろん宿題をやったりもしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジャンムランリヨン第3大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

週に一度 **culture** の授業と、**FLE**(留学生用のフランス語)の授業が必須で、それ以外は自由に選択できます。**culture** は大講義、**FLE** はクラス分けされています。今のクラスは大体 15 人弱で、フランス語の文法を勉強しています。**FLE** では一学期に一度プレゼンがあります。担当の先生によって方法や内容はそれぞれですが、私のクラスの場合はテーマを自分で決めて、それについて 7 分間プレゼンをすることになっています。クラスの国籍は様々です。

選択の授業では主に日本語学科の授業を選択しています。前期は何を選択するか悩んでいたところ、取りたかった授業の定員が埋まってしまうということがありました。**japonais littérature** や **japonais approfondissement** などの大講義の文化や文学の授業を選択しましたが、内容が複雑で授業が全てフランス語なのでついていくのが大変でした。自分のレベルに合っていなかったと思います。ですが、そのほかに、**japonais grammaire** の 3 年生の講義と、**japonais langue et société** の授業を選択していました。こちらは日本語とフランス語を混ぜながらの授業で、学生とグループワークで進めていく形式だったので、選択してよかったと思いました。

今期は 2 年生と 3 年生の **japonais version** と **thème** を選択することができました。その他には英語の文法の授業や **japonais géographie économique** という講義も履修予定です。

II. 生活状況

寮は大学のすぐ側にあるので通学に便利です。部屋にキッチンとバスタブ付きのバスルームがあるので、設備で困っている事は特にありません。

食事は基本的に自炊で、近くにスーパーが沢山あるので歩いて行きます。大体週に 1、2 回くらいの頻度で買い物に行っています。休日や授業後は寮の友達と一緒に食事を作ったり、フランス人の友達の家に招待してもらったり、買い物に行ったりしています。家で過ごす事も多いです。

留学種別	認定
留学先大学	ストラスブール大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業内容は会話、文法が主です。クラス人数は20人程で国籍は私のクラスはトルコ人が多かったですが、シリア人やガーナ人、アメリカ人、韓国人、台湾人、ベトナム人、マレーシア人、イラン人、日本人も3人ほどいます。

一週間の時間割は

月曜日 3時間

火曜日 3時間

水曜日 4時間

木曜日 5時間

金曜日 2時間

使用教科書はTOTEM というもので、CD付きで自宅学習も出来ました。授業形式は講義形式です。B!以上からは選択授業を2つ取ることができます。また週に1回会話の授業があります。少人数制で先生がテーマをあげてそれについて話し合い、発表するという授業です。大学の学習環境としては教室は授業以外では施錠されるため使うことができませんが、ストラスブールには学生証で入れる大きな図書館があります。インターネットも完備されていて学生の勉強場所としてはとても良い環境です。入館の前にセキュリティチェックがあるため安心して使用できます。日曜日はどこもお店が閉まっているせいか、開館前に学生が列を作って並んでいます。

II. 生活状況

私はLOKAVIZというサイトで住居を見つけました。日本にいるときに見つけたので日本からデポジットの送金をしたりしました。4人でアパートをシェアする形で入居しました。初めてのシェアハウスでした。ルームメイトは皆学生でチェコ人、ハイチ人、フランス人です。キッチンとバスルーム、トイレは共同です。そのため共同の部分は掃除当番を週ごとに決めてます。キッチンを使う時はみんなと時間が被らないように時間をずらしたりして使い、食器や調理器具は全部備え付けであったので自分で買い足す必要は全くなかったです。一度排水が詰まって業者を呼んだことがあります。フランスの水はカリキが入っているため詰まりやすいのだとか...通学方法は私のアパートは学校から近くて徒歩10弱でした。比較的朝早い授業がありましたが家が近かったので余裕が持てました。食事は基本全て自炊です。フランスはスーパーに行くと、え！野菜こんなに安いのか！？果物安すぎる！となりますが、外食になるとこんなにも高くなるのかというほど高いです。ストラスブールはドイツにトラム一本で行けるため、週末はドイツに買い出しに行くことが多かったです。食料品ももちろんやすいのですが、洗剤など日用品がフランスの6割程度で買えます。ドイツが物価の安い国なんて知らなかったです。このおかげで生活費を抑えることができます。

休日は蚤の市に行ったり、カフェに行ったり...日曜日はお店が閉まっているので家でゆっくり過ごすことがほとんどです。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	トゥールーズカトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

クラスは入学時に実施されたテストで振り分けられているので自分のレベルに合ったクラスで授業を受けられています。また、学校自体が大きいということもありますが、私のクラスは 10 人ほどの少人数です。クラスメイトの国籍は様々で、アジア人やスペイン語圏、英語圏、中東からの学生もいます。授業では、外大での授業とは比べ物にならないほど話すことを求められます。黙って問題を解くといった授業はあまりありません。自ら発言することが重要視されるので慣れるまでは困惑しましたが、クラスが少人数なのですぐに順応できたと思います。内容は、文法やリスニング、ライティングはもちろん、その中でフランス語特有の表現や文化的なことについても触れるので、初めて知ることが毎日のようにあります。クラスも多国籍なので、文化を比較する機会も多くあります。授業は平日の午前中のみで、テストは毎月末に実施されます。ひと月毎のテストなので範囲も広すぎず、私はとてもやりやすいと感じています。先生もとても親身になって指導してくださり、分からないことや相談も優しく聞いてくれます。先生との距離の近さも少人数制ならではのメリットだと思います。

II. 生活状況

私は民間の学生寮に住んでいて、寮から大学までは徒歩 5 分ほどです。寮には日中、管理人か事務の方がいるので様々なことにすぐに対応してくれます。CAF の申請をしてくれる方もいるので、とても楽に申請を進めることができました。私の部屋にはシャワーとトイレが付いていて、キッチンも共用です。また私の部屋の位置もあると思いますが、かなり廊下や共有スペースからの声が聞こえます。夕食は寮の食堂で平日のみ食べられますが、大学の学食の量が多いので夕食をとらない日も多々あります。学食は毎日違ったメニューで、変わったものもたまにありますが、5 ユーロ以下で美味しくたくさん食べられるのでほぼ毎日利用しています。休日は、日本人の友人やクラスメイトと買い物に出かけたり、外食をすることが多いです。寮から中心街までは歩いて行けるので授業終わりの午後にはクラスメイトとカフェに行ったりもします。2 週間ほどの長期休みが定期的にあるので、その時には他の地域や国に旅行に行ったりもしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	トゥールーズジャンジョレス大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業は週 4 日、1 日約 2 コマで、ほとんど午前だけです。学年が 3 グループに分けられて、1 グループ 30 人くらいです。同じグループでも半数で受ける授業もあります。様々な国籍の人がいますが、スペイン語圏の人と日本人が多い様に感じます。担当の先生によって使う冊子はグループごとに違うこともありますが、教科書はなくプリントが配布されます。授業は文法、会話、フランス語作文やトゥールーズとフランスの文化的背景の授業があります。英語、体育系、音楽系や日本語学科の授業も先生との交渉で受けることができます。学内は広く、図書館が 2 つあります。日本と違い各教室は専用の鍵がないと外からは開けられなくなっているため、先生以外はほとんど空き教室で自習をすることはできません。なので、私は図書館をよく利用しています。日本の本や漫画、DVD などが置いてあるのでお勧めです。

II. 生活状況

まず、日本にいる段階で申請していた寮から何故か入居を断られたため私は滞在先を自分で探していました。それでも決まらず、約 1 ヶ月間ホテル暮らしでした。宿舎探しと学校の手続きや授業、慣れない場所での生活が続きました。最終的に私はシェアハウスで暮らしています。今のメンバーは nufs から一緒に来た友達とスペイン人とイギリス人とフランス人と私を含めて 5 人です。基本フランス語を使って話します。私はたまたま、いいメンバーに恵まれたので毎日楽しく過ごしています。食事は自炊することもあります。外食したり友達と食べることもあります。日曜日は飲食店以外のお店はほとんど閉まるので、掃除や洗濯をすることが多いです。トゥールーズは、大きな街の方なので困ることはほとんどないですが、日常的にデモやストライキがあるため慣れるまでは大変でした。

留学種別	TESS II
留学先大学	トゥールーズジャンジョレス大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

コースは全てフランス語で行われ、科目は **Grammaire, compréhension orale et écrite, Expression orale et écrite, Phonétique, civilisation** を受講しています。私は、語学授業しか受講していませんが、自分の語学力に合わせた授業を希望すれば正規の授業も受けることができます。これは担当の先生との相談が必要です。

クラスの人気は、1 クラス 40 人程度です。クラスメイトは、イギリス、台湾、ジョージア、シリア、マレーシア、ベトナム、コソボ、ロシア、コロンビア、エクアドル、アメリカ等様々な国から来ています。スペイン語圏の留学生が多いです。

授業は基本 40 人で行われ、その中でも 2 つに分かれる授業もあります。1 コマ 2 時間で 8:30 から授業が始まります。

教科書は使用しておらず、適宜プリントが配られたり、冊子で授業をしています。

授業形式は、日本とあまり変わりはありません。

大学内には大きな図書館がありそこで勉強をすることができます。また、日本語学科の留学生とも交流を持つことができます。交流関係では、自分が勉強したい言語の話者の学生と交流する機会もあるようです。

II. 生活状況

宿舎は、到着後もなかなか決まらず、1 ヶ月間は仮のアパートに暮らしていました。現在は、**lokaviz** というフランス政府公認の施設から部屋を借りれるサイトからアパートを見つけました。到着後は、携帯の SIM の契約をしました。わたしは、家が確定していなかったため、すぐに OFFI や CAF の申請、RIB の作成ができませんでした。

その後、OFFI、CAF の申請、銀行口座を作り、**sécurité sociale** の申請も行いました。**toulouse baddy system** を使用していたので、私の **Baddy** に全ての申請を手伝ってもらいました。

通学方法は、家から 40 分メトロを乗り継いで通っています。学生証を作成後、**Tisséo** というトゥールーズの交通機関で 1 年間 100€ の定期券を作りました。

食事は、自分で作っています。野菜がとても安いので買いだめして作っています。また、日本食料理やレストランに行きます。

休日は、友達のところへ訪ねたり、クラスメイトとパーティーをしています。トゥールーズは歴史のある都市へのアクセスがとてもよく、カルカソンヌやアルビの村へ訪れました。

留学種別	TESS II
留学先大学	トゥールーズジャンジョレス大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

文法、仏作、リスニング会話表現、発音、トゥールーズの文化的背景などの授業を受けています。クラスの人数は約40人で、仏作、会話表現、発音の授業は、さらにクラスを半分に分けられます。

国籍は様々で、日本人は5人でした。教科書はなく、テキストが配布されます。

図書館は2種類あり、全学科の学生が使う図書館と、語学を学ぶ人のための図書館があり、勉強しやすい環境です。図書館にある会議室を予約してグループで教えあいながら勉強できます。しかし、ストライキがよくおこり大学が封鎖されたり、突然1週間休みになったりしました。過去にもストライキが原因で、学生が数ヶ月間授業を受けることができなくなったことがあったようで、現地の学生も常に危惧していました。

II. 生活状況

例年通りであれば、学生寮に入る予定でしたが、この年だけ入居を断られてしまい、出発前になっても見つからなかったため、1か月間ホテルで滞在しながら、家探しをすることになりました。トゥールーズに到着してすぐに、家探しをするのは、土地勘もなく、頼れる知り合いもいなかったため、とても苦労しました。トゥールーズは、大学が多く学生の街といわれているため住む場所がなかなか見つからない学生もいるそうです。

しかし、いい大家さんに巡り合うことができ、シェアハウスに住むことになりました。

現在は、フランス人、スペイン人、イギリス人、NUFS から一緒にきた友達の計5人と住んでいます。その家では基本的にフランス語を使っています。仲もよく、楽しく生活できています。土曜日は、買い物をしたり、友達と過ごしたりします。しかし中心街は、ほぼ毎週土曜日にデモがあるため、行かないようにしています。金曜日と土曜日は夜中の3時まで地下鉄が動いています。一方で、平日は8時半に止まる日もあります。日曜日は基本的にお店が閉まっています。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	トゥールーズジャンジョレス大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・コース内容について

自分が履修する科目は基本的に初めてのテストでレベル分けがされ、そのレベルにあったもので基本的に決まっている科目（文法、内容理解、発音、会話、文化、など）を受ける。それに加えて、自分が受けたい学科科目も受ける事は出来るが基本的に難しくついていくのが大変だと思ったため、私は取らなかった。また、英語についてはテストを受け B1 以上無いと学科科目には無いため、DEFL という留学生を助けてくれる先生に掛け合い院生と一緒に授業を受けることができた。しかし、内容は難しい為ついていくため自分自身でも勉強しなければ成らない事が多かった。

・クラス人数、国籍

私のクラスは 30 から 40 人ぐらいで構成されており、日本人は大体 10 人ぐらいいる為少し多く感じた。しかし、同じレベルのクラスでも日本人が少ない所では 5 人ぐらいのところもあった為、運なのかなと感じた。国籍は様々で会話をするとその国の訛りがある為初めの方はなかなか聞き取れない事が多かった。

・一週間の時間割、使用教科書

金曜は全休で基本的には 8 時 30 分に始まり 16 時までには終わっていた。週に 8 コマ 16 時間でした。

基本的にどの科目でも先生からプリントが配られたり、インターネット上にアップされるのを印刷する感じであった。

・授業形式

名古屋外国語大学と変わらないような授業形式で、先生が当てるもしくは答えたい人が答えるような感じでした。

・大学の学習環境、自習室、教室の設備

大学には二ヶ所図書館があり自習スペースはかなりあるように感じられた。また、タンデムというシステムがありそれを利用する事により、日本語を勉強している学生と知り合う事ができる為、学生同士が知り合いになる事ができ、お互いに教えあったりする事により、自国の言語の理解を深める事と共にフランス語の向上もでき凄い良いシステムであると思いました。

また、日本語やフランス語などのランゲージラウンジのようなものもありそこで知り合う事も出来たり、会話に慣れる事も出来ると思いました。また、大学系列の量の方に行くと、日本語学科の学生が勉強している事もあるのでそこでお互い教え合う事も出来とても良い環境だと思いました。

II. 生活状況

・宿舎の設備、環境

初めて一人暮らしで日本との比較はあまり出来ませんが、基本的に受付には人がおり週末にいる方は特に気さくな方な為、学校が無い日でもフランス語を話すことが出来る為良いと思いました。また、寮には様々な国籍や年齢の人がいるため色々な文化や考えを学ぶ事が出来ると思いました。また、ほぼ毎日イベントをやっているので参加する事により、より関係を築く事が出来るのでなるべく参加するようにしています。また、日本に興味を持っている人も多くいるので日本文化やアニメなど知っているとより会話が盛り上がるので楽しく上達する事が出来ると思います。

- ・通学方法

歩いて5分ぐらいの所にある地下鉄の駅から乗車し15分弱ぐらい乗って行っています。朝は混んでいる事が多いので早めに出ないといけません。

- ・食事や買い物

食事は平日の朝・夜は寮で出る為基本的にそれを食べています。メニューは日替わりですが野菜、パスタ、米、フライドポテト、肉もしくは魚（選ぶ事ができる）があり、その中から自分の食べたいものをシェフに言うという感じです。それに加え、前菜とデザートもとる事が出来ます。休日は基本的に自炊になるので共同キッチンを使用しています。平日のお昼ご飯は学食で食べるかもしくは何かを持って行ったりしています。

買い物は寮から10分から15分ぐらい歩くと中心部にたどり着くので、簡単に買い物する事が出来ます。また、近くにマルシェがあるので午前中に行ける時は行ったりする事により、店主と話すことがきたり野菜の名前が早く覚えられると思いました。

- ・休日の過ごし方

土曜は基本的に趣味であるバレエに行きその後、ソワレに参加する事が多いです。なるべく部屋に一日中居ないように心掛け、少しでも外出しようとしています。日曜日は、映画館に行ったり日本語学科の学生と復讐をしたりなどをして充実した休日が過ごせています。たまに、休日に旅行をしたりもしますが、基本的に疲れが溜まり授業に支障が出ないように心がけながら、予定を組むようにしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	パリ第4大学（ソルボンヌ）フランス文明コース
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

言語の授業として文法と音声の授業の2つ、そして文明講座の授業を3つ受けました。

文法の授業は毎日2時間あり、クラス人数は30人弱ほどです。使用教材は「Les 500 Exercices de Grammaire B1」のみです。それ以外にも、プリントが毎授業で配布されました。前期クラス内に日本人は私だけで、韓国人や中国人などもありましたが一番多いのはフランス周辺のヨーロッパ国籍の方でした。他にもアメリカ人やロシア人なども少数いて、多様な国籍の方が集まっています。授業内容は既習の内容が半分くらいでしたが、テストが多く追いつくのが大変でした。また、授業開始時間が8時からと朝早く、フランスは日が昇るのが遅いので8時でもまだ外は暗いままでした。そのことが原因で朝起きるのにとっても苦労しました。

音声の授業は隔週で毎日1時間あり、クラス人数は15人ほどです。使用教材はなく、プリントなども配られません。先生が黒板に書くアクセントの記号などをメモしていきました。文法の授業とは違い、母国語の特徴に従ってアクセントを矯正する授業なので東アジアの方が多く、日本、韓国、中国の方がいました。ブラジル、シンガポール人も1人ずついました。例文に従ってアクセントの特徴を教わった後に、レコーディング室に移り一人一人の発音を録音します。それを先生が矯正してくれます。

文明講座の授業は、政治、芸術、地理、歴史など多様なジャンルがあり興味のある授業を自由に履修することができます。人数は授業にもよりますが30～70人ほどで使用教室も100人ほど入る大きな教室を使用していました。教科書は買う必要はなく毎授業プリントが配られました。

II. 生活状況

住居は学校まで1本で行ける駅の近くにあり、治安のいい地域でもあるので立地はとても良いです。大家さんが働いているオフィスの隣の部屋を貸していただいているので日中は少し声が聞こえますが、夜はとても静かです。部屋に入るまでに3つドアを通る必要があり、どれも鍵付きなのでセキュリティも万全です。生活に必要な家具、食器、家電は全て揃っており、すぐに生活を始めることができました。電子レンジや洗濯機なども備わっていたのでとても便利です。トイレ、シャワーは部屋を出て廊下を挟んだところに位置しており、日中トイレはオフィスの方と共同ですが、シャワーは専用で使わせていただいています。通学はメトロ6番線に乗り、最寄駅の **Bir-Hakeim** 駅から **Raspail** 駅まで1本で乗車時間は10分ほどです。通学時間としては合計で20分弱です。パリ全域、郊外の電車全て有効の定期があるので便利です。近くにスーパーマーケットが何件もあり、週に1、2回買い物をしています。基本的にはパスタを主食にしています。フランスは野菜や果物が安いのでまとめ買いをしています。

休日は晴れであれば美術館巡りや、遺産を見に行きます。学生証やビザを見せればほとんど無料で入ることができます。

他には **Chatelet** 駅まで行きショッピングをすることもあります。休日は部屋の隣のオフィスも休みなので静かで、勉強にも集中できます。

留学種別	TESS II
留学先大学	パリ第7大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私が通っているパリ第七大学は総合大学であらゆる学部があり、留学生は基本的には全ての学部の授業が選択できます（日本人は日本語学科の授業はとれません）。私は主に文学・芸術・映画の学部の授業から文学の授業をとっています。基本的には2~30人程度の授業体制で、教授が概要を話して、レジュメを作る授業もあれば、淡々とノートをとっていくものもあります。パリ第七代学では語学コースというものはないので、正規の学生たちと授業を受けています。エラスムス（ヨーロッパ圏の留学生）はかなり多い印象で、アジア人学生と授業がかぶることはほとんどありません。基本的にはフランス人の正規学生が9割を占めています。教科書は使わない授業の方が多く、必要であればテキストが配布される形になっています。一週間の時間割は、私は授業が固まっているので、朝から夕方まで授業がある日もあれば、一日中休みの日もあります。それは授業を登録するタイミングで自分である程度決められるので融通が効きます。大学には校舎がいくつかあって学部ごとに異なった校舎を使います。図書館もかなり大きく、私含め多くの学生が図書館で長時間勉強しています。また、日本と違って、ノートパソコンで授業を受ける人の数が多いので、使用者としては非常に助かります。

II. 生活状況

宿舎については **CROUS** という学生寮に住んでおり、基本的には不自由なく生活できています。キッチン、バス、トイレ、ネットワーク環境（ルーターはない）、暖房、クローゼット、机、ベッドはあります。換気扇が機能しているのかわからないことと、ルーターがなくモデムと **PC** を有線で接続している状況以外は特に不自由はありません。若干大学から遠いですが、パリは鉄道が発達しているので、一本乗り換えで **30~45** 分程度で着きます。ストライキ中に大学に行く手段が壊滅的なのが辛いです。食事は毎日自炊をしており、必要なものはスーパー (**Franprix, Monoprix**) があるので揃いますし、オペラ地区に行けば日本の食材などもあり、またパリにはユニクロも無印もあるので、少し高いですが日本のものも買い揃えられます。休日は基本的に家で授業の予習・復習に追われており、あまり外出はしませんが、パリには美術館が多くあるのでたまに美術館に行きます。また学生証さえあれば長期留学生は無料で入れる施設がほとんどなので、非常に便利です。

留学種別	TESS II
留学先大学	ボルドーモンテーニュ大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業内容は文法、長文読解、リスニング、フランスの地理、同じクラスメイトの文化理解
クラス人数は 20 人くらい（日本、中国、台湾、韓国、ベトナム、ウクライナ、ガーナ、トルコ）
月曜、火曜は午前、水曜は 16 時から、金曜は朝から 15 時まで
使用教科書は主に先生がプリントでくれる。文法は教科書を購入した。
授業形式は少人数クラスで、いつも同じメンバー

II. 生活状況

部屋に対しては、9 m²とは聞いていたが、過去の先輩にも、少し狭いけど、心配はしなくてもいいと思う。と聞いていたので、そこまで何も考えずに部屋を見たら、これが 9 m²かと実感した。部屋には、ベッド、机、クローゼット、トイレとシャワー（同じ空間）、冷蔵庫だった。何よりも驚いたことが、お皿を洗う場所がなく、洗面台で食器も洗わなければいけないことだった。私事ですが、名古屋で一人暮らしをしていたので、フランスで一人暮らしも同じようなものだと思っていましたが、明らかに生活基準が違いすぎて、最初の 3 週間ほど、本気で引っ越しを考えて、フランスにおられる日本人の方で、アパートなどの契約を手伝ってくださる方がおられたので、一度連絡しました。大げさに聞こえるかもしれませんが、私にとって住む部屋、生活基準がどれほど大切なかがわかりました。部屋には、一つ IH のようなコンロがありますが、9 m²の部屋で一人で料理をし、ご飯を食べるのは気がめいりそうなので、nufs のみんなでご飯を一緒に食べています。

今住んでいる部屋は、本当にビジネスホテルのようです。スーツケースを広げるのでさえギリギリです。

買い物はトラムで 10 分ぐらいのスーパーに行っている。
休日はゆっくりしたり、旅行や、友達と町で遊んでいる。

留学種別	TESS II
留学先大学	ボルドーモンテーニュ大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

クラスは20人で、国籍は日本、中国、台湾、韓国、ベトナム、トルコ、ガーナ、コロンビア、スペイン、アメリカなどです。学生もいれば、働きながら学校に通っている人もいます。学期が始まる前のインターネットで行われるテストの成績によってクラス分けされるみたいです。1週間授業を受けてみて合わなければ、先生に相談してクラスを変更することもできます。

授業では文法の教科書を使ったり、先生の印刷したプリントを使っていました。文法の教科書は先生から本屋で各自購入するように指示がありました。私のクラスは時間割が決められていて、月曜日が全休、1コマ1時間から2時間の授業が1日に3,4コマありました。講義形式ですが、プレゼンの課題があったり、グループワークもありました。大学の中にある小さい建物がフランス語を勉強している人用になっていて、すべての授業がその中で行われています。自習室は無いですが、隣に大学の図書館があります。

II. 生活状況

village3 の B 棟の 9 m²の部屋に住んでいます。部屋にはベッド、机、椅子、小さい棚、シャワー、トイレ、洗面台、クローゼット、冷蔵庫、IH みたいなものがあります。リノベーションされたのできれいですが、実際に住むとかなり狭さを感じます。

部屋のキッチン小さくて、IH が1つ、流し台がないので洗面台で洗い物をしないとイケないのですこし不便です。

食事は学校の食堂でとったり、A 棟の共同キッチンで友人と自炊しています。野菜などもまとめて買ったほうが安いのでシェアしています。A 棟は B 棟とつながっていて、各部屋にキッチンが無い代わりに各階に共同キッチンがあります。共同キッチンには4つのIHと流し台が2つあります。

village3 は学校のすぐ横にあるので、徒歩5分くらいで学校にいけます。トラムとバスの駅も目の前にあります。しかし周りにはスーパーマーケットなどのお店があまりないので買い物に行くにはトラムかバスで出かけます。街の中心に行くにはトラムで20分くらいかかります。ボルドーの交通機関に乗るときは、1回券、10回券などを買って乗るのですが、出かけるときには必ず利用するので、1年の定期券を購入しました。

休日は、部屋でゆっくりしたり、宿題をしたり、友人やいろいろな国籍のクラスメイトと街へ出かけたりして過ごしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ボルドーモンテーニュ大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

私はボルドー・モンテーニュ大学内の DEFLE で外国人留学生向けの授業を受けています。留学前に受けるネット上のテストでクラス分けされ、私は DUEF3 にいます。使用している教科書から察するに、B1 あたりのようです。

文法・綴り・語彙の授業（週 1 時間 30 分×1+2 時間×1=3 時間 30 分）では、文字通り文法や動詞の活用などを学びました。時制やその他の文法用語も全てフランス語ですので、個人的にそれらを覚えるのにとっても苦勞しています。文章理解の授業（週 1 時間 30 分×1）では新聞など紙の資料の読み取り、口語理解（週 1 時間 30 分×1）の授業ではニュースやインタビューなどの聞き取りや書き取り、筆記の授業（週 1 時間 30 分×1）では出されたお題に沿った作文をしました。音声・綴り（週 1 時間×1）と音声学（週 1 時間×1）の授業では発音方法や、その規則性、発音記号などを学びました。口語・会話の授業（週 1 時間 30 分×1）ではプレゼンテーションや 2, 3 人のグループでの議論をしました。文化の授業（週 1 時間 30 分）では、ボルドーについて学んだ後身近な観光地についてのグループビデオ撮影をしたり、選挙の仕組みや学校の仕組みについて学びました。

これらに加えて 1 時間 30 分の選択科目を 2 種取ることができたので、私はフランス文学入門の授業とフランスのシャンソンの授業を取りました。前者は有名な仏文学の 1 ページを切り取り、読んで、どのような表現方法があるかなどを知る機会にはなりましたが、何百ページ中のほんの一部であるために知らない話が出てくると内容がよく分からないということもありました（用いられる文学は週替わりでしたので）。後者は歌うというより有名な歌手の経歴の読み取りや歌の聞き取りと書き取りをする授業でした。この他に、歴史、建築、演劇、フランス語圏の文化や文学が選択科目としてあげられていました。

前期の週の授業時間の合計は、17 時間でした。全ての授業において、中間と期末テストがありました。筆記形式のものやプレゼンテーション、ビデオなど形式は授業によって異なりました。教科書は文法・綴り・語彙の授業のみで必要とされたので、指示のあった問題集と動詞活用一覧と動詞活用練習用の本の計 3 冊を購入しました。

クラスメンバーは常にほとんど同じで、20 人ほど。同世代の学生さんから社会人の人や子持ちのママさんまで年齢層は日本ではあまりみられないほど広いです。国籍は、中国、台湾、韓国、ベトナム、シリア、イラン、トルコ、アルバニア、オーストラリア、スペイン、ガーナ、アメリカ、ウクライナ、ロシア、コロンビア等々皆さん色々な所から来ているようです。

大学敷地内に DEFLE 用の施設があるので、主にその施設内で授業が行われます。微弱ですが WIFI 設備があります。

II. 生活状況

私は大学側から提案された CROUS 管轄下の Village3 の B 棟の 9 m²の部屋に住んでいます。家賃は月 248€です。

寝具はシーツや毛布代わりにブランケット、まくらや冬用の掛け布団を自己負担で買いました。貸出等は私の知る限りありません。

冷凍庫を内臓した小さな冷蔵庫が玄関を開けてすぐのところとあり、ダイヤル式の IH らしきものが 1 台冷蔵庫の上についています。ただこの IH、水を沸騰させることができない火力です。他の部屋の火力を知らないので絶対とは言えませんが、あまりこの IH に期待しないほうがいいかもしれません。私は個人で電気ポット(約 10€)を購入しました。

他にはクローゼット兼棚が1つあり、トイレとシャワーと洗面台が小さな1スペースに収められています。

これら全てが9㎡に収められており、スーツケースを広げるのにも一苦労という感じだったので、正直生活水準を満たしているかといわれると私は「はい」とは言えません。

料理をする時は同じ形式の部屋に住んでいるNUFSの友人2人と隣のA棟の共同キッチンへ行っています。こちらの火力はとても頼りになりますし、A棟に住んでいる色々な国籍の人と関わる機会にもなっています。ただし、綺麗に使われていないとCROUSが判断した場合は一時的に閉鎖されることもあるので、その時は違う階の共同キッチンを使用するか、外食に切り替えるようにしています。料理用の材料や調味料は3人でシェアしています。

洗濯機は私が住んでいる寮に設置されていないので、徒歩3分先のランドリールームがある寮へ行って洗濯しています。支払いは学生証に組み込まれているIzlyという支払い方法しか利用できないので、学生証を取得するまではスーパーの近くのコインランドリーに行っていました。ちなみにIzlyというのは、WAONのような、自分でお金をチャージして支払う仕組みです。これがNUFSの学生証のようにこちらの学生証にも組み込まれています。

学校までは徒歩10分程で着きます。

ボルドーにはトラムとバスとレンタルサイクルといった交通手段があります。寮から町の中心まではトラムで約20分ほどかかります。トラム兼バスのチケットが各トラム停留所で買えます。10回券でやりくりしている人もいますが、私は1年分の定期のようなカードを購入して使っています。ボルドー・サン・ジャン駅からパリ・モンパルナス駅まではTGVで約2時間、メリニャック空港からは国内線はもちろん国際線の飛行機も飛んでいます。

夏は天気良かったのですが、冬に向かうにつれて雨風共に強い日が増え、風が冷たく傘をさすのも難しい日もあります。私はインドアということもあり、休日は部屋でゆっくりしたり宿題に追われたりしています。晴れた日は外でお昼ご飯を食べたり、1キロ以上続くサン・カトリーヌ通りをカヌレを食べながら散歩したりします。

最後に、くどいようですが現在私が住んでいる寮は9㎡です。後から聞いた話ですが、フランスでは最低9㎡ないと部屋として認めてもらえないそうです。住宅補助が受けられる最低面積でもあります。多方面に留学した生徒さん達は、私の知る限り2桁はある広さに住んでいるのではないのでしょうか。家賃にあてる補助金の改定をすれば、もっとより良い寮の選択と暮らしが手に入ると思います。今までの先輩方は何不自由なくこの寮で過ごされていたようですが、国際交流部の方も寮が決まったという報告をした時「小さいですね」とおっしゃっていたようですし、早く対策をとっていただきたいです。

留学種別	認定
留学先大学	ボルドーモンテーニュ大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

- 口頭表現、文章読解、文章作成、文法、フランス文化、地理
- クラス 18 人（韓国 5 人、コロンビア 3 人、ベトナム 3 人、ガーナ 2 人、日本 2 人、ボリビア 1 人、モンゴル 1 人、台湾 1 人）
- 月曜日 5 時間、火曜日 3 時間半、水曜日全休、木曜日 3 時間半、金曜日 4 時間
- 「Les 500 exercices de grammaire」
- ゼミ形式、少人数クラス
- 授業はホワイトボード、スクリーンを使って行われる。

II. 生活状況

- 宿舎にはキッチン、バスタブ、ダブルベッド、テーブルがあり過ごしやすい。
- 宿舎から最寄りのトラムの駅までは徒歩 1 分。そこから大学まで約 10 分。ボルドー市街までも約 10 分で行くことができる。
- トラムから 1 駅乗ったところにスーパーがあり週に 1 度ほど食料を買い自炊している。宿舎から徒歩圏内に郵便局やコピー屋、パン屋、マルシェなどがある。
- 買い物、日本語ボランティア、フランス人の友達と過ごす。

留学種別	認定
留学先大学	ボルドーモンテーニュ大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

口頭表現、文章読解、文法、カルチャー、地理

クラスは 14 人で、韓国、中国、日本、ベトナム、ガーナ、コロンビア、トルコ人。日本人はうち 3 人。

月曜日は夕方のみ 2 時間。火曜日、水曜日木曜日は、昼ごはんを挟み朝から 1 日授業。金曜日は全休。

基本的にプリント配布。文法の授業は教科書仕様。"les 500 exercices de grammaire"

基本的にゼミ形式。発言する機会が必ずある。口頭表現の授業ではグループワークやグループで行うプレゼンテーションなどプロジェクトなどがある。

語学学校は少し古いが大学の図書館はとても綺麗で使いやすい。常に現地のフランス人でいっぱいである。

II. 生活状況

宿舎の設備はとても良く、受付の人も明るく優しい。早朝から 20 時まで受付に人がいる。

宿舎からトラムの駅まで徒歩 1 分。そこからトラムで 10 分で大学に着く。トラムの本数は多く、まるで東山線のような。

トラムで自宅から 1 駅の場所に AUCHAN スーパーがある。そこで週に一度買い物をしている。

ほぼ毎日自炊している。洋服などの買い物はボルドー市街に行っている。トラムで約 10 分ほどである。

休日は、フランス人の友人とボルドー市街や、カフェで過ごしている。予定がない日は、家事や勉強に当てている。大学に日本語学科があり、全休の金曜日に毎週日本語学科の授業ボランティアをしており、そこで多くの友達ができる。

留学種別	認定
留学先大学	ボルドーモンテーニュ大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・コース **cours du jour NUF5** でのフランス語の授業と似ている。道案内、食べ物、部屋の名前等日常生活で使う単語や事柄を学んだ。授業でクラスメートと学んだ単語を使い会話の練習をすることが多い。またリスニングや発音練習の授業もある。

・人数は 20 人程度 国籍：香港、チリ、コロンビア、中国、台湾、シリア、日本、カンボジア、ガーナ

・一週間の授業の時間割 月—木 週 16 時間

・使用教科書 全てプリントのためなし

・授業方式 **NUF5** でのネイティブの先生による授業と同じ

・語学学校 (**DEFLE**) なので設備はほぼ教室のみ ただ **Bordeaux montaigne** の学生扱いとなるので図書館、食堂を使える。**DEFLE** 内には自習室はなし、ただ大学内に入ればどこかにあるのかもしれない、図書館に自習スペースがあるので私はそこを使っている。教室は小さいので設備はホワイトボード、スクリーン、机イスのみ。教室内で飲食は原則禁止。

Bordeaux montaigne には日本語学科があり日本語を学んでいるフランス人学生がたくさんおり交流も盛んなので、ネイティブスピーカーと話す機会、仲良くなれる機会が多い。

II. 生活状況

・宿泊の施設、環境 私は寮の登録の仕方を知らず、メールで案内がくると思っている内登録が過ぎてしまい自分で探した間借りに住んでいる。

家の一部屋を間借りしているのでキッチン、バスルーム、トイレは共用。家具、キッチン用具は全て揃っているので自分で新しく購入するのは少ない。食事は自分で作るの、料理時間が被ると待たなくてはいけない。フランス人の方がいるので会話の練習になる。またフランスの食卓、マナーについても学べる。

ただ寮の方が格段に安いので認定留学の人達には寮を勧める。学校、地域ごとに寮の登録の仕方が違うので自分で確認すること。

またフランスには間借り、シェアルームも多いので寮の設備が嫌な人はそれもいいかもしれない。

・通学方法 バスと **TRM** 定期がある

・食事や買い物 近くにスーパーがあるのでそこで買い物をする。フルーツ、野菜は高くない。食材は日本より日もちする気がする。

・休日の過ごし方 前述した通りフランス人学生との交流が盛んなのでそこで知り合った人と遊びに行ったり、バトミントンやバスケットボール、スケートボードなどする。

また **DEFLE** のクラスメートと出かけたりする。

留学種別	認定
留学先大学	モンペリエ第3大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

モンペリエ第三大学付属の語学学校に通っています。コースはそれぞれ DLFE、DALF のように A1 から C2 とレベル分けされています。自分が具体的にどの位置のレベルにいるかわかりやすいのでとてもいいです。授業は3つの種類に分かれていて、(読解、文法) (オーラル) (フォネティック) があります。文法読解のクラスは基本的な文法を考えたりペアになってテーマを決めクラスの前で発表をしたりします。オーラルではパソコンを使いニュースや YouTube の動画から聞き取りをしたりします。フォネティックでは自分の発音を録音し確認して発音を修正したりフランス語の正しい発音をプリントなどで使い学習します。クラスの人数は大体 18 人構成です。自分のクラスでは中国人が多く、次にノルウェー人、イラク、イラン、ベラルーシ、エジプトなど、様々な国の人たちが混ざって授業を行っています。授業は週に 14 時間で時間割はクラスによってバラバラです。教材は読解の教科書と文法の教科書を使っています。授業形式は講義式ですがクラスのみんが自由に発言できる気楽に受けられる形になっています。図書館が 2 つあり、いたるところに机があり多くの人が自習や宿題をやっています。1 つの図書館は夜の 7 時までと遅くまで利用することができます。図書館はみんな集中していて静かなので勉強に集中できました。教室はこじんまりした感じですが空調設備も整っています。

II. 生活状況

モンペリエ第三大学付属の語学学校に通っています。コースはそれぞれ DLFE、DALF のように A1 から C2 とレベル分けされています。自分が具体的にどの位置のレベルにいるかわかりやすいのでとてもいいです。授業は3つの種類に分かれていて、(読解、文法) (オーラル) (フォネティック) があります。文法読解のクラスは基本的な文法を考えたりペアになってテーマを決めクラスの前で発表をしたりします。オーラルではパソコンを使いニュースや YouTube の動画から聞き取りをしたりします。フォネティックでは自分の発音を録音し確認して発音を修正したりフランス語の正しい発音をプリントなどで使い学習します。クラスの人数は大体 18 人構成です。自分のクラスでは中国人が多く、次にノルウェー人、イラク、イラン、ベラルーシ、エジプトなど、様々な国の人たちが混ざって授業を行っています。授業は週に 14 時間で時間割はクラスによってバラバラです。教材は読解の教科書と文法の教科書を使っています。授業形式は講義式ですがクラスのみんが自由に発言できる気楽に受けられる形になっています。図書館が 2 つあり、いたるところに机があり多くの人が自習や宿題をやっています。1 つの図書館は夜の 7 時までと遅くまで利用することができます。図書館はみんな集中していて静かなので勉強に集中できました。教室はこじんまりした感じですが空調設備も整っています。

留学種別	認定
留学先大学	モンペリエ第3大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019年度2期から1年

留学中間報告書

I. 勉学状況

前期の最終テストがすべて合格だったため、**B1** クラスに昇格。授業を分けると、おなじく **grammaire,phonetique,comprehention oral/ecrit,production oral/ecrit** で、**phonetique** は最終テストをしない。教科書は文法用とコミュニケーション用があり、授業によって適宜先生がプリントを配布する。(半期でもすごい量) **B1** になると、授業内容の濃さは倍以上に増し、語彙力はもちろん、時事問題にも目を向けなければ出題するトピックスがわからないこともありました。ディベートを行うなど、より実践的な授業展開になったと感じました。授業形態は **NUFS** でいうとネイティブの先生との授業が1番イメージに近い。文法項目に沿って授業を進めるが、みんなわからないことは即座に先生に質問をするのですごくアクティブな雰囲気。大学には図書館があり、その一角に語学学校向けのコースがあり **oral** の練習をしてくれることもある。教室は簡易的だが綺麗。

II. 生活状況

ホームステイでホストマザーファザーと生活してます。個室があり不自由なし。もう一つ部屋があり、私以外にも学生が滞在してます。1週間ごとに学生が入れ入れ替わることもあって忙しいけど楽しい。プランは朝食夕食付きのもの。洗濯は好きな時にしていいし、シャワーの時間も特に言われないので非常に快適です。よく話すご夫婦で、とくに政治については熱く語るのも難しい言葉も吸収できます。通学はバスか徒歩 **20** 分くらい。後期は授業が午後だけなので、午前中は早めに登校して図書館で勉強。休日はランニングして昼食をホストと一緒にとったり、旅行に行くか友達と町散策、特に予定がなければ家で勉強です。後期には **SUAP** というスポーツ団体に登録をし(前期は乗り遅れてできなかった)、毎週月曜日にコンテンポラリーダンスのレッスンを受けました。語学学校だったため、ここがネイティブと話せる貴重な場面のひとつでした。

留学種別	TESS II
留学先大学	リヨンカトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

月火水木 1 日 4 時間の授業と水曜日に選択授業 2h×2 です。毎日の授業は、教科書の内容に添って聞き取りや文章を読む力を鍛えつつ文法もしっかり教えてくれます。わたしのクラスは 25 人ぐらい生徒がいて日本人は 4 人、アジア系の生徒が半数、残りはスペインやアメリカの子達があります。もしクラスの内容が難しい/簡単と感じたらクラスを変えることが出来ました。図書館や自習スペースがあるのでたくさんのひとが勉強をしています。

II. 生活状況

わたしはホームステイなので朝と夜ご飯はステイ先の人を作ってくれます。朝はみんな時間がバラバラなのでパンなどを自由に食べていいと言われました。お昼ご飯は学校の近くにあるスーパーでサラダやサンドイッチを買って学校で食べています。ステイ先では部屋を 1 つ与えられ、わたしの家ではバスルームは家族とは違うものを使わせてもらっています。基本的に 10 時以降は騒音問題的に水を使えません。家族の人はいい意味で干渉してこないのもとても楽に過ごせています。休日は散歩をしたり、買い物に出かけたりしています。基本的に日曜はお店が開いていないので家で課題をしたりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	リヨンカトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

リヨン・カトリック大学の ILCF (Institut de Langue et de Culture Francaises) という語学学校の授業を受けます。月曜日から金曜日まで、水曜日を除き毎日 4 時間フランス語の授業を受けます。内容は主に語学試験 (DELFI、DALFI) 対策で、CO(Compréhension Orale)、CE(Compréhension Écrite)、PO(Production Orale)、PE(Production Écrite)を強化します。

レベル分けテストの後、クラスが割り当てられます。授業のレベルが自分に合わないと思ったら、一週間以内に担当の先生や ILCF の学科事務員に言えば変更を検討してくれます。

午前クラス (9:00~13:00) と午後クラス(14:00~18:00)があり、自分の割り当てられたクラスがどちらになるかは授業の数日前に公開されます。私のクラスはひたすら文章を読み、書きましたし、ディスカッションもたくさんしました。クラスによっては、曜日で強化するものが違うというところもあります。留学生向けの学科なので、クラスメイトの国籍はバラバラです。私がいたクラスは、韓国人 3 人、ベトナム人とコロンビア人が 2 人ずつ、イラン人、中国人、日本人、マレーシア人、台湾人、香港人、ガーナ人、チリ人、ナイジェリア人が 1 人ずつでした。人数はクラスによりますが、19~24 人程です。そこまで大人数ではないですし、授業内の先生と学生の間でやり取りも多いので、発言や質問はしやすいです。教科書は Didier FLE の Édito の指定されたレベルのものを本屋で購入し、使います。

水曜日は選択授業を事前に二つ選んで受けます。デルフ対策、観光、歴史、ビジネスフランス語のほかに、フランスで大学進学や就職を希望する人向けの授業もあります。

キャンパスが二つあり、ILCF の授業がほとんど行われている Carnot キャンパスに

図書館があります。その中にフランス語の語学試験対策の問題集がたくさん置いてあります。

II. 生活状況

学校の徒歩 5~10 分圏内に寮が二つあり、そのうちの一つの Maison St.Bernard に下宿しています。比較的古い寮で、シャワーとトイレは共用です。寮の一階に自習室が四つ、卓球室、地下一階に音楽室、ジム、共用キッチンと洗濯室があります。洗濯機と乾燥機も共用で、使う場合一度に合わせて 3€かかります。音楽室にはクラシックギターとピアノがあります。

各部屋には冷蔵庫、電子レンジ、プレート式の電熱器があります。小物や食器では、延長コード、ゴミ箱、おわん、コップ、カップ、食器入れの箱が一つずつと皿、フォーク、ナイフ、スプーン (大)、スプーン (小)、が 2 つずつ付いてきます。寮に借りられるものは、掃除機などの掃除器具、アイロン、共用キッチンを使う場合のみ鍋などの調理器具です。

寮の受付には 24 時間交代制で常に人がいます。10 時以降に帰寮する場合は普通の鍵では入れず、受付の方に開けてもらいます。寮外の友人も呼べますが、10 時までしかいられません。

一階には自動販売機があり、飲み物だけではなくお菓子などの軽食が買えます。パソコンは一台だけあります。また、有料でサイトに登録等しなければいけませんが、プリンターもあります。食に関しては、学校の側にスーパーがあり、品揃えも豊富なので、日常に必要な食料品は基本買えます。安く済ませたい場合は歩いて 25 分ほどのところに格安スーパーもあります。また大きな街なので、アジアマーケットも何軒かあります。

学校の近くの Perrache 駅は新幹線や長距離バスの駅でもあり、旅行する際に便利です。新幹線を利用する場合は PartDieu 駅の方が使用頻度が高いですが、そこへもトラム一本で行けます。

休日は基本寮で過ごしますが、友達と出かけたり、公園でピクニックをしたりもします。

寮では誰とも話さずに 1 日を過ごすこともできてしまいましたが、人とすれ違ったときは挨拶を少なくともしています。ホームステイと違い、たくさんの学生と空間を共有します。同世代の留

学生やフランス人学生と話したりすることで、多文化な空間の中、カルチャーショックを受け、視野が広がるようになりました。そこが学生寮の利点だと思います。共用キッチンを使って、勇気は要りますが、そこで自分から声をかけるのも良いと思います。どう過ごすか自分次第だと思います。

留学種別	認定
留学先大学	リヨンカトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業内容は文法の勉強、会話、グループワークなどが中心です。

1 クラスの人数は 20 人ほどで僕のクラスは

日本人、ベトナム人、メキシコ人、コロンビア人、台湾人、韓国人がいます。

時間割は、午前クラスと午後クラスに別れています。

僕は午後クラスになり、水曜日以外は 14 時から 18 時の 4 時間の授業です。

教科書は **Edito** といいます。

水曜日は選択科目の授業で、僕は会話を中心にした授業とトゥーリズムの授業を受けています。

授業形式はゼミ形式です。

図書館があります。席はたくさんあるので席は基本的にいつでも開いています。

教室は暖房設備があるようで、冬でも教室の中は暑いと感じることもしばしばあります。

II. 生活状況

私はあまり親切ではないビジネスチックなステイファミリーに割り当てられてしまい、環境がいいとは言えません。具体的には毎日の朝ごはんの料金を支払ったのに、朝ごはんがもらえない、

夕ご飯もあまり多くはなく、毎日似たようなものが多いなどです。キッチンも冷蔵庫も基本的に使えません。

なので、この 2 月から一人暮らしをすることにしました。

今住んでいるところからはバスで 10 分ほどで大学に着きます。

休日は旅行に行ったり、友人と外出したり、家で勉強などを行っています。

留学種別	認定
留学先大学	リヨンカトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

・授業内容 授業形式

テキストに沿って授業を進めていきます。**orale,ecrit**,など授業で行います。私のクラスはペアワークをすることが多いです。

・クラスについて

国籍はみんなバラバラです。同じ国籍の人がクラスにいる場合もあります。大体 15 人から 20 人程度の人数でクラスが編成されています。

・授業の時間割

月、火、木、金はそれぞれのクラスで午前か午後かに分かれています。午前は 9 時~13 時、午後のクラスは 14 時~18 時です。水曜日は留学のとっているコースにより全休または選択科目で授業時間もバラバラです。

・使用教科書

edito という指定された教科書を使用しています。

・大学

図書館が設備してあり学習に役立つと思います。

II. 生活状況

・宿舎の設備、環境

部屋に電子レンジ、電気コンロ、冷蔵庫、クローゼットがあります。トイレ、シャワーは共同です。また寮内には、TV を見る部屋、音楽室、洗濯所、キッチン、勉強部屋、ジムがあります。

・通学方法

大学まで徒歩で 10 分ほどで着きます。

・食事や買い物

大学の近くには買い物ができるところがたくさんあります。

・休日の過ごし方

自室で勉強したり、近くで買い物、または旅行しています。

留学種別	認定
留学先大学	リヨンカトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

一日 4 時間×5 日の週 20 時間

後期クラス人数 25 人(11 国籍)

授業内容(作文、読解、リスニング、ディスカッション)

使用教科書 edito b1

授業は 4 人ずつグループになりディスカッションなど共に問題を解いたりする、自分の意見を発言する機会が多い

朝 8:30 から夜 8 時まで図書館が開いているため学習環境も良い

II. 生活状況

学生寮に住んでいるが、学校から徒歩 10 分で通学できる距離であり、スーパーや中心地にも近い
ため交通の便が良い。

食事は基本的に節約のため家で自炊することが多いが、週に 1 度ほど友達と学校帰りに外食することもある

休日やバカンス中は他国へ旅行に行ったりフランス内の他都市へ旅行することも多々あるが、日曜基本的にお店が開いていないため家やカフェで勉強している

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	ブリュッセル自由大学
留学先国・地域名	ベルギー
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

Introduction aux institutions de l'Union européenne

留学生向け。50 人程度。週一、2 時間。プレゼンテーションを通して要点について説明がある。

Art et archéologue: Monde grec et romain

100 人以上。週一、2 時間。プレゼンテーションを通して要点を説明。地元学生中心。

Langue russe

20 人ほど。週三、2 時間ずつ。ディクテーション、テキストの問題が中心。色んな学生。

Cross cultural communication

4 人。週一、2 時間。文献の考察。イタリア人、シリア人、ポーランド人。

II. 生活状況

Studio Apartment のため、キッチンとバスルームは個人での利用。

洗濯は建物内にて可能（洗濯機 3,5 ユーロ、乾燥機 1.5 ユーロ）。

通学は徒歩でも **Tram** でも可。

食事、買い物はバスを使えば、**Bruxelles Central** の近くまで行くことが可能。**Cimetiere d'Ixelles**（徒歩 10 分程度）でもバーやレストラン、スーパーなどがある。

留学種別	TESS II
留学先大学	リエージュ大学
留学先国・地域名	ベルギー
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

現在 5 科目の授業を履修中です。

English Linguistic : 名古屋外国語大学の言語学概論の授業に似ていて文の構成を細かく分析していく授業。人数は約 40 人ほどで交換留学生と現地学生が混ざっている所以国籍は様々です。教科書はなく、先生がパワーポイントを使って授業を進めていきます。授業時間は 1 週間に 1 回 2 時間です。授業形式は講義形式です。

English Language : 英語の 4 技能を学ぶ授業です。基礎文法やライティング、スピーキングが主です。授業時間は 1 週間で 3 時間なのですが 3 つのセクションに分かれていてひとつのセクションが 1 時間です。文法や音声学、ライティングを講義形式で 1 時間。自宅で解いた文法問題の答え合わせをする講義形式が 1 時間。会話のクラスが 1 時間です。クラス全体の人数は 70 人ほどですが会話のクラスは 15 人ほどです。教科書は大学が用意したものをプリントアウトして使います。

English Level A : 英語の 4 技能を学びながら教育学について勉強する授業。2 週に 1 回で 1 回の授業が 3 時間です。教育学に関する記事を読みそこからディベートやリスニングなどをし、時々プレゼンなどもあります。クラス人数は 20 人ほどです。教科書はプリントアウトして使います。

International Organization Relation : 国際機関について学ぶ授業です。週に 1 回 2 時間で主は講義形式ですが、学期末にグループプレゼンテーションがあります。クラスは 50 人ほどで教科書はなくパワーポイントを使う授業です。

French class : フランス語の授業です。週 2 回で 1 回 2 時間の計 4 時間です。基礎文法を学びながら日常会話の練習をしたりリスニングをしたりします。クラス人数は 20 人ほどで教科書は毎回先生から配布されたものを使います。

大学についてですが、図書館が広いので自習するには 1 番適しています。教室の設備は場所によりけりですが、机が使いづらかったりします。大学内にカフェテリアがありメニューも充実しているのが良かったです。

II. 生活状況

私が利用していた宿舎には個別のキッチン、お風呂がありました。洗濯機はなかったですが寮の中に共同で使えるものがあるので苦労はしませんでした。量の中には共有スペースやサウナ、フィットネスがあり設備はかなり充実していました。通学方法はキャンパスによります。1 番近い場所は徒歩 5 分圏内ですが、1 番遠いキャンパスへ行く時はバスを使い 20 分ほどのところにあります。食事は自炊することが多いですが、大学がある日の昼食はカフェテリアで買うことが多かったです。買い物はスーパーを利用したり、野菜や果物は日曜に開かれる朝市がとても安いので主にはそこで買い物をしていました。日用品などもスーパーに売っているのでそこで買うことが多いです。休日は課題の多い日は自宅で勉強しますが、余裕のある日はベルギーの観光名所へ行ったりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ロシア国立高等経済大学
留学先国・地域名	ロシア
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

1. International Criminal Law (国際刑事法)

クラスは週一回のレクチャー(講義形式)と、セミナー(ディスカッション形式)で編成されている。クラス人数は 20 人ほどで、ロシア人学生が 8 割、残りの 2 割がヨーロッパからの留学生で、アジア人は私だけであった。ベースとなる教科書を 1 冊(もしくは 2 冊)購入し、それを用いて予習をする。加えて、授業後に教授からのメールで、授業テーマに関する動画やニュース記事、関連する条約や判例などの資料が送られてくるので、それらを参照しながら次週の授業の準備をする。成績評価は **NUFS** とあまり変わらず、授業での発言や、中間レポート、最終レポート、最終筆記試験によって決められる。しかし、最終レポート(**word** で 5 枚程度)の内容が評価されると(具体的には 10 点中 7 点以上)最後の筆記試験をパスすることができる。

2. Introduction to International Law (国際法入門)

クラスは、週一回のセミナーのみである。国際法の中のほとんど全分野を網羅する内容となっている。クラス人数は 30 人ほどで、ロシア人学生が 8 割、ヨーロッパからの留学生が 2 割ほどで、これもアジア人は私だけであった。使用教科書は、シラバスに書かれている **Main Readings** の中から、1 冊選んで購入する。加えて、授業の前日/前々日に送られてくるメールの案内に従いながら、電子書籍も読んだりする。セミナーであるため、国際法の知識がある(もしくは予習をしてくる)前提で、教授からの講義はなく、自由に週ごとのテーマについて議論し、それに対して教授がコメントを付するという感じに進行されていく。成績は、授業での発言や、任意のプレゼンテーション、最終口頭試験で評価される。この授業でも、通常点が高いと、口頭試験がパスできる(さらに高いスコアを望む場合は試験を受けることもできる)。

3. International Law in Action: the arbitration of international disputes (実践国際法：国際紛争の仲裁手続)

この授業はオンラインコースである。**HSE** には、**Coursera** を用いたオンラインコースが多々ある。登録した後は、ウェブ上での案内に従って講義動画を視聴し、**Required Readings** を読み、小テストを受けるという流れになっている。それらを終えた後に、**HSE** のテスト期間にオンラインコースで学んだことについての筆記試験がある(かなり難易度が高い)。オンラインコースでの単位が **NUFS** の単位と交換できるかは所属学科の担当教員との相談が必要だと思うが、オンラインコースには興味深いものが多く、単位に関係なく履修するのもおすすめ。

4. Russian Language Course

ロシア語の語学コースは、レベル 1 (**zero-level**) からレベル 6 (**Advanced**) のクラスがあり、**LMS** システム(**NUFS** で言うポータルや Moodle のようなもの)でのプレイスメントテストで振り分けられる。各レベル、概ね 20 人ほどで、国籍もヨーロッパからの留学生が多いものの、様々である。私がいたレベル 3 では、購入した教科書を使って先生がロシア語で説明をしていく形式であった。授業は週に 5 コマほどである。基本的にはすべて教室で行うが、中間口頭試験は先生と公園に出かけ、そこで出された課題をクリアするという形のものもあった。最終口頭試験では、キャンパス近くの歴史的建造物を全員で巡り、その建物について一人ずつ説明していくというものだった(何年にどんな目的で建てられ、そこには何があり、自分はどう思ったのか等)。

II. 生活状況

寮は、5 階建てで各階に概ね 20 人近く住んでいる。トイレは廊下の両端に 3 つずつあり、シャワー室は 1 つずつ(各階 2 つ)しかない。キッチンは大きくはないものの、自炊するには困ら

ない。トイレやキッチンなどの共有スペースは、一日一回掃除される。各階に自習室もあり、そこで自習もできる。寮のエントランスには24時間常駐の警備員もいるし、カードをかざさないと中へ入れないようになっているためセキュリティ的には問題ないと思われる。大学は、授業によってキャンパスが異なるが、地下鉄、バス、トラムを用いてどれも約40分～1時間で行ける。食事は基本的に自炊した。近くのスーパーに日本の米（のようなもの）もあるし、市内にも日本食が買える場所も数か所ある。休日は、現地学生と市内を歩き回ったり、飲みに行ったりした。ただ、土曜日に授業があることもあった。

留学種別	TESS II
留学先大学	上海外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

最初にクラス分けのテストがありました。まず筆記のテストして、そのあとに口語テストがあります。

授業は全クラス精読、口語、聴力の授業がありますが、高級クラスは新聞、映画、翻訳の授業があります。選択授業は、書法、太極拳、hsk 対策などがあります。

そして、sisu は英語の授業が取れます。しかし 授業は全部英語で、周りは欧米圏しかいないです。

日本、韓国、ロシア、インドネシアなど多国籍です。

II. 生活状況

宿舎は 2 人部屋でした。きれいです。wifi もありますがたまに遅いです。私はキャンパス内の寮でしたので、教室まで歩いて 5 分ほどです。とても近いです。

食事は食堂のご飯が合わなかったなので、外卖か学校の近くで食べてました。学校の近くにショッピングモールがあります。生活用品や食料、はそこで買ってました。中国はネットショッピング 淘宝では何でも買えますので、活用してます。休日は観光に行ったりしてました。

留学種別	認定
留学先大学	北京外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

まず初めにクラス分けテストによってクラスを振り分けられる。クラス分けテストはペンインを打ち込む試験と口頭試験があった。そのためクラスには同等なレベルの学生が集まっている。クラスの人数は多くても 20 人ほど、国籍は様々で私のクラスの場合、日本、韓国、フィリピン、スウェーデン、ロシア、タイなどいろいろな地域の学生がいる。1 日に行う授業は 2 科目のみで授業時間は 100 分間となっているが続けて 100 分ではなく、50 分授業をした後に 10 分休憩し、また 50 分授業をするという仕組みになっている。1 週間に 9 つの必須の授業を受ける必要があるが、他に選択教科を選んで受けることもできる。使用教科書は自分のレベルに合ったものであるため、しっかりと理解し学ぶことができる。基本教科書の内容に沿って進めるが、時に自分たちで劇をしたり物語を作ったりすることもある。大学には自習室もあり、大きな図書館もあるため集中して勉強できる場所が多い。またカフェなども多数あり、友達とお互いに教え合う時に便利である。

II. 生活状況

宿舎は私の場合、1 人部屋のトイレ・風呂付きなので自分の時間を多く作ることができる。ただ共同トイレや風呂もあるため少し騒がしい時がある。寮の部屋には机や棚、ベッドが予め置いてあるためそんなに困ることはない。また共同の洗濯機やキッチンがあり、使用時間は決まっているが自由に使うことができる。シーツや枕カバーも決まった日にちに決まった場所へ持っていけば、洗濯された新しいものをもらうことができる。中国は一般的に寮生活なので大学の敷地内に寮があることが多い。私の寮は授業を行う棟とは別の校区にあるため徒歩 15 分ほどかかるが、1 番近い寮は授業を行う棟と隣接しており、外に出ることなく教室へ向かうことができる。朝はスーパーで買ったパンを食べ、昼は学校の食堂で食べることが多い。日本に比べるととても安く、持ち帰りもでき、とても便利である。また食堂は夜の 7 時頃まで開いているため夜ご飯もそこで済ませることもできる。休日は中国の有名な場所へ出かけたり、ショッピングをしたりして過ごすことが多い。中国はシェア自転車がそこら中にあるため、少し遠いところでも楽に移動することができる。ただ、買い物はネットで済ませることが多い。ネットの方が安く品質もそこまで変わらないことが多い。

留学種別	認定
留学先大学	北京外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

口語、読写、漢語の 3 つの科目がある。口語では、主に話し言葉を学ぶので話す力がつき、読写、漢語は、主に読解や文法の力がつく。

クラスの人数は 20 人くらいでいろんな国籍の人がいる。日本人も多い。

1 週間の時間割は 3 つの科目が週に 3 回ずつあり、1 回の授業は途中で 10 分の休憩をいれて 110 分。

授業中は学生が積極的に発言している。先生は毎回 1 人 1 人が発言できる機会を与えてくれるし、教え方がとても丁寧で、わからない時はゆっくり話してくれるのでとてもわかりやすい。教室も綺麗でとてもいい。

II. 生活状況

宿舎の設備は十分ですが、ゴキブリが多いのと最初からあまり綺麗に掃除されていなかった。

学校までは歩いて 15 分くらい。

周りには食堂もご飯屋さんもスーパーも生活に必要なお店は揃っている。スーパーに大体の日用品は売っているので全部揃えることができる。日本の物も売っている。

朝ごはんはパンを食べ、お昼は学校の食堂で、夜は近くのご飯屋さんに行く。部屋に冷蔵庫がなくて、共同のキッチンにはゴキブリが多くてあまり綺麗じゃないので自炊ができる環境ではない。

休日は友達と遊びに行くことが多い。地下鉄もバスもタクシーもどれも安いのでいろんな手段で出かけられる。

留学種別	認定
留学先大学	天津外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

口語, 閲読, 聴力, 精読の 4 科目を週に 8 コマ。国籍は様々、クラスは選択制なのでクラスごとに異なる。多くと分割される。図書館で自習可能。

II. 生活状況

寮制。2 人部屋。洗濯とキッチンの共有スペース有り。寮から教室までは徒歩 3~5 分。食事は食堂や付近に飲食店多数。

留学種別	認定
留学先大学	天津外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業は聴力・読解・精読・口語の四種類で全部で週に 8 コマあります。わたしのコースは初回 40 人ほどいたのが多すぎて 2 クラスに分けられました。クラス編成後自分に合わないと感じたら他クラスに移動もできるのでクラスの人数は時々変わります。わたしのクラスは日本、アルメリア、ロシア、香港、ペルー、アメリカ、ポーランド、キルギス、韓国、スロバキアで構成されています。授業は講義形式です、先生次第でプレゼンテーションが頻繁に行われるクラスあるみたいです。わたしのクラスはたまたま一回しかなかったです。学校のパソコンが使える場所がないのでパソコンは持ってきたほうがいいと思います。

大学の図書館や寮の一階の共用スペースなどで勉強できます。教室も授業がなければ使うことができます。

II. 生活状況

部屋は 2 人部屋で机、ベッド、タンスが 2 つずつとテレビ、トイレ、シャワー、洗面台が付いています。キッチンと洗濯機は共用です。一階には共用スペースがあって勉強したりおしゃべりしたりすることができます。学校内に寮があるので歩いて 5 分ぐらいしたら授業が行われる棟に着きます。ご飯は食堂で食べたり時々外食もします。学校の地下にセブンがあるし、学校の周りには結構ご飯屋さんが多いのもし食堂のご飯が食べれなかったとしても食には困らないです。近くにショッピングモールみたいなのもあるので暮らすのにもあまり困らないです。淘宝というネット通販がとても便利なのでよく利用しています。

休日は授業の復習をしたり時々外に出かけたりします。国慶節には旅行に行きました。

留学種別	TⅢ (2か国目)
留学先大学	国立台湾大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2019年度2期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

留学生用のコースはなく、自分で好きな授業を履修する形です。語学だけでなく、さまざまな学科の授業が開放されているため、たくさんの授業があります。

留学生の多くが履修する授業では、日本人がとても多いと感じます。

自分で全ての履修選択をするため、人によって1週間の時間割は異なります。

授業のほとんどは講義形式です。

大学の敷地はとても広く、台湾全体の1%ほどあるそうです。そのため、自転車を購入したほうが便利です。自習室や自習スペースが数千席ほど学内にあるので場所には困りません。付近にカフェも多いのでそこでも勉強ができます。

II. 生活状況

寮の環境は整っていると思います。

部屋にある程度の家具は揃っていますが、ベッドに関してはフレームしかなく、マットレスや掛け布団、枕は自分で購入する必要があります。セキュリティも万全で、寮に入るのには2カ所で専用のタッチキーを使わないと入れません。

通学は歩いて10～15分ほどです。キャンパスが広いので、多くの生徒は自転車を購入します。台湾が外食文化なので、すべて外食で済ませます。台湾大学付近はいろいろお店が揃っているので生活には困りません。地下鉄で10分ほどの駅まで行けば、大きなショッピング街に行けるので、そこでも買い物が可能です。

休日は観光に出かけたり、美味しいご飯のお店を探したりしています。

自転車があれば台北市内を散策できるので、余裕があれば自転車の購入をオススメします。

留学種別	TⅢ (2か国目)
留学先大学	文藻外語大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2019年度2期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業内容は主に中国語の授業です。クラスはドイツ人3人、ベトナム人3人、インドネシア人1人、フランス人1人、日本人2人の全員で9人です。月曜日から金曜日まで午前中の朝9時から12時までは全部授業で埋まっていました。午後は火曜日と木曜日だけ授業がありました。使用していた教科書は「看報紙學中文」「轻轻松松出手成章」です。授業形式は主に講義形式ですが、週に一回程度プレゼンテーションがありました。大学の学習環境は日曜日以外は図書館が夜まで空いているのでしっかり勉強しやすいと思います。

II. 生活状況

部屋についているものはベット、机、椅子、棚、テレビ、シャワー、トイレ、冷蔵庫です。洗濯機は屋上に共同のものがあります。通学方法は近いので徒歩です。食事はキッチンがないので全て外食です。朝ごはんは道端に沢山朝ごはん屋さんがあるのでそこで買ったものを食べています。昼ご飯と夜ご飯は学校周辺のお店で食べています。買い物する場所も量や学校のすぐ近くにあるのでそこで日用品を揃えています。休日は友達と観光に行ったり、図書館で勉強したりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	文藻外語大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

授業内容は英語の四技能を学ぶもの、ビジネス科目、世界教養科目に類似するものを受けていました。基本的には英語で受けていましたが一つ日本語の授業も受けていました。そして毎日二時間中国語の授業を受けていました。

大学の英語の授業は基本的には大人数で受けていてほとんどが台湾人たまに中国人の中に混ざって受けています。大学院の授業は少人数でヨーロッパからの留学生と。留学生向けの授業もあったのでそれは日本韓国ヨーロッパの留学生と大人数で受けていました。

月曜日は 8:00～10:00 ライティング、13:00～15:00 リスニング、15:00～17:00 中国語、18:30～20:10 マネジメント。火曜日は 9:00～12:00 東南アジア研究、15:00～17:00 中国語。水曜日は 8:00～10:00 多文化コミュニケーション、10:00～12:00 リーディング、13:00～15:00 TOEIC、15:00～17:00 中国語。木曜日は 8:00～10:00 言語学入門、13:00～15:00 日本式経営、15:00～17:00 中国語。金曜日は 8:00～9:00 言語学入門、13:00～15:00 マーケティング、15:00～17:00 中国語。です。

使用教科書は英語のものばかりです。中国語は一切ないです。中国語の授業も英語の教材です。日本語の授業のみ日本語の教材を使っていました。授業は講義形式がほとんどですが、大学院の授業はゼミ形式です。授業もグループワークやプレゼンがほとんどです。大学内の図書館は広く静かで清潔で勉強の環境にはいいと感じました。教室自体は建物の古さもありますがきれいとは言えません。空調もクラスでお金を出し合わなければつかないので夏はあまり快適ではないです。

II. 生活状況

寮は周りの建物に比べたらきれいだとは思いますが。一階にはみんなであつまれるリビングがあって他の学生ともたくさん交流ができます。エレベーターも部屋の廊下も鍵がないとはいれません。部屋には各トイレバスがついているので共同で使わなければならない場所がないので、過ごしやすいと思います。キッチンがなく冷蔵庫のみなので自炊は全くできません。WiFiもあるのですがルーターを買えば部屋でもネットが使えます。(買わなければ一階のリビングでしか使えません) 寮は学校からすぐなので徒歩です。歩いて 15 分くらいです。スクーターが多く、交通ルールもそこまでしっかりしていないので安全には気をつけなければいけません。ご飯は学校の周りにお店がよく食べます。台湾料理がたくさんあります。セブンイレブンも三件ほどそばにありスーパーもあるので飲み物や家で食べるものはそこで買います。パン屋さんや朝ごはん屋さんもあるので朝から外食なことがほとんどです。あとはUber Eatsが普及しているので、美味しいものが食べたいときはそれを利用します。少し歩けば勉強できるようなきれいなカフェもありとても快適です。バスで少し行けば百貨店につくので、くら寿司や大戸屋に食べに行ったりもします。ほかにもニトリやダイソーがあるので日用品はそこで買い物します。休日は日本人と台湾を旅行したり、台湾人と高雄の海に行ったりしています。

留学種別	TⅢ (2か国目)
留学先大学	銘伝大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2019年度2期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

留学生のコースはなく、学部の授業を受けました。

私は、ビジネス英語、語用学、中日翻訳、英語のリーディング、ライティング、簡体字の授業を取りました。

履修登録方法はネットからできます。

クラス構成は、殆どが現地の台湾人です。

人数は授業によってちがいます。60人以上の大人数のクラスもあれば、20人ほどの少人数のものもありました。

私は、月曜日の午前中にビジネス英語の授業

火曜日の午前中に語用学、水曜日の午前中に中日翻訳の授業、午後に英語のリーディング、ライティングの授業、

木曜日の午前中に簡体字の授業を受けました。

授業形式は、ほとんど講義を聞く形式でした。

英語の授業は英語のプレゼンもありました。

中日翻訳の授業では、校外学習として士林夜市へ行ったりもしました。

II. 生活状況

私は外で部屋を借りて一人暮らしをしました。

環境はよかったです。

通学は徒歩でした。教室まで15分くらいです。

食事は自炊、外食、デリバリーがほとんどでした。

休日は友達と外に遊びに出かけました。

留学種別	TⅢ (2か国目)
留学先大学	銘伝大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2019年度2期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

留学生コースがないので、台湾人がとっている授業と同じものを取る形式です。

クラス人数は少ない授業で20人弱、多いと4, 50人程度。

ほとんど台湾人の学生で、英語の授業には数人ずつ留学生や本科生がいます。韓国人、マレーシア人、ベトナム人など。

同じ授業は取っていませんが、アメリカ人、中国人、タイ人、アフリカ系の人もいます。

英語は **English for your career 2, Longman Academic Writing Series, Pragmatics** を使っています。

日中翻訳の授業は教科書はなく、プリントを使っています。

授業時間は一週間700時分です。

授業は意見を求められたり、短い文章を書いたり、毎回小テストがあったり、プレゼンがあったりします。

図書室の自習スペースは広いです。防音になっていて、話し合いができるところもあります。各学科の事務室内や近くにも勉強できるスペースがあります。学習環境はいいと思います。

II. 生活状況

各部屋に冷蔵庫があります。Wi-Fiは一階にのみあります。自分の部屋に欲しい場合は自分で買うこととなります。各フロアに一つテレビ、ウォーターサーバーがあり、ソファと机があって、集まれるスペースがあります。

通学方法は徒歩です。

寮内は料理禁止なので、外に食べに行きます。

休日は友達と勉強したり、遊びに行ったりしています。

留学種別	認定
留学先大学	又松大大学校
留学先国・地域名	韓国
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

英語の暮らすは基本的に20～30人のクラスで、学部事業になると人気のあるクラスだと、50人くらいいるクラスもあります。授業はすべて完全に英語で行われます。またこの大学は名前の通りビジネスを専門とする大学なのでビジネスに関するじゅぎょおうがほとんどです。学習環境は驚くほどに素晴らしいです。この学校に通う学生も韓国人に限らず、さまざまの国から集まっているのでいろんな意見を聞くことができたり、日本とは違いみんなとても積極的に参加するので質問タイムがとても長いです。ここの授業は一つの授業を1週間に3時間行われます。また、基本的に授業時間は1時間30分です。つまり、一つの授業、1時間30分を週に二回受ける形になります。ですが金曜日の時間だけ一授業3時間となっています。自習室は上のほうの買いにいいくつかありますが、図書館で勉強する学生もいれば、テーブルの席で勉強している学生もいて、自習環境は自然と整っています。

II. 生活状況

寄宿舎では基本的に2人一部屋です。わたしの場合はとても親切なベトナム人の子と今学期一緒に暮らすことになりましたが、やはりいくつかの文化の違いによるものかそれなりに我慢しなければならないことはあります。部屋にはそれぞれのベッド、机、棚があり、トイレとシャワールームは共同です。そしてこの寄宿舎には共有のキッチンがありますが、とても不潔です。今回の楽器ではみんなのマナーが悪すぎるため、途中で団体での利用のみで予約制になりました。また毎日朝ごはんが出ます。そこまでよくはないが、悪くはないといったところです。

留学種別	認定
留学先大学	国民大大学校
留学先国・地域名	韓国
留学期間	2019 年度 2 期から 1 年

留学中間報告書

I. 勉学状況

日本語の教科を一つ、英語の教科を二つ、韓国語の教科を二つ受けています。日本語の授業では、日本に関するあらゆるニュースを文芸春秋のテキストを使って韓国人と日本人で考えを出し合ったり、深く考えたりします。人数は 10 人程度で、週に二時間半ほど授業があります。形式は毎週一人ずつ、テキストの中からテーマを選んでプレゼンをし、そのテーマについてみんなで話し合ったり教授の話を受けます。

韓国語の授業は一つは詩を使った授業で、先生が選んだ詩を使って韓国の文化を学びます。もう一つはテキストを使って韓国語を学びます。30 人くらいで国籍はロシア人と中国人が多く、他にはトルコやフランスから来た人たちもいます。両方とも講義式で、先生の授業を聞き、たまに話し合ったり、意見を言い合ったりします。

英語の授業は、映画を英語で見て、セリフなどを勉強する授業で、もう一つは韓国の文化を英語で授業を受けています。映画は **Nothing Hill** という映画のテキストを使って、韓国の文化の授業は先生がアップしたプリントをコピーして授業を受けています。50 人くらいで受けていて、アメリカ人やロシア人、中国人が主な国籍です。講義式の授業で、映画の授業はグループワークがあり、文化の授業はグループで自分たちで選んだテーマのプレゼンをしたりします。

II. 生活状況

宿舎の環境は、四人部屋で、二段ベッドが二つ、お風呂とトイレが一つずつ、机が四つあって、クーラーと暖房がついています。水道の水が飲めませんが、給水機があって問題ないです。冷蔵庫や電子レンジも共用ですがあります。寮にコンビニ、学習室、ジムまであるので設備は揃っています。学校内にある寮なので交通費も必要なく楽です。ただ、中心部から離れているので、休日など遊びに出かける時、買い物に出かける時は移動に時間がかかります。ですが交通費も日本と比べて安いので、費用の面では問題なさそうです。食事は主に寮のコンビニや、学校がある日などは学食で食べます。休日はカフェで勉強をしたり、友達と映画を見に行ったりします。

留学種別	認定
留学先大学	釜山外国語大学校
留学先国・地域名	韓国
留学期間	2019 年度 2 期から半年

留学中間報告書

I. 勉学状況

釜山外国語大学で、**영어작문**という英作文の授業と、**디지털관광영어**という観光英語を題材にした授業、**일본어한국어 Tandem 학습**という韓国語の会話の授業、**영어회화 2, 영어주제와말하기 2**という英語のスピーキングの授業の計 5 つの学部授業を履修しています。授業によってクラスの人数は様々ですが、私が履修している授業はどれも比較的人数が少ない授業が多いです。最も人数が多い授業で 30 人程度、最も人数が少ない授業で 15 人程度です。国籍はロシア人や、中国人、日本人など様々ですがクラスの国籍は学部授業ということもありほとんどが韓国人です。時間割はどの授業も 50 分×週 3 回です。**영어작문**は **Waving It Together** という教科書を、**디지털관광영어**は **TOURISM1** という教科書を使用しています。他の授業は教科書を使用せず先生方が準備したプリントを使用して授業を行っています。授業形式はどの授業も講義形式というよりも生徒が積極的に参加する授業がほとんどです。大学の学習環境は、テスト期間になると 24 時間勉強できる場所など、とても充実しています。

II. 生活状況

学校の宿舎に滞在していますが、1ヶ月半生活していて不便だと思ったことは特にありませんが、各部屋に完備されている **Wi-Fi** の電波が悪くなることがよくあります。寮内にはコンビニやスポーツジム、学習スペースもありとても充実しています。学校内に寮があるため、教室までは徒歩で 5 分ほどです。無料スクールバスや市バスの停留所が構内にあるため、これらのバスを使用して最寄り駅まで行くことができます。食事は授業がある時は基本的に寮にある食堂かコンビニ、または学校内にある食堂やフードコートで食事をとります。食堂の食事の金額は日本の大学の食堂とあまり変わりません。休日は日本人や韓国人の友達と学校の最寄駅から地下鉄で行くことのできる繁華街に行き買い物をしたり食事をとったりすることが多いです。